

平成 12 年度

江戸川区民世論調査

< 第 24 回 >

江戸川区

はじめに

本区は、区民生活に潤いと満足感を高め、時代に即した区政を展開していくため、区民の皆様の意識やニーズの変化を的確に把握し、できる限り区政に反映していくことが大切であると考えています。

この世論調査はそうした意識のもとに、区政に関する貴重なご意見をお聞かせいただくために、昭和51年から実施しています。

今回の特色として、21世紀に向けて「江戸川区の将来像」や、制度改革、社会構造や社会情勢の変化に伴い「介護保険」「清掃・リサイクル事業」「インターネット」などについてのご意見をはじめ、「永住意向」「生活環境」など本区で生活するうえでの意識や意向をお聞きしました。

その結果をここにまとめ、これからの区民生活の更なる安定と向上のため、区政に活用してまいります。

最後に、この世論調査にご協力いただいた区民の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成12年12月

区政情報室

目 次

調査の概要	1
結果と分析	5
1 江戸川区の将来像について	5
2 永住意向について	8
3 生活環境について	12
4 子育てについて	17
5 青少年について	19
6 学校教育について	21
7 地域との連携について	23
8 介護保険について	25
9 介護保険の安心感について	27
10 高齢社会について	29
11 地域活動・ボランティアについて	31
12 ボランティアセンターについて	33
13 男女平等について	35
14 女性センターについて	38
15 人にやさしいまちづくりについて	40
16 建物・道路などの整備について	42
17 緑について	44
18 環境整備について	46
19 ごみ収集への考えについて	48
20 ごみの処理状況について	50
21 ごみ量の変化について	54
22 分別への協力について	56
23 集積所の状況について	58
24 区で取り組むべきリサイクル品目について	62
25 商店街の利用について	64
26 商店街への期待について	66
27 理想とする商店街について	69
28 商店街のサービス制度の利用について	71
29 インターネットの利用について	73
30 区のホームページについて	77
31 インターネットを利用した行政サービスについて	80
32 推進してほしい施策	82
33 施設への要望	85
34 区政に望むもの（自由意見）	90
集計表	113
調査票	159

調査の概要

調査の概要

1 目的

区政等について、区民の意識や意向・要望を統計的・数量的に把握することにより、今後の区政運営の参考資料とする。

2 対象

満18歳以上の区民2,000人
対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3 期間

平成12年7月12日(水)～21日(金) <10日間>

4 内容

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| (1) 江戸川区の将来像について | (18) 環境整備について |
| (2) 永住意向について | (19) ごみ収集への考えについて |
| (3) 生活環境について | (20) ごみの処理状況について |
| (4) 子育てについて | (21) ごみ量の変化について |
| (5) 青少年について | (22) 分別への協力について |
| (6) 学校教育について | (23) 集積所の状況について |
| (7) 地域との連携について | (24) 区で取り組むべきリサイクル品目について |
| (8) 介護保険について | (25) 商店街の利用について |
| (9) 介護保険の安心感について | (26) 商店街への期待について |
| (10) 高齢社会について | (27) 理想とする商店街について |
| (11) 地域活動・ボランティアについて | (28) 商店街のサービス制度の利用について |
| (12) ボランティアセンターについて | (29) インターネットの利用について |
| (13) 男女平等について | (30) 区のホームページについて |
| (14) 女性センターについて | (31) インターネットを利用した行政サービスについて |
| (15) 人にやさしいまちづくりについて | (32) 推進してほしい施策 |
| (16) 建物・道路などの整備について | (33) 施設への要望 |
| (17) 緑について | (34) 区政に望むもの(自由意見) |

5 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収と訪問回収(国民健康保険料徴収嘱託員へ委託)の2本立て。

○ 回収結果

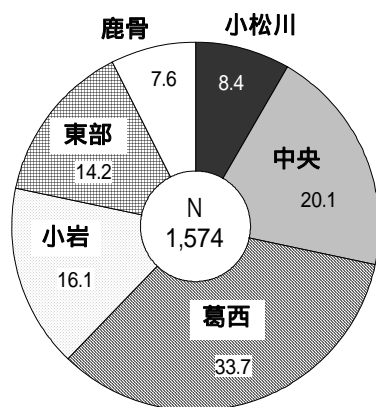
- ・ 標本数 2,000 件
 - ・ 有効回収数 1,574 件 有効回収率 79.9%
- (標本数2,000件のうち、送致不能分30件を差し引いた1,970件を基数とする)

・地区別回収数 (人口は、平成12年7月1日現在)

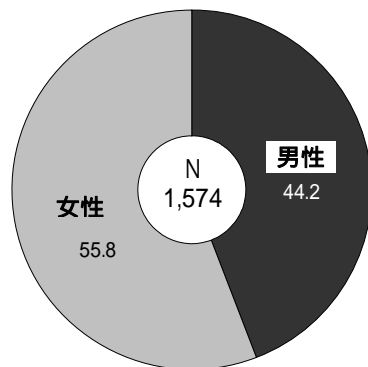
地区	対象人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
小松川	42,409	163	132	81.0
中央	103,001	396	316	79.8
葛西	177,272	694	530	76.4
小岩	77,820	302	253	83.8
東部	67,451	264	224	84.8
鹿骨	38,988	151	119	78.8
計	506,941	1,970	1,574	79.9

○ 回答者の属性は以下のとおりである。

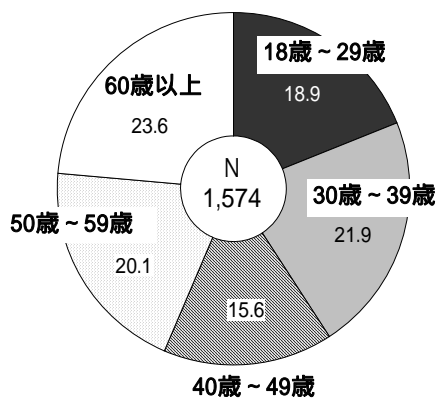
<地区別>



<性別>



<年齢別>



報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

- 百分率は回答者総数を 100%として算出し、表・グラフでは小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを示した。したがって、百分比の計が 100%にならないこともある。また、複数回答では、全ての比率を合計すると 100%を超える。
- この報告書の中で、Nと表記してあるものは、Number of Casesの略で、回答者総数のことである。更に、NAと表記してあるものは、No Answerの略で、無回答のことである。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

〔管轄別区域表〕

管 轄 名	管 轄 内 町 丁 名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川 1～4 丁目、平井 1～7 丁目
区 民 課 (中央地区)	中央 1～4 丁目、松島 1～4 丁目、松江 1～7 丁目、東小松川 1～4 丁目、西小松川町、一之江 1～7 丁目、西一之江 1～4 丁目、大杉 1～5 丁目、松本 1～2 丁目、上一色 1～3 丁目、本一色 1～3 丁目、興宮町、西瑞江 4 丁目 1～2・10～27、江戸川 4 丁目 15～25、春江町 4 丁目
葛西事務所 (葛西地区)	船堀 1～7 丁目、東葛西 1～9 丁目、西葛西 1～8 丁目、南葛西 1～7 丁目、北葛西 1～5 丁目、中葛西 1～8 丁目、清新町 1～2 丁目、臨海町 1～6 丁目、一之江町、二之江町、春江町 5 丁目、西瑞江 5 丁目、堀江町、江戸川 5～6 丁目、宇喜田町
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩 1～6 丁目、西小岩 1～5 丁目、南小岩 1～8 丁目、北小岩 1～8 丁目
東部事務所 (東部地区)	江戸川 1～3 丁目、江戸川 4 丁目 1～14、下鎌田町、下篠崎町、篠崎町 3～6 丁目、東篠崎 1～2 丁目、東篠崎町、南篠崎町 1～5 丁目、瑞江 1～2 丁目、西瑞江 1～3 丁目、西瑞江 4 丁目 5～9、東瑞江 2 丁目、春江町 2～3 丁目、谷河内 2 丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	篠崎町 1～2 丁目、篠崎町 7～8 丁目、西篠崎 1～2 丁目、北篠崎 1～2 丁目、上篠崎 1～4 丁目、新堀 1～2 丁目、春江町 1 丁目、谷河内 1 丁目、鹿骨 1～6 丁目、鹿骨町、東松本 1～2 丁目

〔地区別区分図〕

標本誤差は次式で得られ、 比率算出の基数 (N)、 回答の比率 (P) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{P (1 - P) / N}$$

P = 回答比率 (%)

N = 回答者数

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答率 (p) 回答者数 (N)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,574	± 1.51	± 2.02	± 2.31	± 2.47	± 2.52
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
100	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00

注 / この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体 (母集団) の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が 1,574 であり、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ± 2.47% 以内 (57.53 ~ 62.47%) である」とみることができる

結果と分析

結果と分析

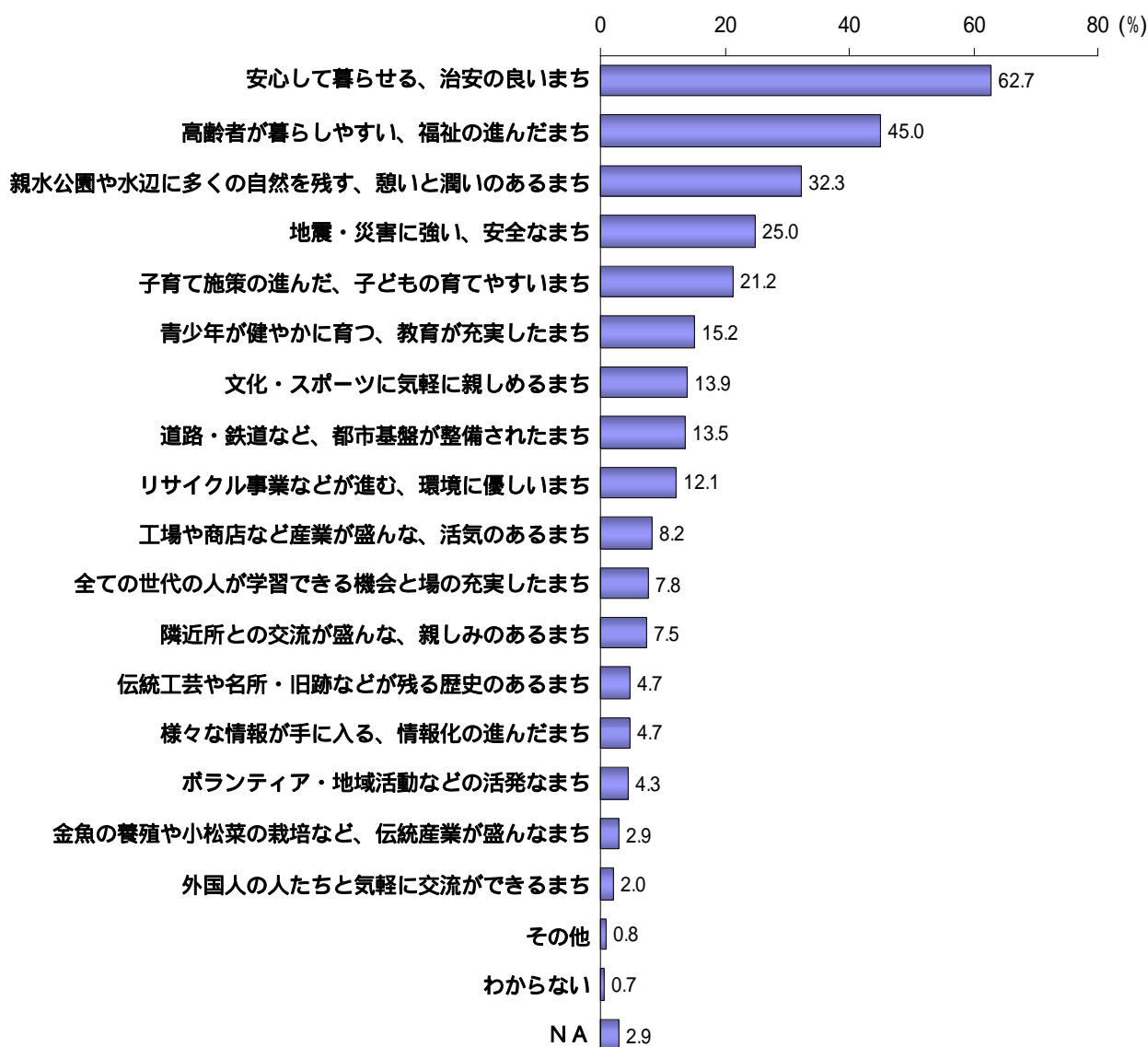
(1) 江戸川区の将来像について

「安心して暮らせる、治安の良いまち」が6割強を占める

問1 江戸川区では、区民の皆さんが生きがいを持って安心して生活ができるまちを目指し、様々な施策を推進しています。あなたは、江戸川区が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N = 1,574

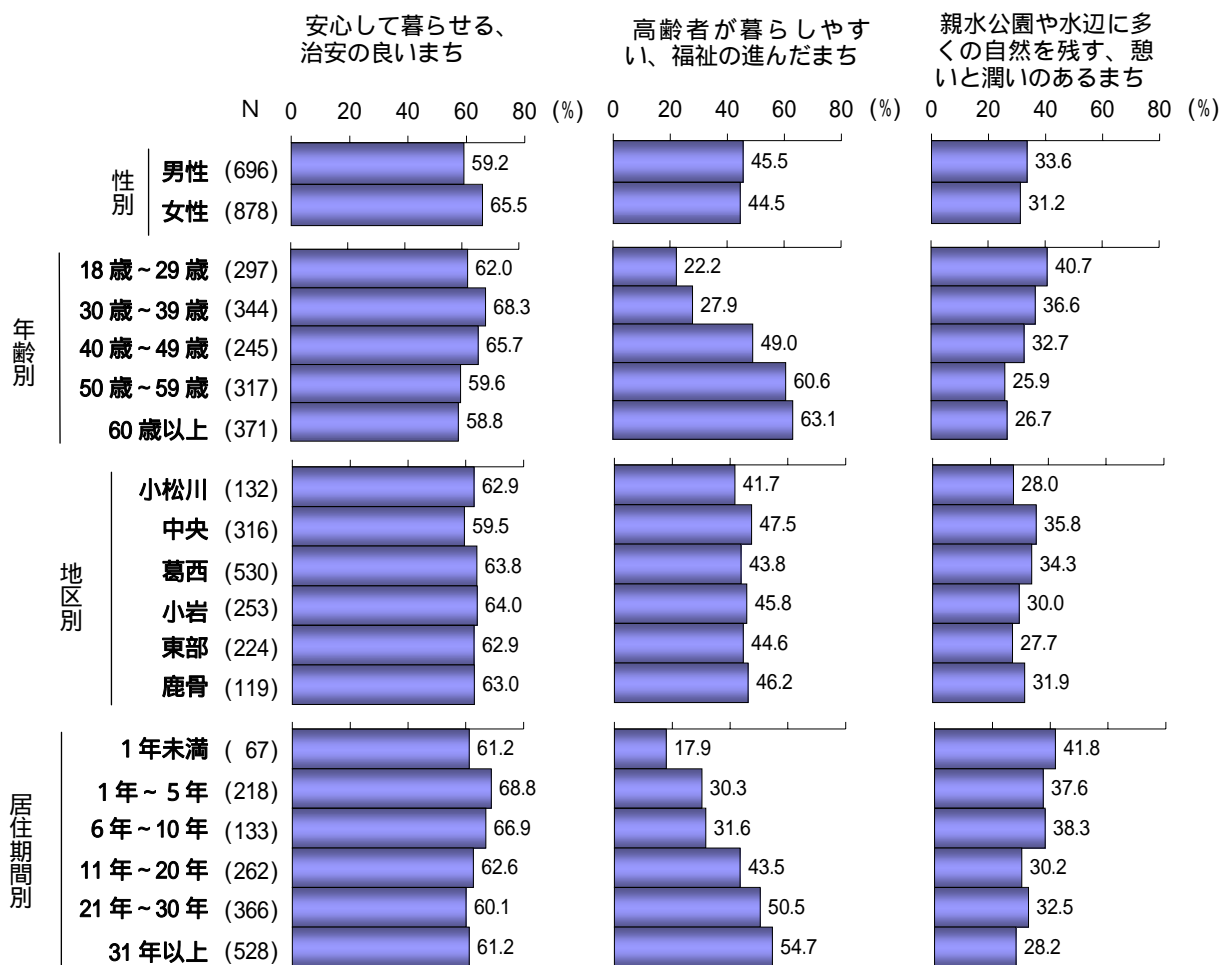
<図1 - 1> 江戸川区の将来像（複数回答）



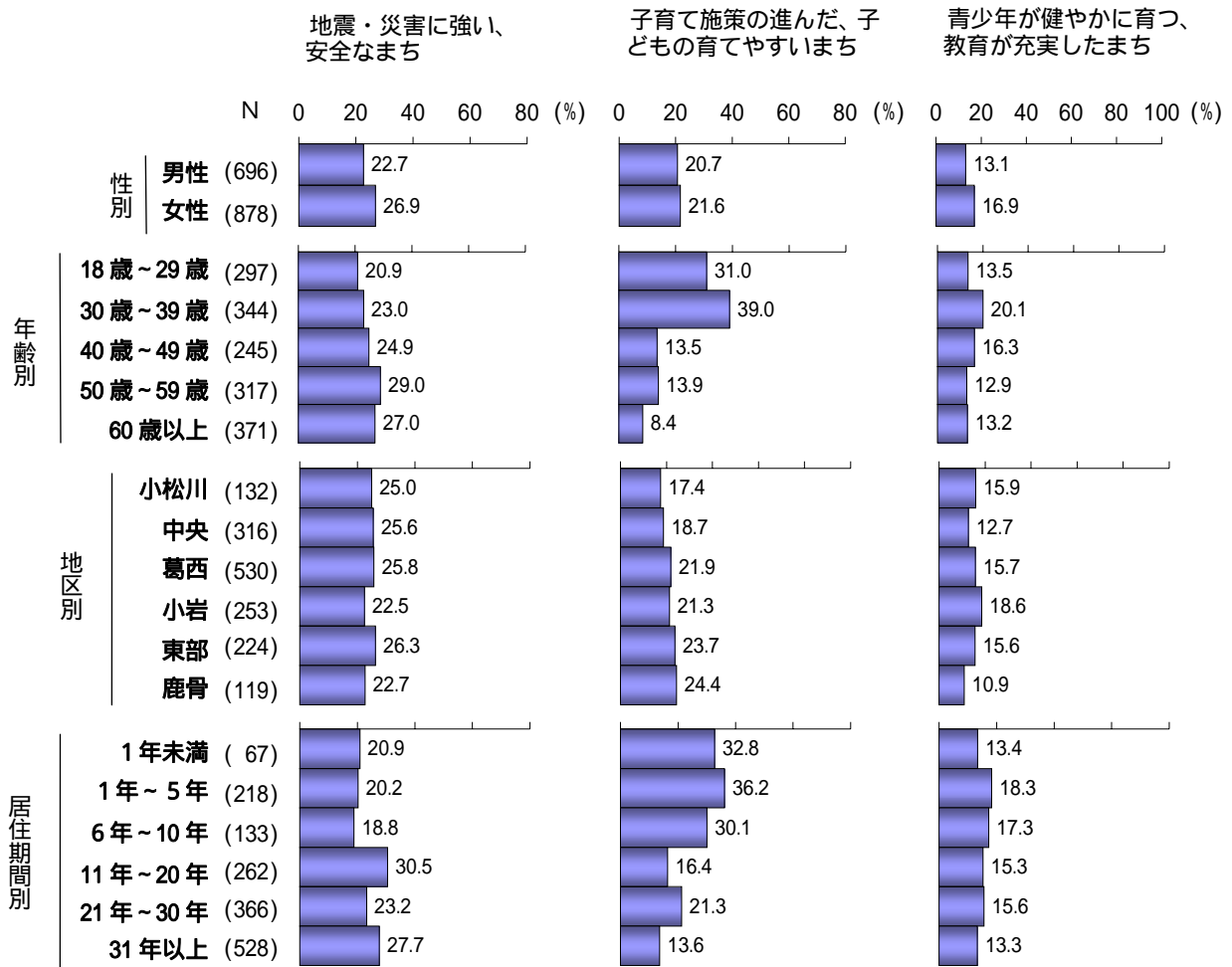
江戸川区の将来像について尋ねたところ、「安心して暮らせる、治安の良いまち」と答えた人が6割強を占め、最も高い。次いで、「高齢者が暮らしやすい、福祉の進んだまち」が4割台半ば、「親水公園や水辺に多くの自然を残す、憩いと潤いのあるまち」が3割強となっている。(図1 - 1)

性別でみると、「安心して暮らせる、治安の良いまち」で、女性が6割台半ばを占め、男性と6ポイントの差がある。年齢別では、「高齢者が暮らしやすい、福祉の進んだまち」は、加齢とともに漸増し、50歳代と60歳以上で6割を超える。一方、「親水公園や水辺に多くの自然を残す、憩いと潤いのあるまち」では、18歳～29歳が4割で最も高く、年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。地区別でみると、「親水公園や水辺に多くの自然を残す、憩いと潤いのあるまち」では、中央地区と葛西地区が3割台半ばで比較的高い。居住期間別では、「高齢者が暮らしやすい、福祉の進んだまち」は、居住年数が長くなるにつれて高くなる。一方、「親水公園や水辺に多くの自然を残す、憩いと潤いのあるまち」や「子育て施策の進んだ、子どもの育てやすいまち」では、居住期間が短い人の方が高い。(図1 - 2)

< 図1 - 2 > 江戸川区の将来像 / 性別、年齢別、地区別、居住期間別 (上位6項目)



< 図 1 - 2 > 江戸川区の将来像 / 性別、年齢別、地区別、居住期間別 (上位 6 項目)



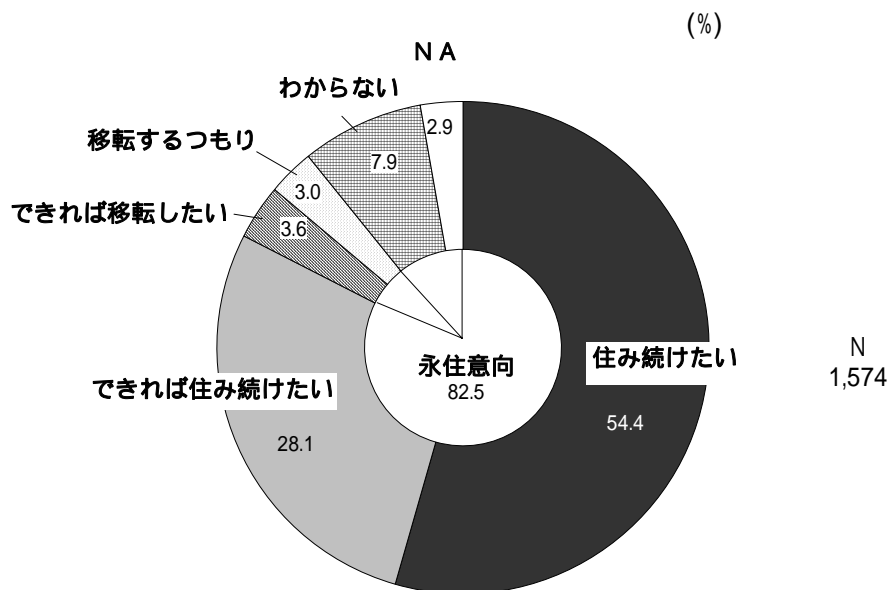
(2) 永住意向について

「住み続けたい」が半数を超え、「できれば住み続けたい」を合わせると8割強

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

N = 1,574

<図2 - 1> 永住意向

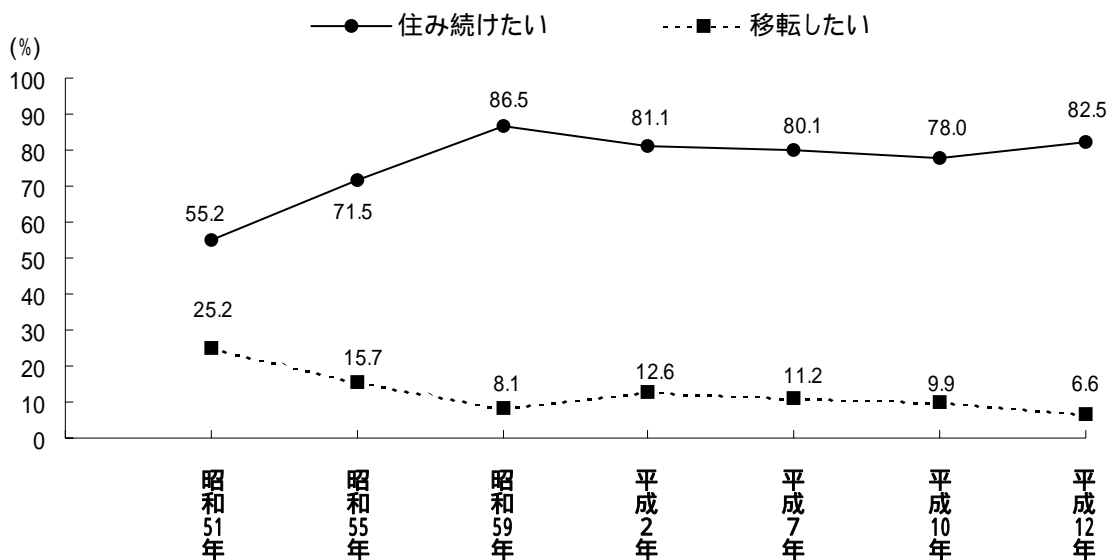


今後も江戸川区に住み続けたいかとの質問に対しては、「住み続けたい」人が半数を超える。また「できれば住み続けたい」を合わせた永住意向は8割強を占め、多くの人が永住を希望している。「できれば移転したい」と「移転したい」を合わせた転出希望者は、1割にも満たない。(図2 - 1)

永住意向を過去の調査と比較し、その推移をみると、「住み続けたい」と思っている人は、昭和59年以降少しずつ減少していたが、今回の調査では前回よりも4ポイント上昇し、8割強となっている。また、「移転したい」人は、平成2年より漸減しており、今回も前回より3ポイント減となっている。(図2-2)

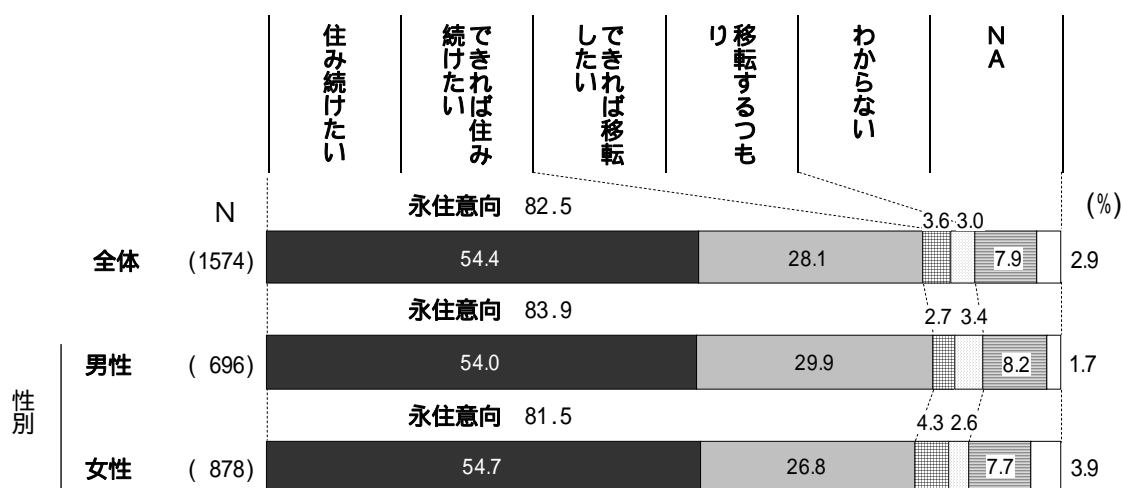
(図2-2は、昭和51年より5年程度の間隔で、永住意向の推移をあらわした図である)

<図2-2> 永住意向/過年度比較



性別では、特に男女間で大きな差異はみられなかった。(図2-3)

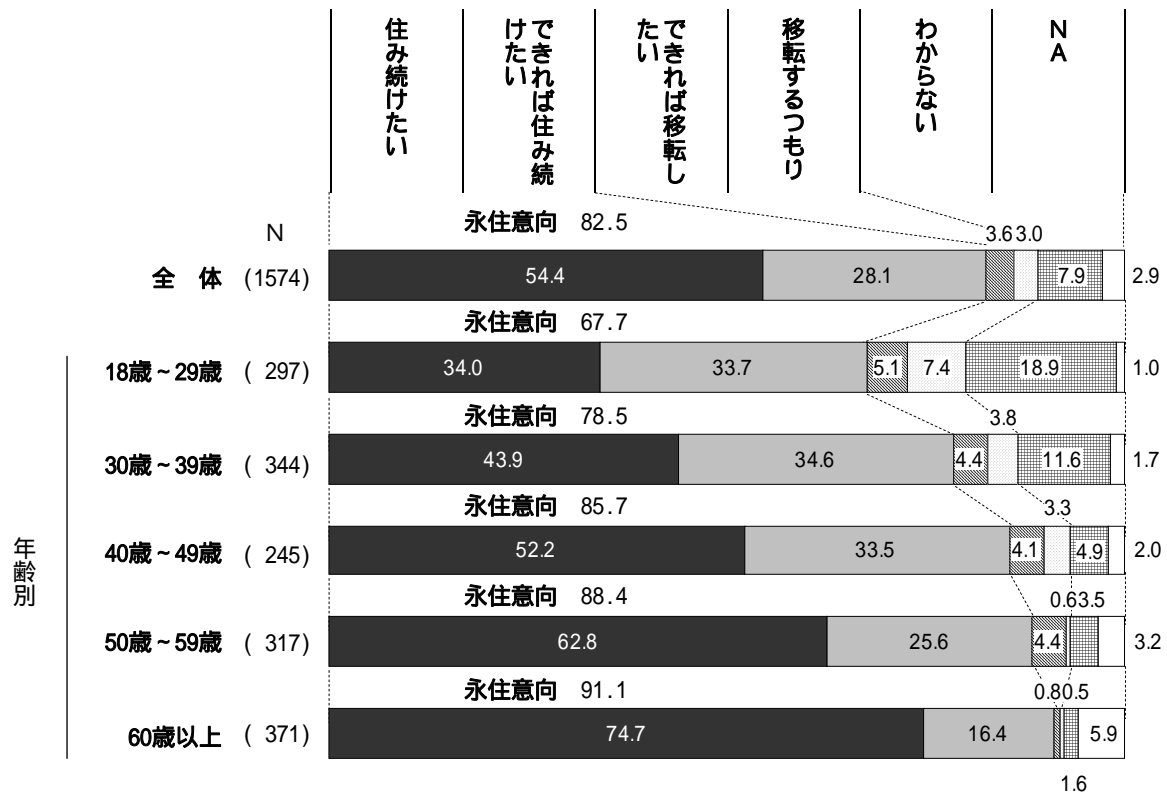
<図2-3> 永住意向/性別



年齢別で見ると、「住み続けたい」と答えた人は、加齢とともに漸増し、60歳以上で7割台半ばとなっ

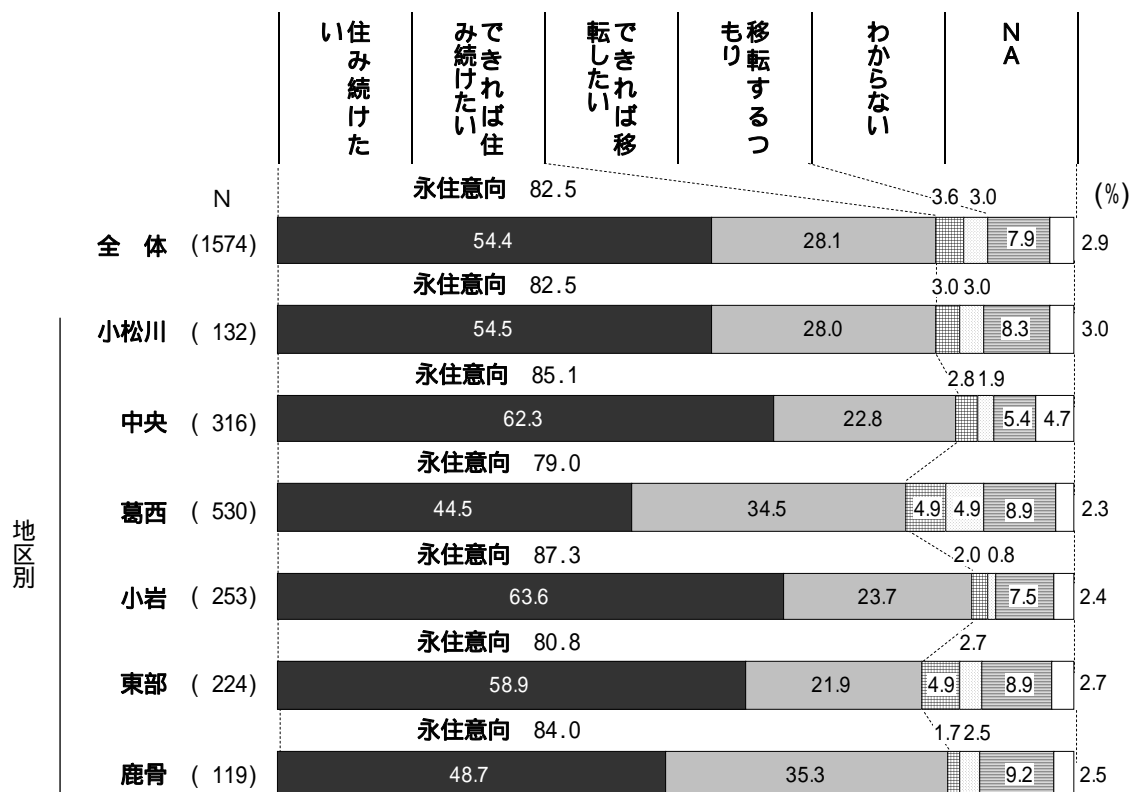
ている。また、「できれば住み続けたい」を含めた永住希望者も年齢が上がるごとに高くなり、60歳以上では9割強を占める。(図2-4)

<図2-4> 永住意向/年齢別



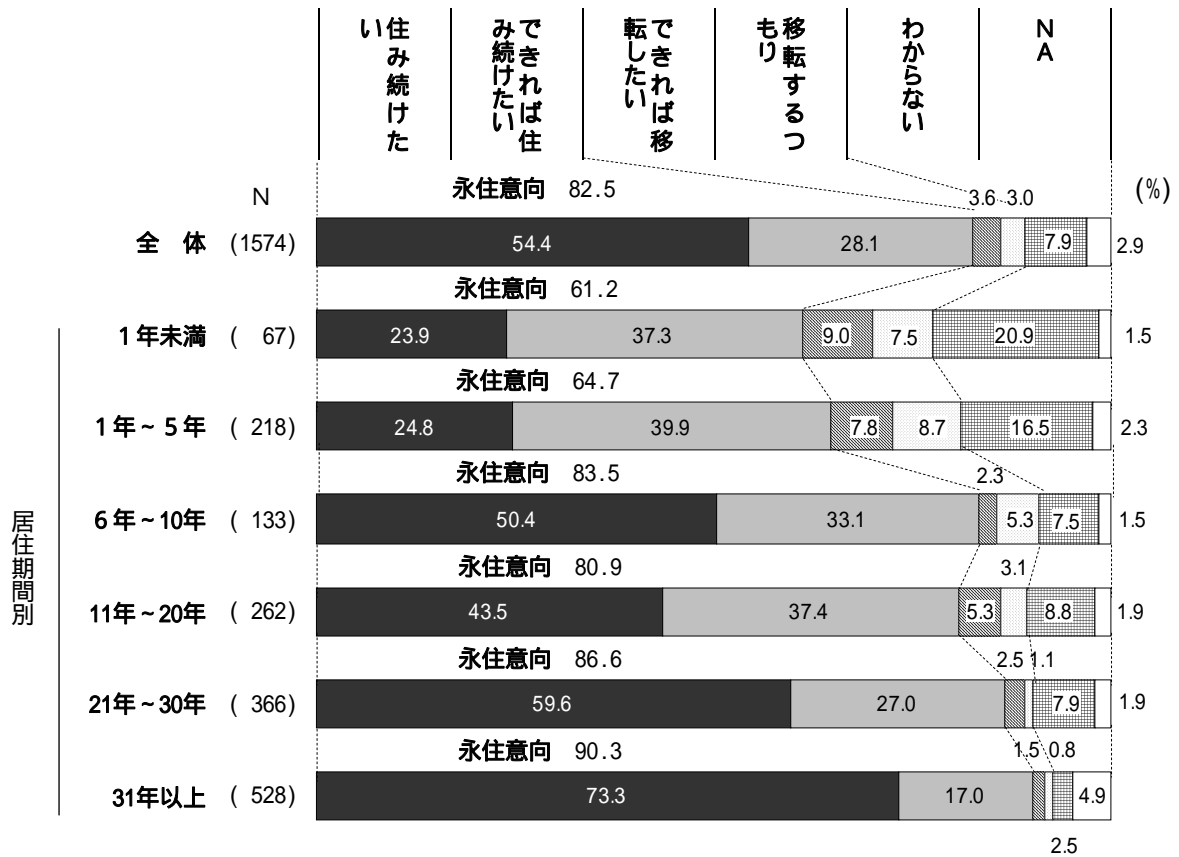
地区別では、中央地区と小岩地区で「住み続けたい」と答えた人が6割強を占める。特に小岩地区では、永住希望者が8割台半ばを超える。逆に葛西地区と鹿骨地区は「住み続けたい」が4割台にとどまる。(図2-5)

<図2-5> 永住意向/地区別



居住期間別にみると、「住み続けたい」では居住年数が長くなるにつれて高くなり、31年以上住んでいる人では7割強、永住希望者では9割を超える。一方、居住期間が1年未満と1年～5年は、「住み続けたい」が2割強、永住希望者が6割台となっている。(図2-6)

<図2-6> 永住意向/居住期間別



(3) 生活環境について

良いとの評価は「買物の便」で3割台半ば、「交通の便」と「自宅の風通し・日当たり」が2割台

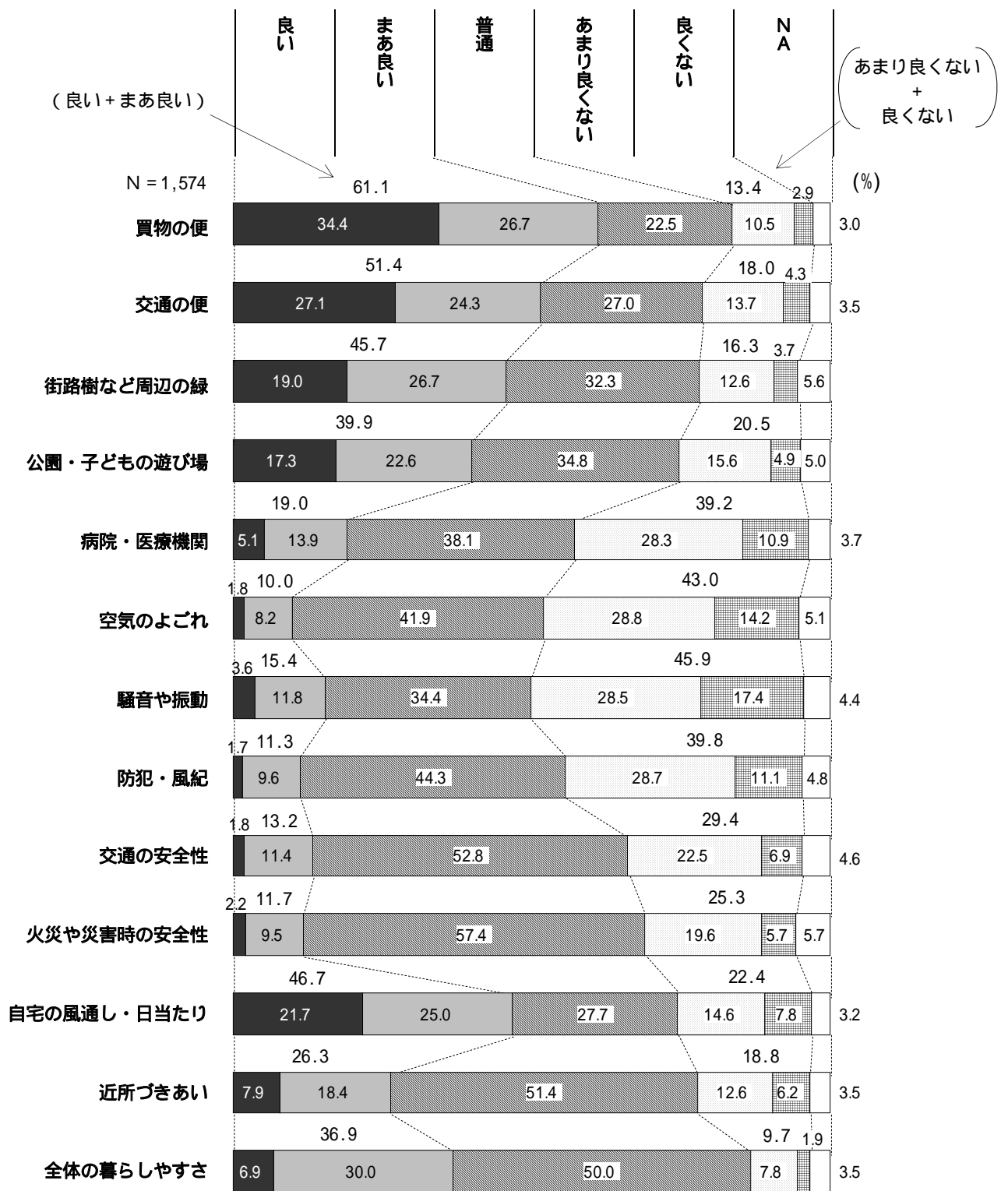
問3 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように思いますか。それぞれの項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。

N = 1,574

	良い	まあ良い	普通	くあまり ない 良	良くない	N A
1 買物の便	34.4%	26.7%	22.5%	10.5%	2.9%	3.0%
2 交通の便	27.1	24.3	27.0	13.7	4.3	3.5
3 街路樹など周辺の緑	19.0	26.7	32.3	12.6	3.7	5.6
4 公園・子どもの遊び場	17.3	22.6	34.8	15.6	4.9	5.0
5 病院・医療機関	5.1	13.9	38.1	28.3	10.9	3.7
6 空気のごれ	1.8	8.2	41.9	28.8	14.2	5.1
7 騒音や振動	3.6	11.8	34.4	28.5	17.4	4.4
8 防犯・風紀	1.7	9.6	44.3	28.7	11.1	4.8
9 交通の安全性	1.8	11.4	52.8	22.5	6.9	4.6
10 火災や災害時の安全性	2.2	9.5	57.4	19.6	5.7	5.7
11 自宅の風通し・日当たり	21.7	25.0	27.7	14.6	7.8	3.2
12 近所づきあい	7.9	18.4	51.4	12.6	6.2	3.5
13 全体の暮らしやすさ	6.9	30.0	50.0	7.8	1.9	3.5

13項目の自宅周辺の生活環境について、5段階で評価してもらったところ、「良い」と評価された上位3項目は、〔買物の便〕が3割台半ば、〔交通の便〕が2割台後半、〔自宅の風通し・日当たり〕が2割強となる。一方「良くない」では、〔騒音や振動〕が1割台半ばを超え、次いで〔空気のごれ〕が1割台半ば、〔防犯・風紀〕、〔病院・医療機関〕が1割強となっている。(図3-1)

<図3 - 1> 生活環境



また、各項目間の比較をより単純にするために、下記の計算式のように、5段階の評価に点数を与え、各項目の平均評価点を算出した。

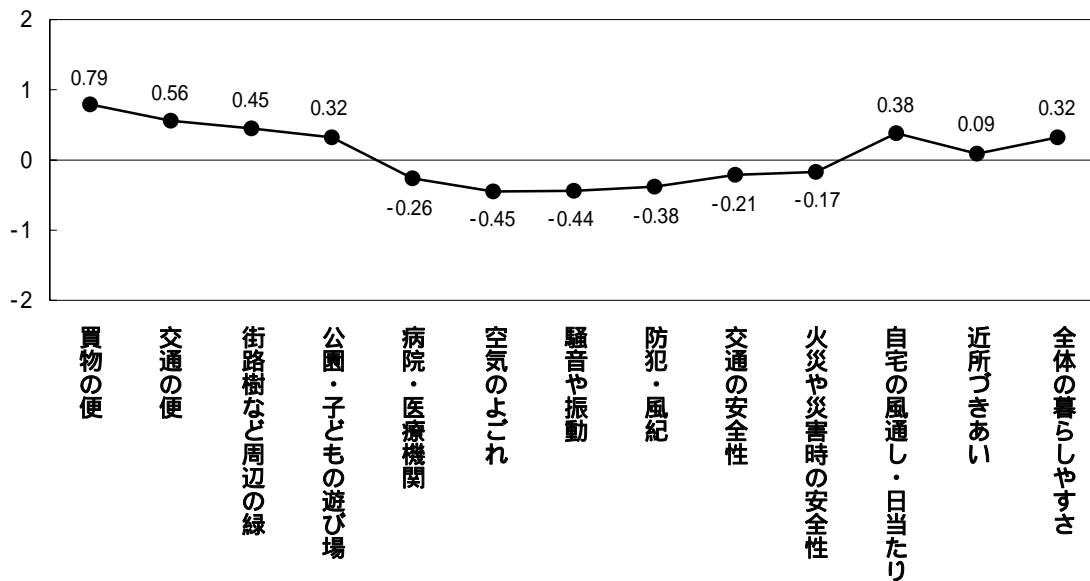
算出方法

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「良い」の回答数} \times 2 \text{点} \\ \text{「まあ良い」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「あまり良くない」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「良くない」の回答数} \times 2 \text{点} \end{array}}{\text{回答者数}}$$

この算出方法では、評価点は+2.00点から -2.00点の間に分布し、0.00点が中間値である。+2.00点に近いほど評価は高く、逆に -2.00点に近いほど評価は低いことになる。

評価の結果を高い順に並べると、最も高いのが「買物の便」(0.79)で、「交通の便」(0.56)、「街路樹など周辺の緑」(0.45)と続く。一方、一番低いのは「空気のごよれ」(-0.45)となり、次いで「騒音や振動」(-0.44)、「防犯・風紀」(-0.38)となっている。(図3 - 2)

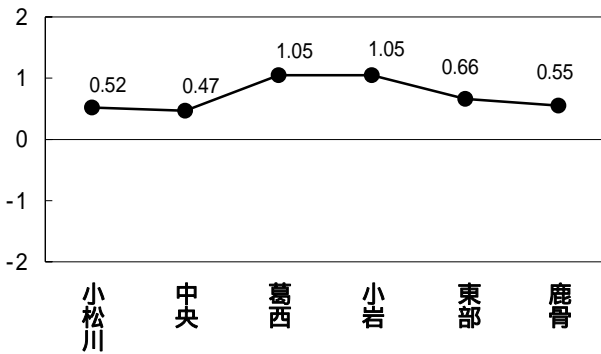
<図3 - 2> 生活環境について / 平均評価



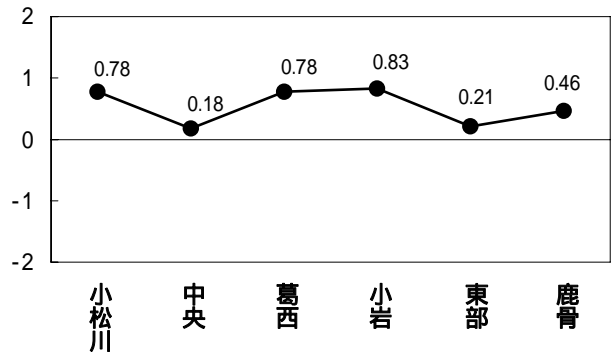
生活環境を地区別に平均評価点で見ると、〔買物の便〕では葛西地区と小岩地区がともに突出している。〔交通の便〕の評価の良い上位3つは小岩地区、小松川地区、葛西地区である。〔街路樹など周辺の緑〕で葛西地区と鹿骨地区が比較的高い。〔公園・子どもの遊び場〕では、葛西地区が最も高く、小岩地区は唯一マイナス評価となっている。〔病院・医療機関〕は中央地区と東部地区が他の地区よりやや低い。〔空気のごれ〕と〔騒音や振動〕では、葛西地区、中央地区、小松川地区の順で評価が低くなっている。〔防犯・風紀〕については、葛西地区が最も低い。(図3-3)

<図3-3> 生活環境について / 平均評価地区別

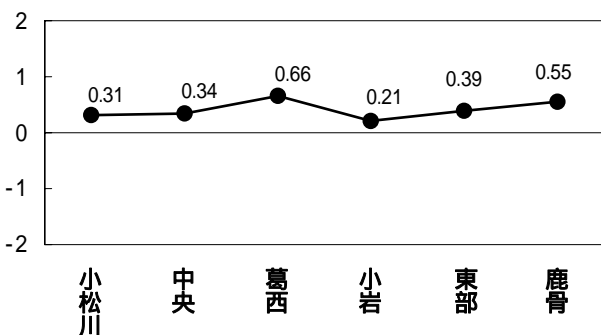
〔買物の便〕



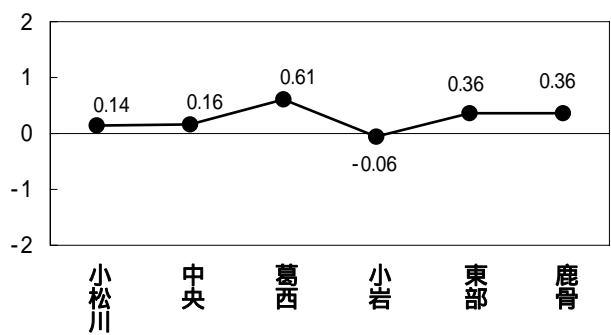
〔交通の便〕



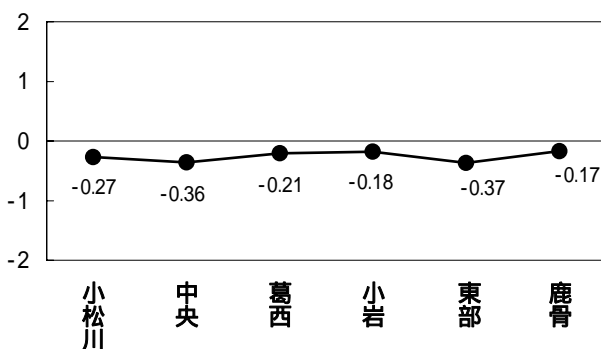
〔街路樹など周辺の緑〕



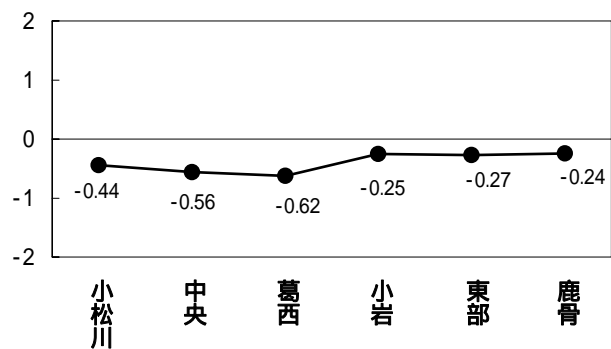
〔公園・子どもの遊び場〕



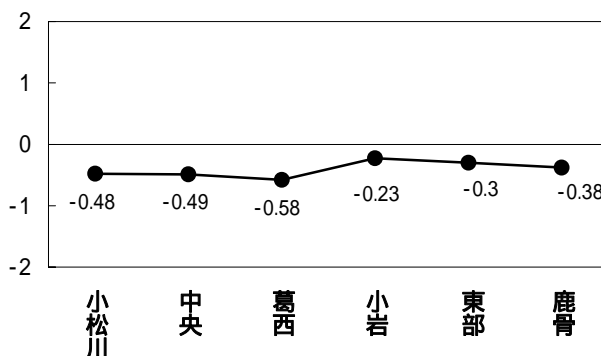
〔病院・医療機関〕



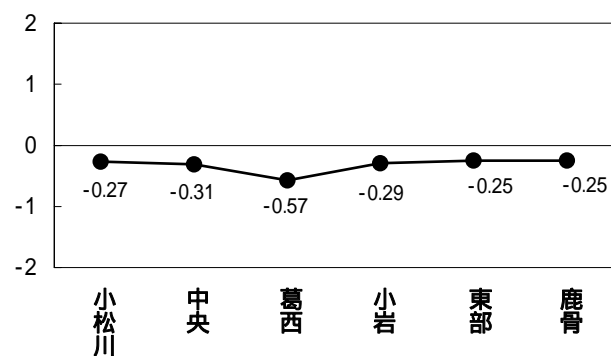
〔空気のごれ〕



〔騒音や振動〕



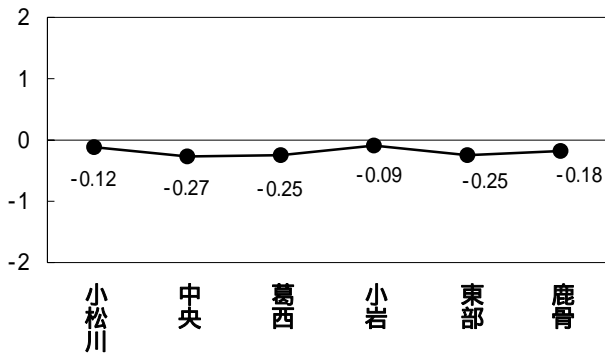
〔防犯・風紀〕



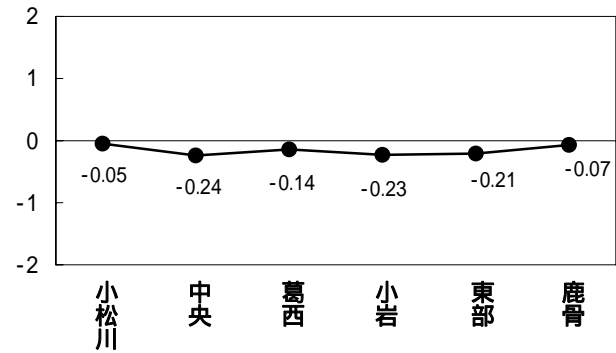
〔交通の安全性〕では、中央地区、葛西地区、東部地区が比較的低い。〔火災や災害時の安全性〕は、中央地区、小岩地区、東部地区で良くないとの評価が若干多い。〔自宅の風通し・日当たり〕の評価でトップは葛西地区。〔近所づきあい〕は鹿骨地区が最も良く、逆に葛西地区はマイナス評価となっている。〔全体の暮らしやすさ〕では、葛西地区と小岩地区が比較的高い。(図 3 - 3)

< 図 3 - 3 > 生活環境について / 平均評価地区別

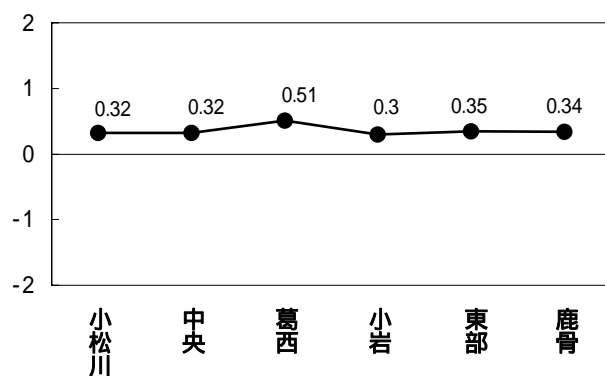
〔交通の安全性〕



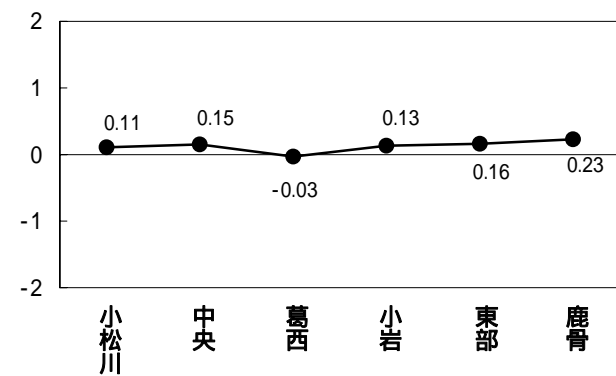
〔火災や災害時の安全性〕



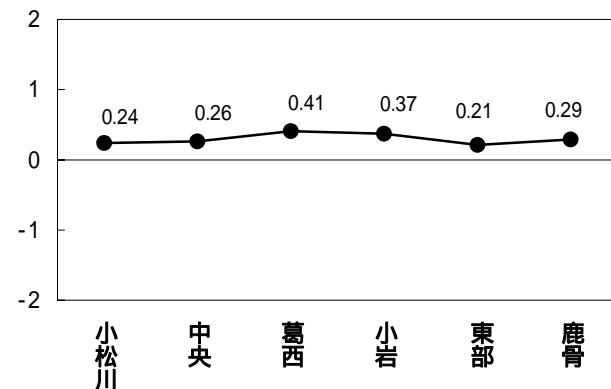
〔自宅の風通し・日当たり〕



〔近所づきあい〕



〔全体の暮らしやすさ〕



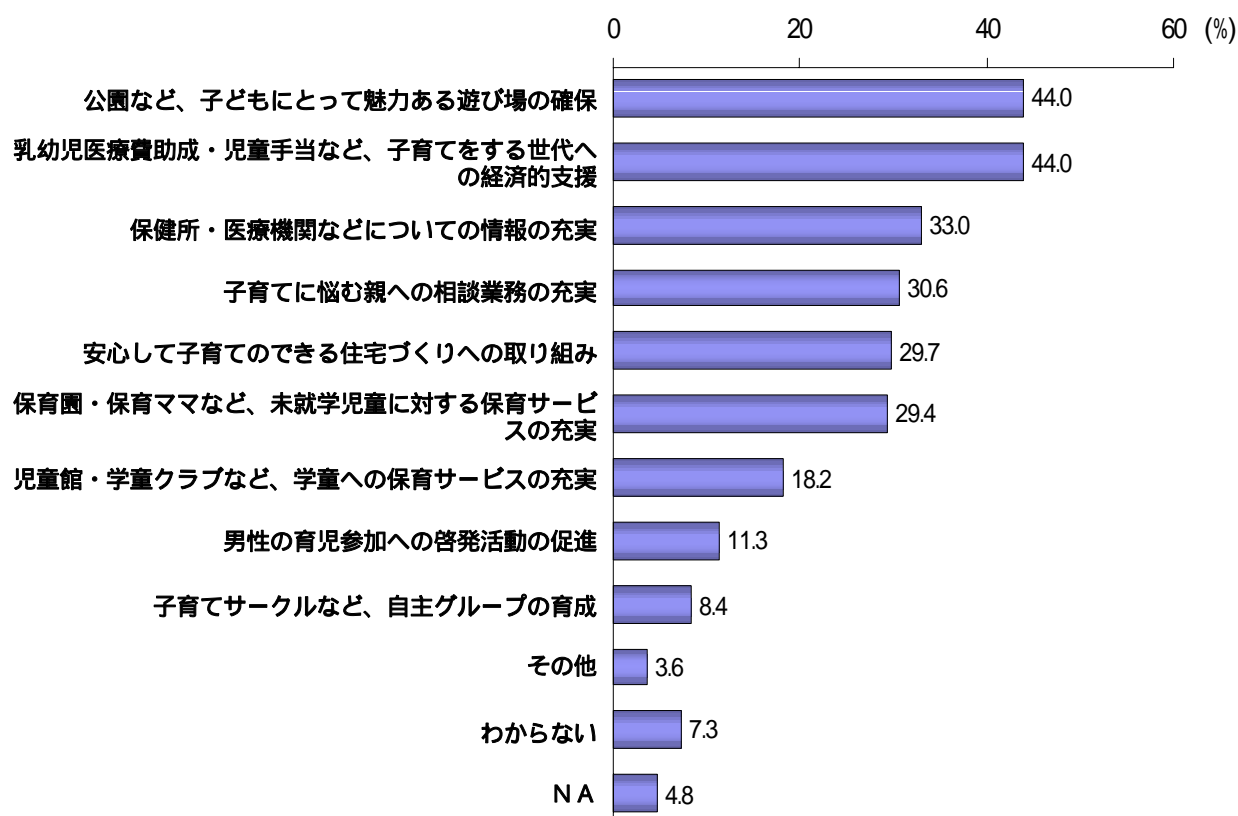
(4) 子育てについて

「子どもにとって魅力ある遊び場の確保」と「子育てをする世代への経済的支援」が4割台半ば

問4 江戸川区では、子育て支援を積極的に推進しています。あなたは、安心して子育てを行うためには、区は特にどのようなことを推進する必要があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N = 1,574

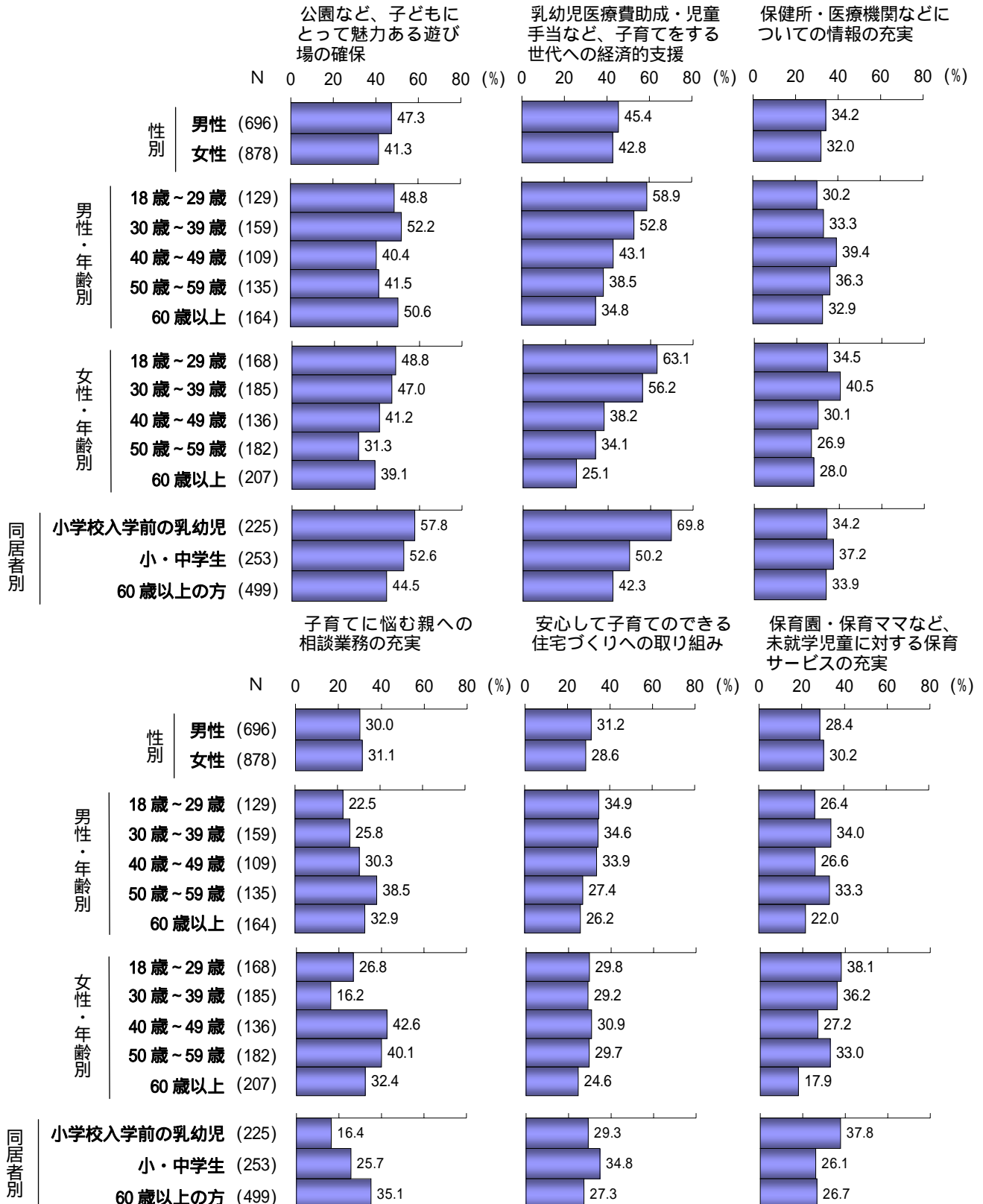
<図4 - 1> 子育て支援（複数回答）



子育て支援で推進してほしいことでは、「公園など、子どもにとって魅力ある遊び場の確保」と「乳幼児医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」がともに4割台半ばで突出している。そのあとに「保健所・医療機関などについての情報の充実」と「子育てに悩む親への相談業務の充実」が3割強、「安心して子育てのできる住宅づくりへの取り組み」と「保育園・保育ママなど、未就学児童に対する保育サービスの充実」が3割弱となっている。（図4 - 1）

性別では、「公園など、子どもにとって魅力ある遊び場の確保」で、男性が女性を6ポイント上回るほかは特に大きな差異はみられない。性・年齢別でみると、「公園など、子どもにとって魅力ある遊び場の確保」では、男性の30歳代と60歳以上が比較的高く、半数を超える。「乳幼児医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」は、男女とも18歳～29歳が最も高く、男性で6割弱、女性で6割強となっており、加齢とともに漸減する。同居者別でみると、小学校入学前の乳幼児を持つ人の中で、「乳幼児医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」と答えた人は7割弱を占め、「公園など、子どもにとって魅力ある遊び場の確保」は5割台半ばを超える。(図4-2)

<図4-2> 子育て支援/性別、性・年齢別、同居者別(上位6項目)



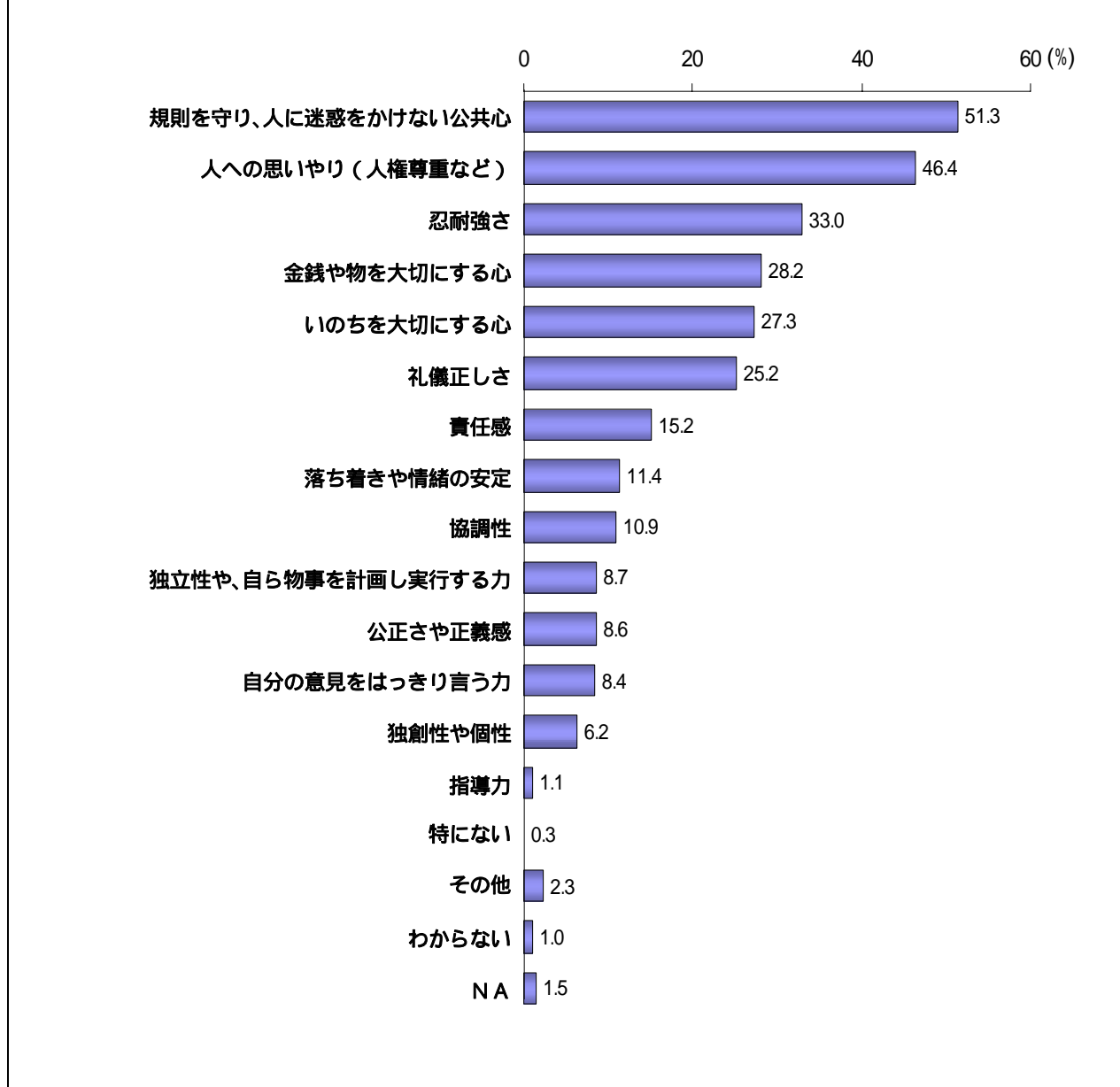
(5) 青少年について

「規則を守り、人に迷惑をかけない公共心」が過半数を占めトップ

問5 21世紀を担う子どもたちの健全育成は重要な課題です。あなたが、いまの子どもたちに欠けていると思うことがあれば、次の中から3つまで選んでください。

N = 1,574

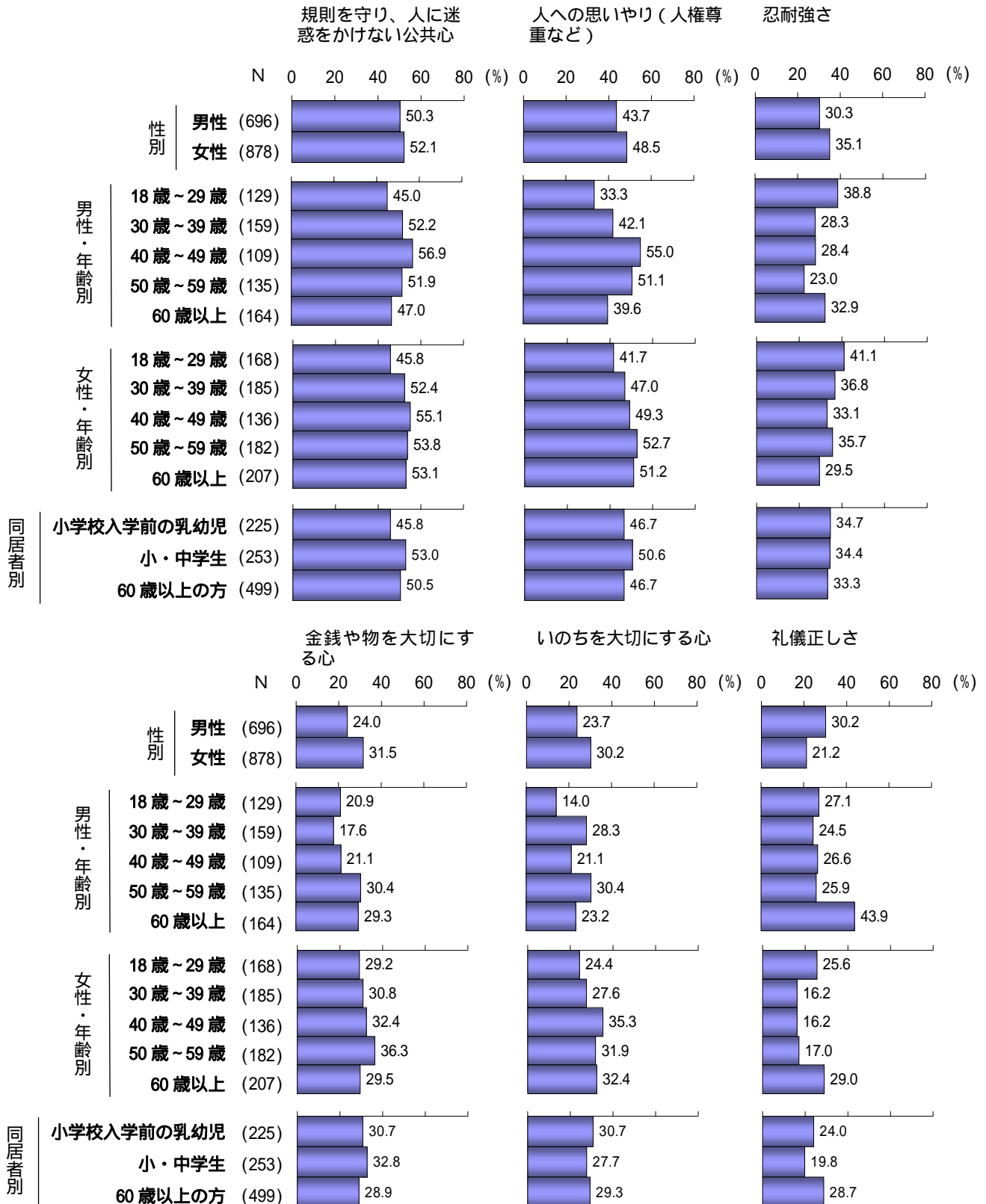
<図5 - 1> いまの子どもたちに欠けていると思うこと（複数回答）



いまの子どもたちに欠けていることを聞いたところ、「規則を守り、人に迷惑をかけない公共心」が過半数を占め、最も高い。次いで「人への思いやり（人権尊重など）」が4割台半ば、「忍耐強さ」が3割強、「金銭や物を大切にする心」、「いのちを大切にする心」、「礼儀正しさ」の3つが2割台後半となっている。（図5 - 1）

性別で見ると、「金銭や物を大切に作る心」で8ポイント、「いのちを大切に作る心」で7ポイント女性の方が高く、「礼儀正しさ」では男性が9ポイント上回る。性・年齢別では、「規則を守り、人に迷惑をかけない公共心」と「人への思いやり(人権尊重など)」の男性は、40歳代が最も高く、5割台半ばを占める。また「忍耐強さ」では18歳～29歳が、「礼儀正しさ」では60歳以上が、男女ともに最も高い。同居者別で見ると、「規則を守り、人に迷惑をかけない公共心」は、同居者が小・中学生と60歳以上の方で過半数を占め、「人への思いやり(人権尊重など)」では、小・中学生が半数を占める。(図5-2)

<図5-2> いまの子どもたちに欠けていると思うこと/性別、性・年齢別、同居者別(上位6項目)



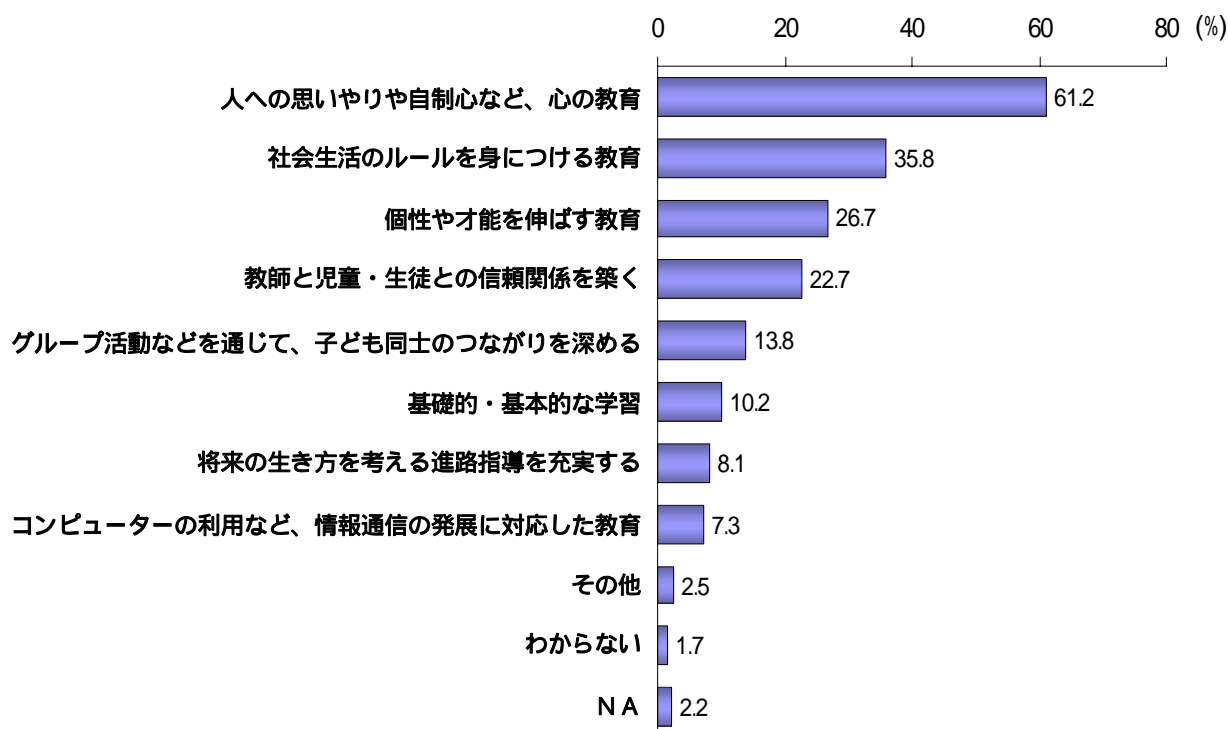
(6) 学校教育について

「人への思いやりや自制心など、心の教育」が6割強

問6 子どもたちを取り巻く環境が変化しています。あなたは、これから小・中学校はどのような点に力をいれるべきだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

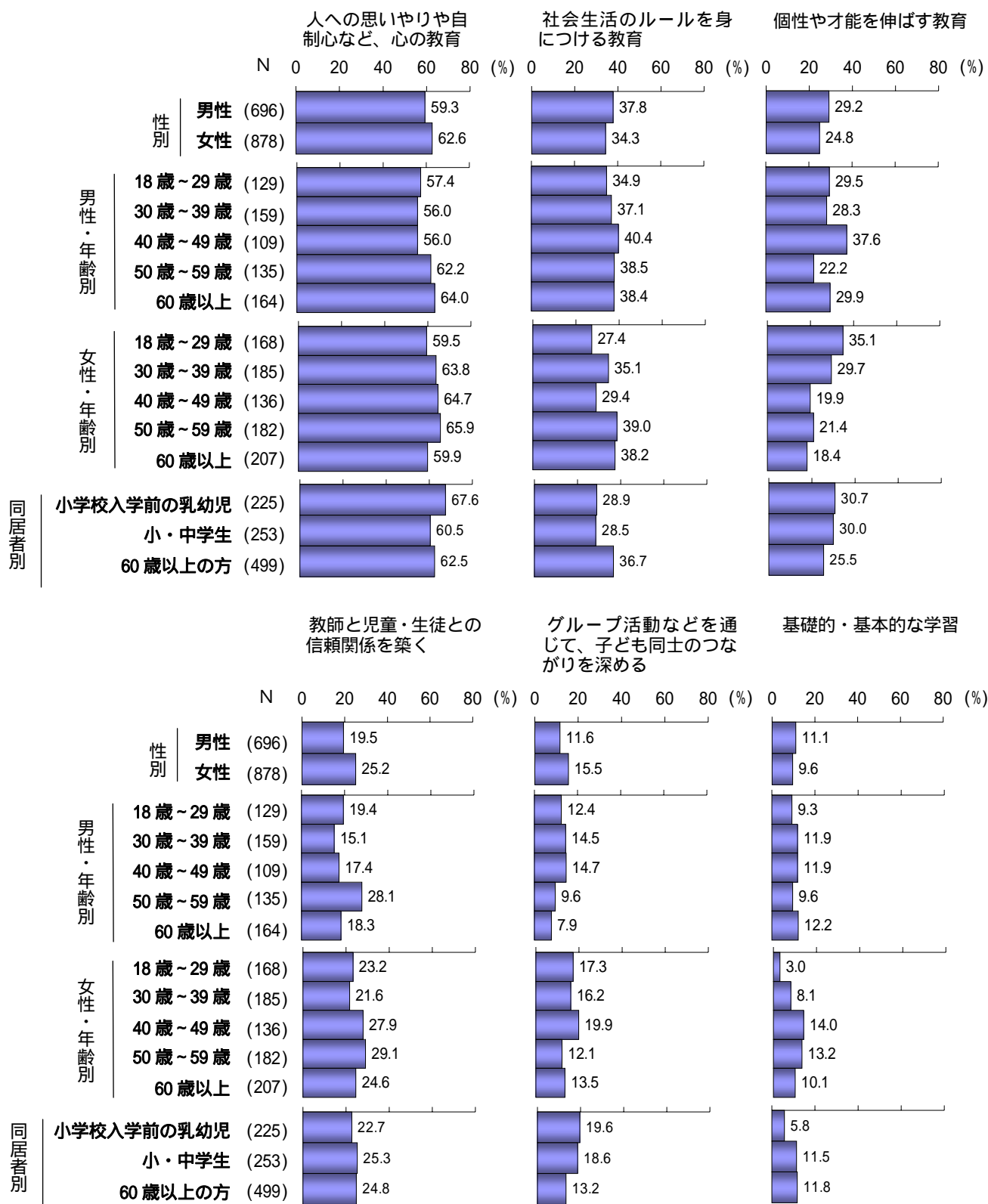
<図6 - 1> 小・中学校が力をいれるべき点（複数回答）



小・中学校が力をいれるべき点について聞いたところ、「人への思いやりや自制心など、心の教育」が最も高く、6割強で突出している。次いで「社会生活のルールを身につける教育」が3割台半ば、「個性や才能を伸ばす教育」が2割台半ば、「教師と児童・生徒との信頼関係を築く」が2割強となっている。(図6 - 1)

性別では、「個性や才能を伸ばす教育」では男性の方が4ポイント高く、「教師と児童・生徒との信頼関係を築く」では女性の方が6ポイント上回る。性・年齢別でみると、「個性や才能を伸ばす教育」の男性の40歳代、「教師と児童・生徒との信頼関係を築く」の男性の50歳代が突出している。また「個性や才能を伸ばす教育」と答えた女性は、年齢が上がるにつれて漸減する傾向がみられる。同居者別でみると、「人への思いやりや自制心など、心の教育」では小学校入学前の乳幼児がいる人が比較的高く、6割台半ばを超える。「社会生活のルールを身につける教育」は、60歳以上の方がいる人が3割台半ばを超える。(図6-2)

<図6-2> 小・中学校が力をいれるべき点/性別、性・年齢別、同居者別(上位6項目)



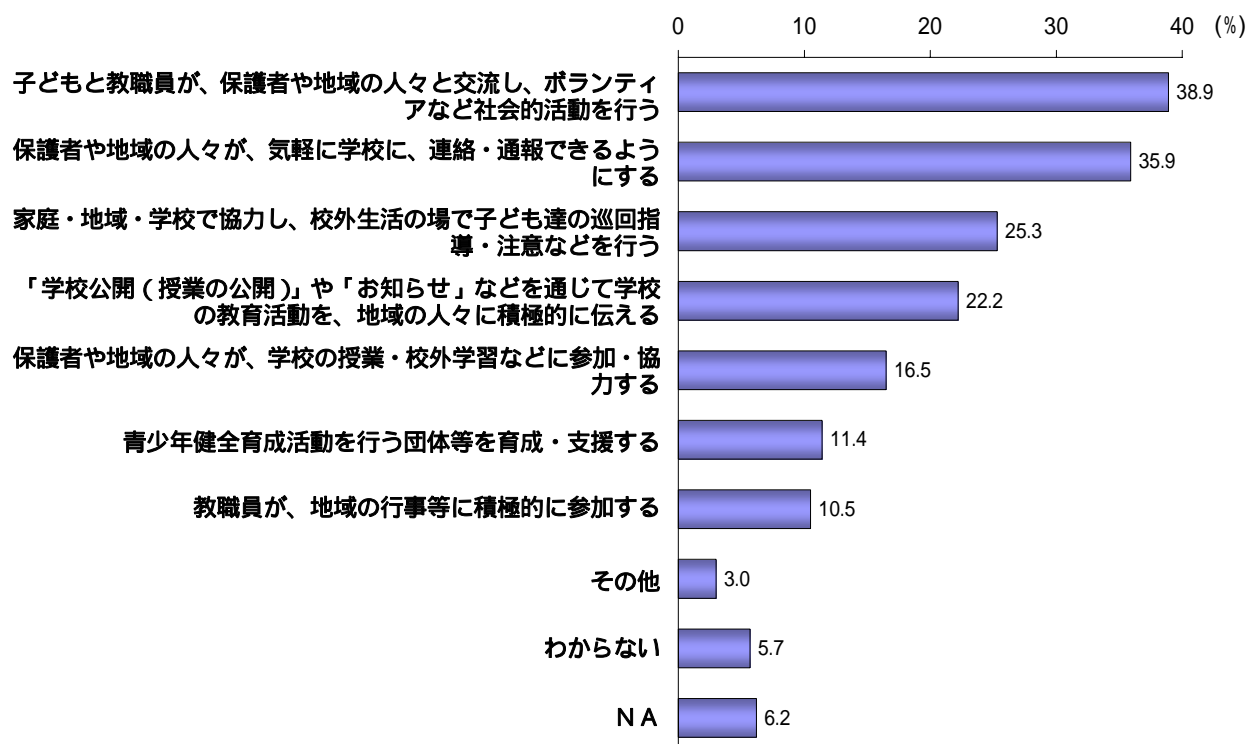
(7) 地域との連携について

「子どもと教職員が、保護者や地域の人々と交流し、社会的活動を行う」が4割弱でトップ

問7 児童・生徒を健全に育成するためには、家庭・地域・学校の連携が必要となっています。そのために、あなたが必要だと思うものを、次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

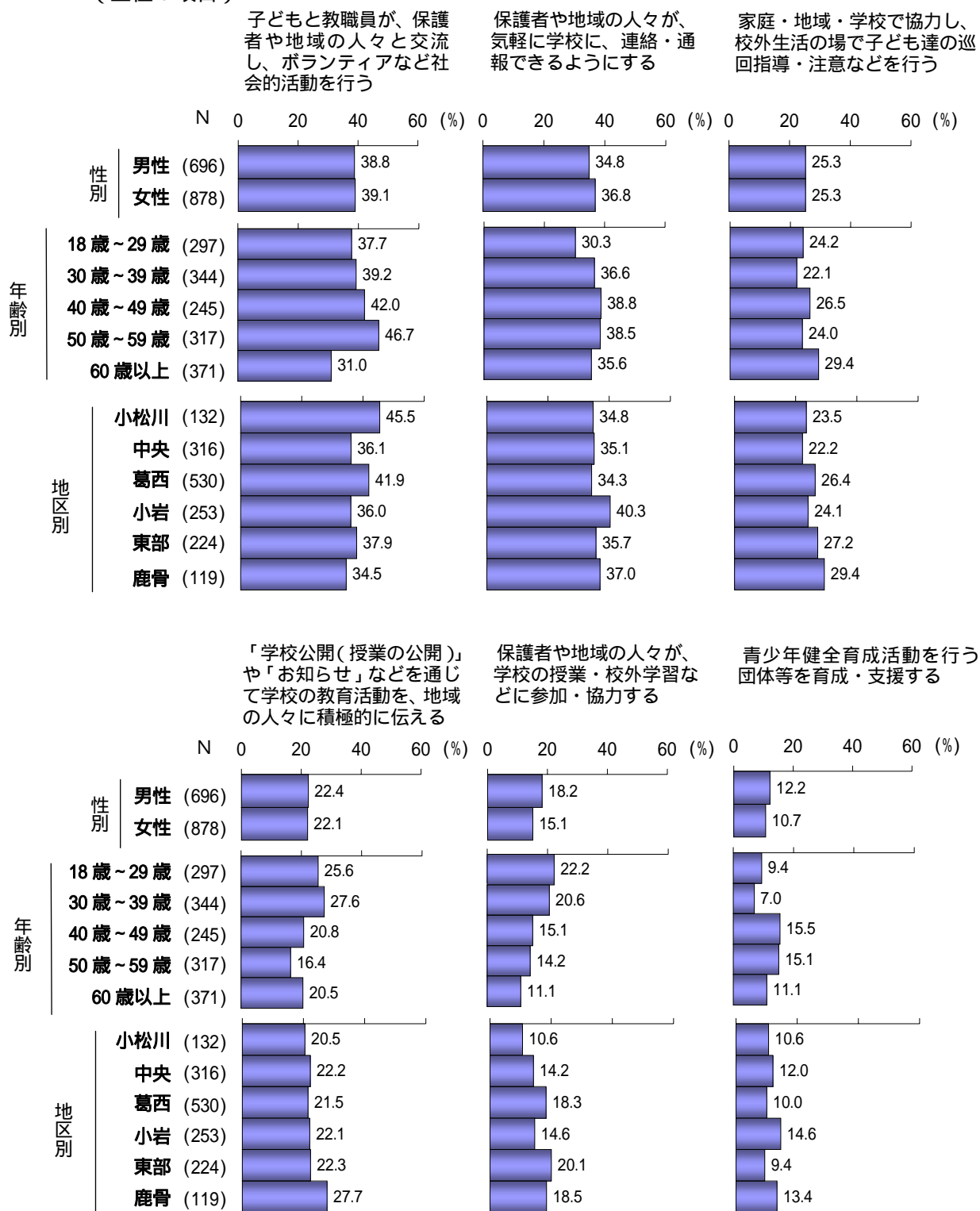
< 図7 - 1 > 健全育成のため家庭・地域・学校が連携する上で必要なこと（複数回答）



児童や生徒の健全育成のために、家庭・地域・学校が連携する上で必要なことでは、4割弱の人が「子どもと教職員が、保護者や地域の人々と交流し、ボランティアなど社会的活動を行う」と答え、最も多かった。次いで、「保護者や地域の人々が、気軽に学校に、連絡・通報できるようにする」が3割台半ば、「家庭・地域・学校で協力し、校外生活の場で子ども達の巡回指導・注意などを行う」が2割台半ば、「学校公開（授業の公開）」や「お知らせ」などを通じて学校の教育活動を、地域の人々に積極的に伝える」が2割強となっている。（図7 - 1）

性別では、特に大きな差異はみられない。年齢別でみると、「子どもと教職員が、保護者や地域の人々と交流し、ボランティアなど社会的活動を行う」では、60歳以上を除いて年齢とともに高くなり、50歳代が最も高く、4割台半ばを超える。一方、「保護者や地域の人々が、学校の授業・校外学習などに参加・協力する」では、若年代層が高く、年齢が増すごとに低下している。地区別では、「子どもと教職員が、保護者や地域の人々と交流し、ボランティアなど社会的活動を行う」は、小松川地区が高く、4割台半ばを超える。また「保護者や地域の人々が、気軽に学校に、連絡・通報できるようにする」は、小岩地区が最も高く、4割となっている。(図7-2)

<図7-2> 健全育成のため家庭・地域・学校が連携する上で必要なこと/性別、年齢別、地区別 (上位6項目)



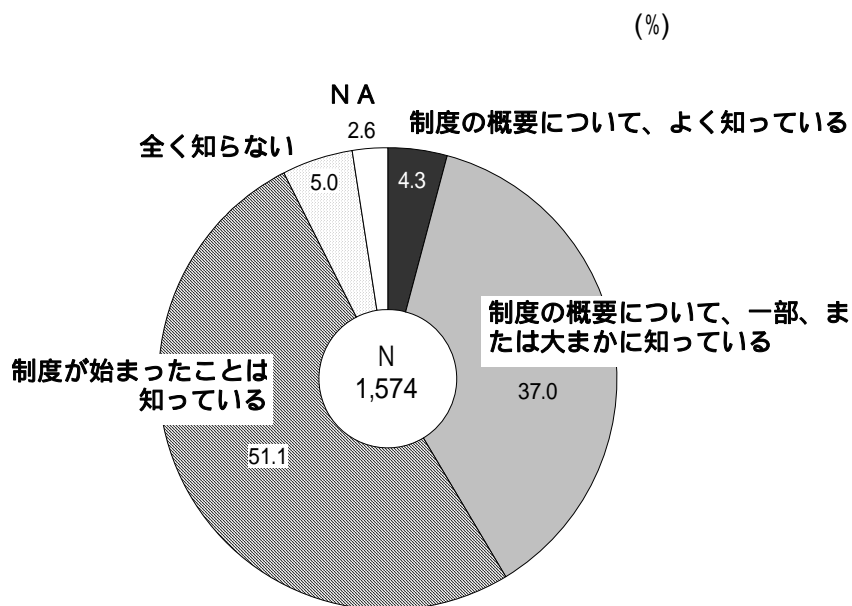
(8) 介護保険について

「制度が始まったことは知っている」が半数

問 8 今年 4 月から全国一斉に介護保険制度が開始されました。あなたは、この制度をどの程度ご存じですか。

N = 1,574

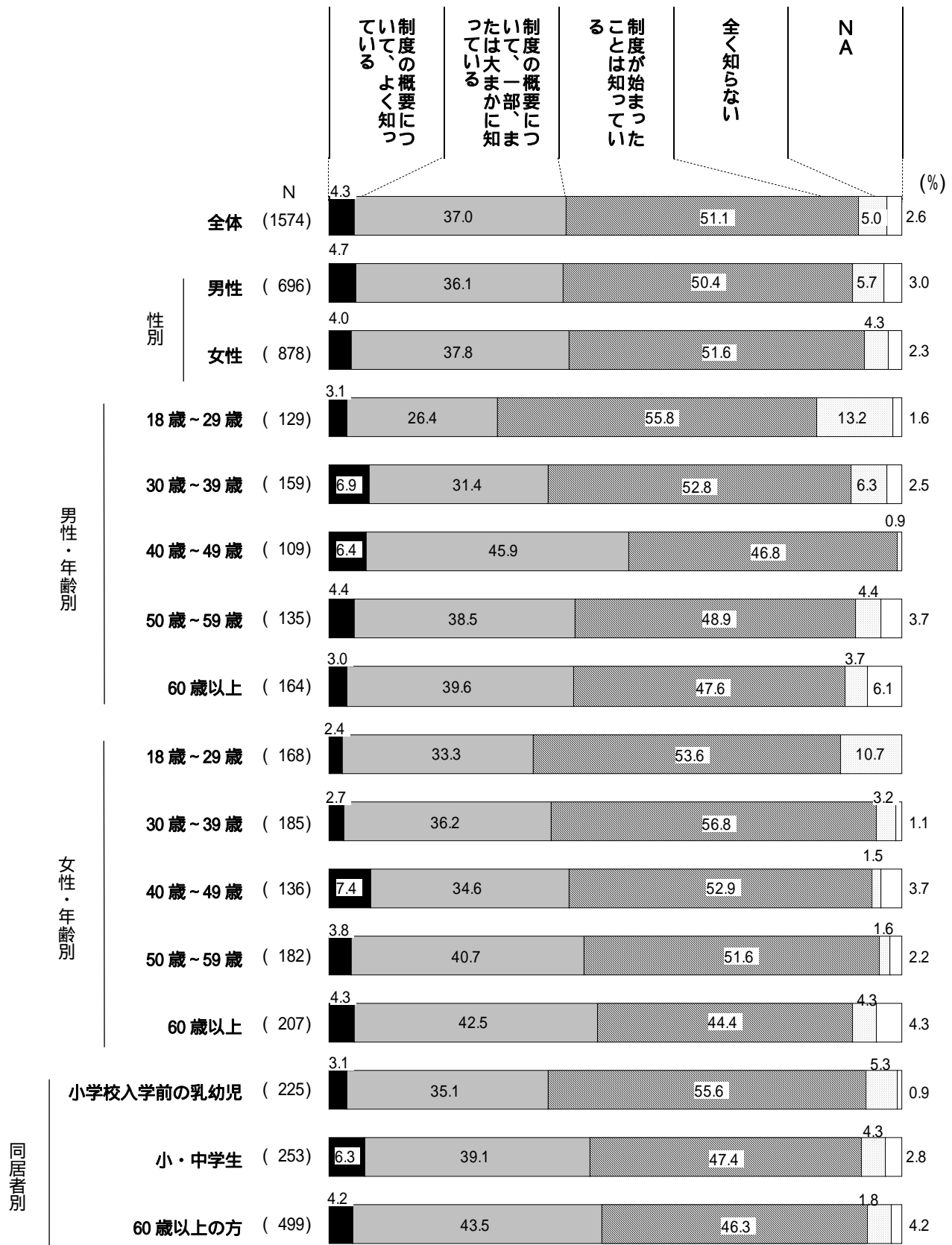
< 図 8 - 1 > 介護保険制度の認知状況



介護保険制度の認知状況では、「制度の概要について、よく知っている」は1割に満たないが、3割台半ばを超える「制度の概要について、一部、または大まかに知っている」を合わせた“制度の概要について知っている”人は、4割強となっている。また、半数の人が「制度が始まったことは知っている」と答えている。(図 8 - 1)

性別でみると、特に大きな差はみられない。性・年齢別では、“制度の概要について知っている”人が、男性では40歳代が最も高く、半数を占める。女性は年齢が上がるにつれて、“制度の概要について知っている”人も増加し、60歳以上で4割台半ばを超える。同居者別では、“制度の概要について知っている”人が、小・中学生、60歳以上の方で4割台半ばを超える。(図8-2)

<図8-2> 介護保険制度の認知状況/性別、性・年齢別、同居者別



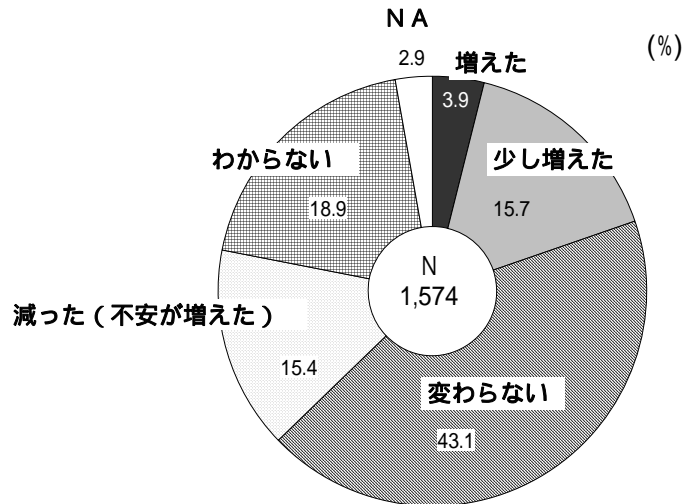
(9) 介護保険の安心感について

「変わらない」が4割強、「増えた」と感じた人は2割弱

問9 介護保険は、高齢者の介護を社会全体で支える制度です。介護保険制度が開始され、あなたは、あなた自身を含む家族の介護に対して、今後の安心感が増えましたか。

N = 1,574

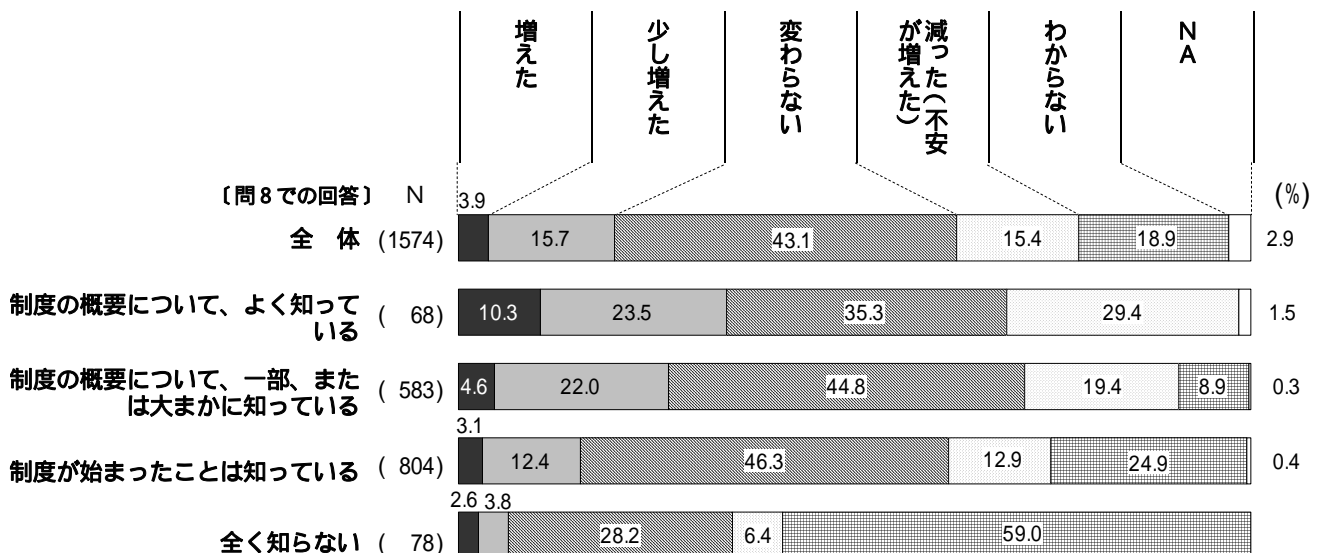
<図9-1> 介護保険制度実施による家族の介護に対する今後の安心感



介護保険制度実施による今後の安心感について尋ねたところ、「変わらない」が4割強で最も多かった。「増えた」と「少し増えた」を合わせた安心感が「増えた」と感じた人は2割弱いる。(図9-1)

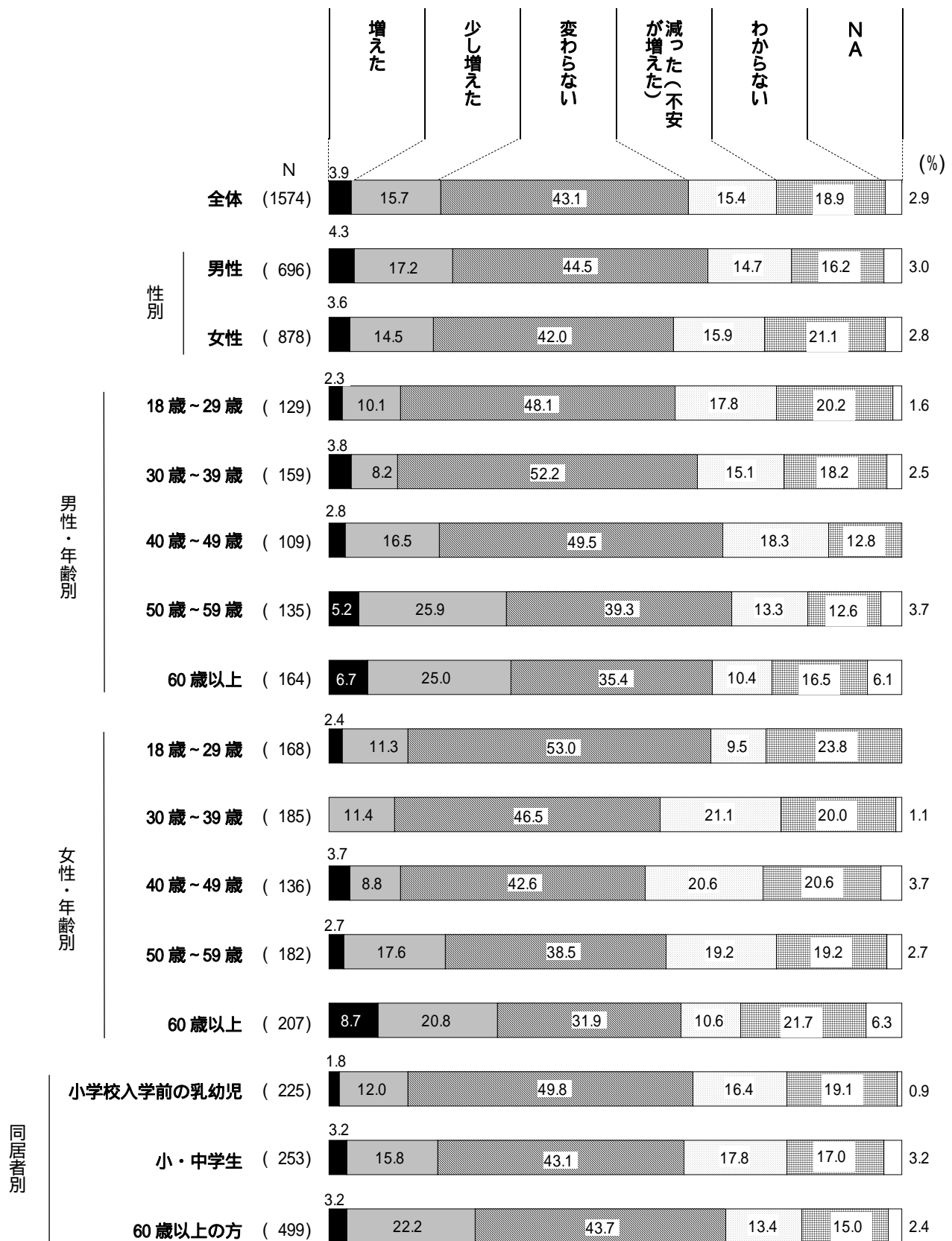
問8の介護保険制度の認知状況別にみると、〔制度の概要について、よく知っている〕人では、「増えた」と答えた人が3割強となっており、介護保険制度をよく知っている人ほど安心感が高いと言える。同様に「減った(不安が増えた)」人も3割弱いる。安心感が「増えた」人も「減った(不安が増えた)」人も認知度が下がるにつれて漸減している。一方、認知度が低い人ほど、「変わらない」または「わからない」と答える傾向にある。(図9-2)

<図9-2> 介護保険制度実施による家族の介護に対する今後の安心感 / 介護保険制度の認知状況別



性別では、“増えた”と感じた人は、男性の方が3ポイント上回る。性・年齢別でみると、男女ともに年齢が上がるにつれて、安心感が増える傾向にある。特に男性の50歳代以上で3割台に乗る。同居者別をみると、60歳以上の方がいる人では、“増えた”と感じた人が比較的高く、2割台半ばとなっている。(図9-3)

<図9-3> 介護保険制度実施による家族の介護に対する今後の安心感/性別、性・年齢別、同居者別



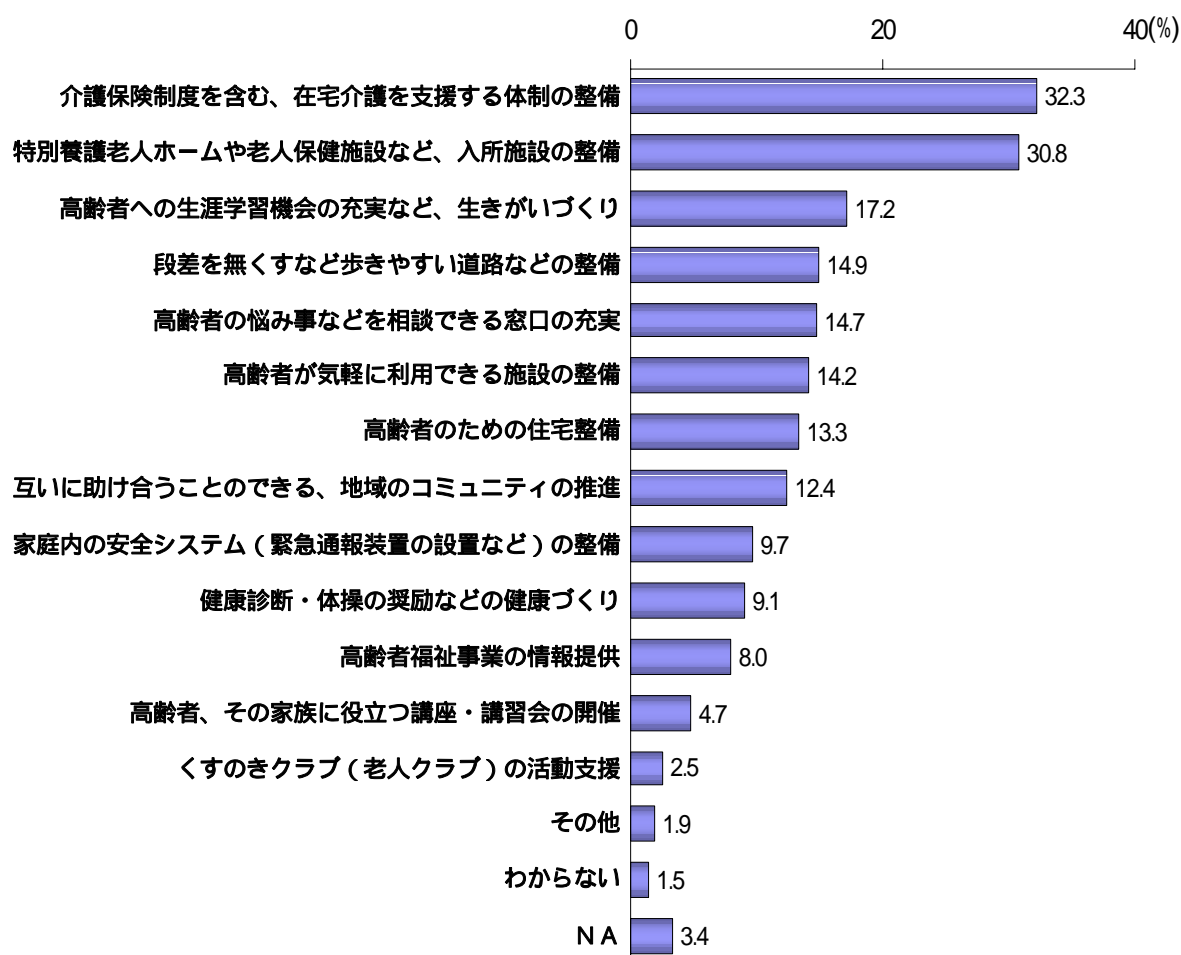
(10) 高齢社会について

「在宅介護を支援する体制の整備」と「入所施設の整備」が3割台

問10 高齢社会を支えるために、あなたは、今後どのような施策が必要だと思えますか。特に優先すべきだと思うものを、次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

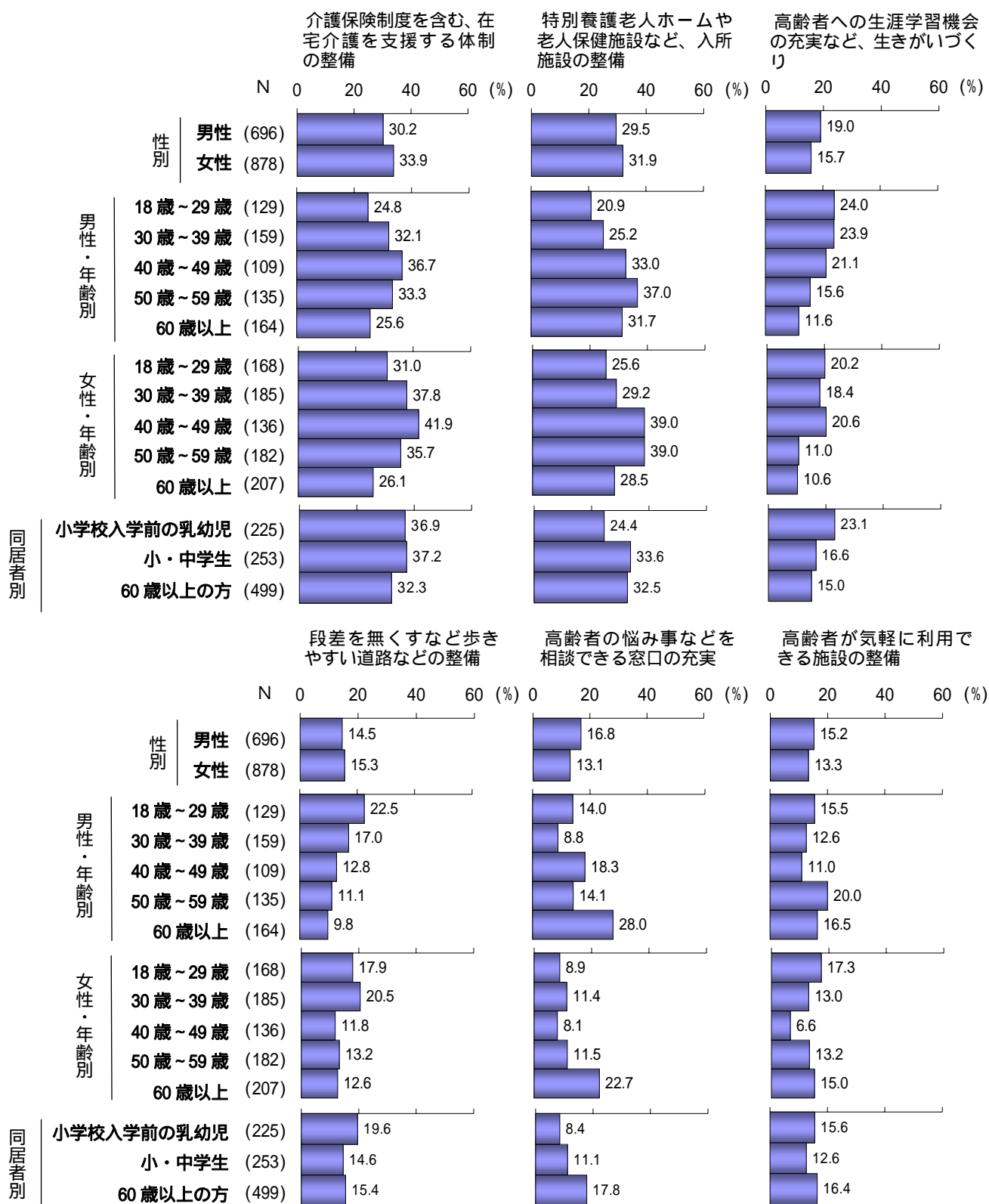
< 図10 - 1 > 高齢社会のために今後必要な施策（複数回答）



高齢社会のために今後必要な施策については、「介護保険制度を含む、在宅介護を支援する体制の整備」と「特別養護老人ホームや老人保健施設など、入所施設の整備」が3割台で、上位2つが突出している。そのあとに「高齢者への生涯学習機会の充実など、生きがいづくり」が1割台半ばで続く。（図10 - 1）

性別でみると、「介護保険制度を含む、在宅介護を支援する体制の整備」は女性が4ポイント高く、「高齢者への生涯学習機会の充実など、生きがいくり」では男性の方が3ポイント高い。性・年齢別では、「介護保険制度を含む、在宅介護を支援する体制の整備」は、男女ともに40歳代が最も高い。「特別養護老人ホームや老人保健施設など、入所施設の整備」の女性では、40歳代と50歳代が4割弱と突出している。また「高齢者の悩み事などを相談できる窓口の充実」は、男女とも60歳以上が突出している。(図10-2)

<図10-2> 高齢社会のために今後必要な施策/性別、性・年齢別、同居者別(上位6項目)



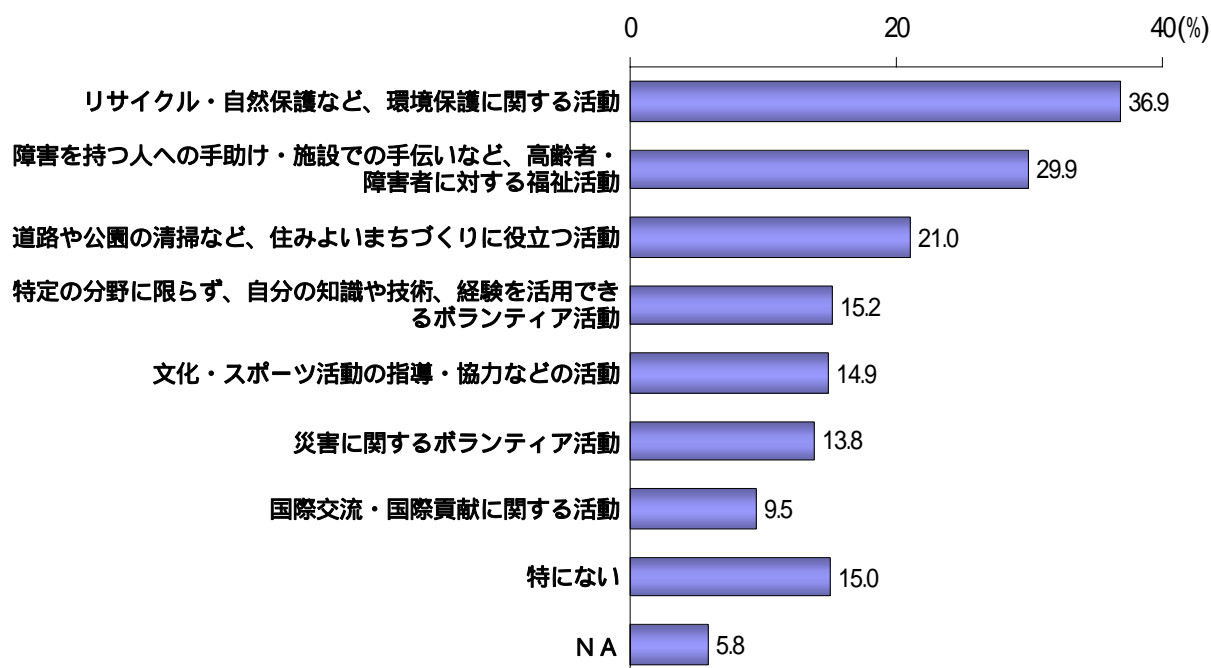
(11) 地域活動・ボランティアについて

「リサイクル・自然保護など、環境保護に関する活動」が3割台半ばを超える

問11 社会に貢献する地域活動・ボランティア活動はいろいろありますが、あなたがこれから参加したいと思う活動を、次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

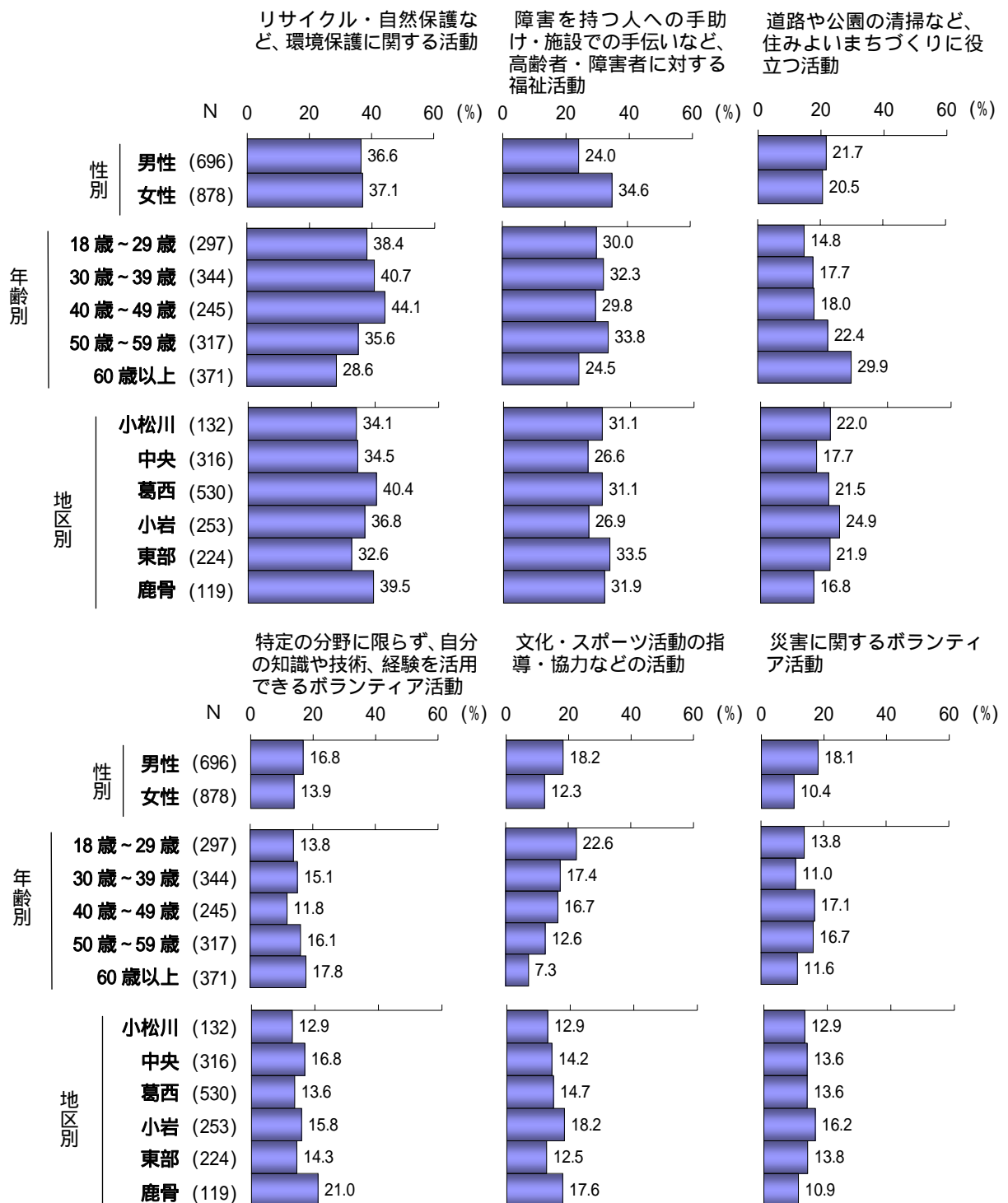
< 図11 - 1 > 参加を希望する地域活動・ボランティア活動（複数回答）



参加を希望する地域活動やボランティア活動については、「リサイクル・自然保護など、環境保護に関する活動」が最も多く、3割台半ばを超える。次いで「障害を持つ人への手助け・施設での手伝いなど、高齢者・障害者に対する福祉活動」が3割、「道路や公園の清掃など、住みよいまちづくりに役立つ活動」が2割強となっている。（図11 - 1）

性別で見ると、「障害を持つ人への手助け・施設での手伝いなど、高齢者・障害者に対する福祉活動」では、女性の方が11ポイント上回る。一方、男性が高いのは「災害に関するボランティア活動」で8ポイント差、「文化・スポーツ活動の指導・協力などの活動」で6ポイント差となっている。年齢別では、「リサイクル・自然保護など、環境保護に関する活動」は、中年代層が比較的高くなっている。また、「道路や公園の清掃など、住みよいまちづくりに役立つ活動」では、年齢が増すにつれて漸増し、60歳以上で3割弱となる。逆に「文化・スポーツ活動の指導・協力などの活動」は、18歳～29歳が最も高く2割強で、加齢とともに減少している。地区別で見ると、「リサイクル・自然保護など、環境保護に関する活動」では、葛西地区と鹿骨地区が比較的高くほぼ4割である。また「特定の分野に限らず、自分の知識や技術、経験を活用できるボランティア活動」は、鹿骨地区が最も高く、2割強となっている。(図11 - 2)

<図11 - 2> 参加を希望する地域活動・ボランティア活動/性別、年齢別、地区別(上位6項目)



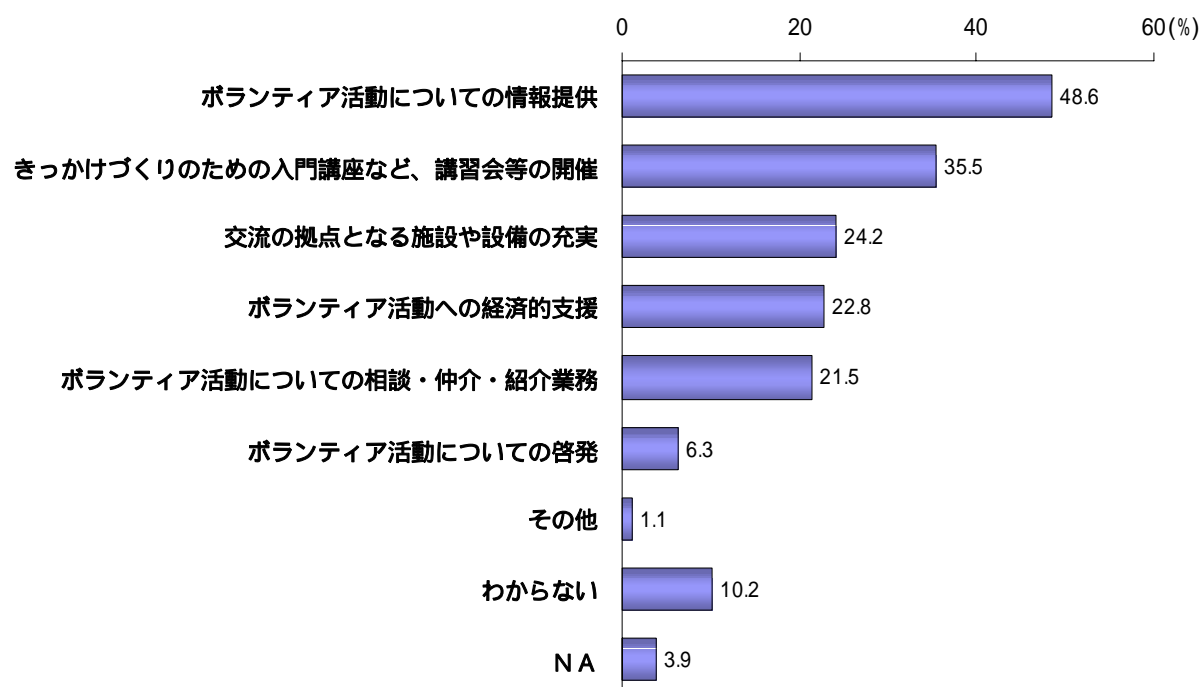
(12) ボランティアセンターについて

「ボランティア活動についての情報提供」がほぼ半数

問12 江戸川区は、今年4月ボランティアセンターを設立しました。ボランティアをしている人、始めようとする人に参加しやすい環境を整えるために、あなたはボランティアセンターが特にどのような事を推進すれば良いと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

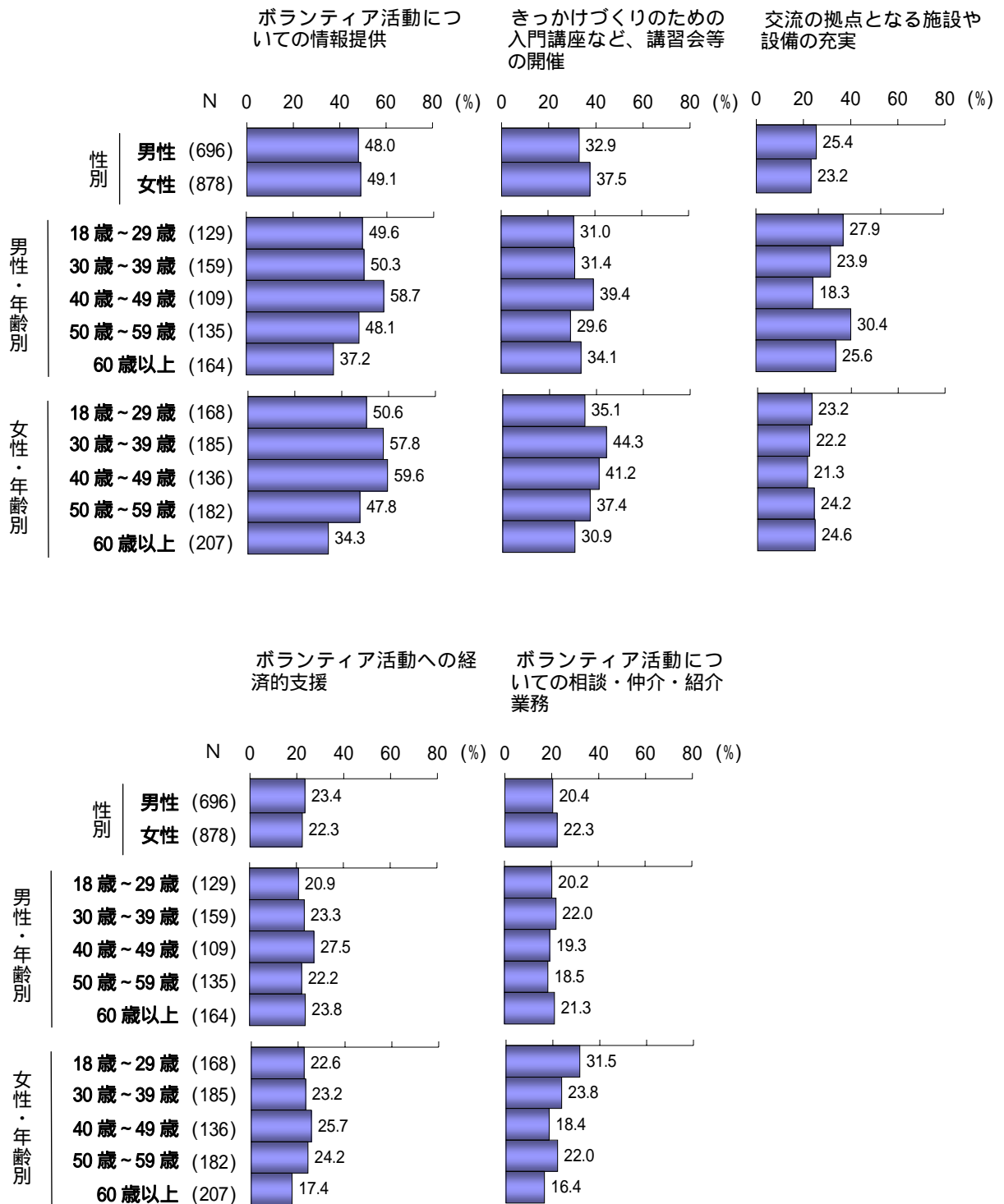
<図12 - 1> 今後希望するボランティアセンターの推進すべき事業（複数回答）



今後希望するボランティアセンターの推進事業については、ほぼ半数の人が「ボランティア活動についての情報提供」をあげている。そのあとに「きっかけづくりのための入門講座など、講習会等の開催」が3割台半ば、「交流の拠点となる施設や設備の充実」が2割台半ば、「ボランティア活動への経済的支援」と「ボランティア活動についての相談・仲介・紹介業務」が2割強と続く。(図12 - 1)

性別では、「きっかけづくりのための入門講座など、講習会等の開催」は、女性が男性より5ポイント上回る。性・年齢別をみると、「ボランティア活動についての情報提供」では、男女とも40歳代が最も高い。「きっかけづくりのための入門講座など、講習会等の開催」の男性は、40歳代が比較的高く4割弱である。女性では30歳代が4割台半ばで、18歳～29歳を除くと加齢にしたがって漸減している。(図12-2)

<図12-2> 今後希望するボランティアセンターの推進すべき事業/性別、性・年齢別(上位5項目)



(13) 男女平等について

〔学校教育の場〕で「平等」が6割強を占める

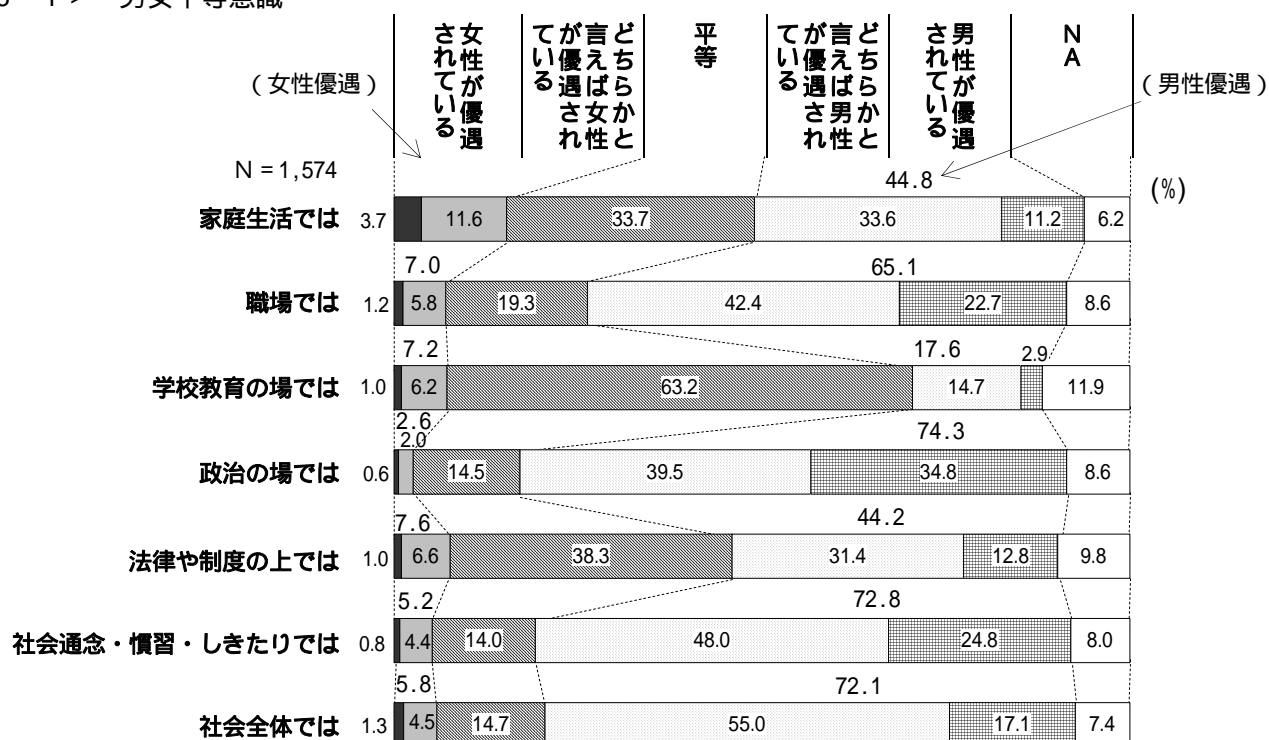
問13 男女共同参画社会基本法（女性と男性がともに参画し、喜びも責任も分かち合える社会の実現を目指す法律）などが施行されました。あなたの身近なところで、次の7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。

N = 1,574

	女性が優遇されている	どちらかといえば女性優遇	平等	どちらかといえば男性優遇	男性が優遇されている	N A
1 家庭生活では	3.7%	11.6%	33.7%	33.6%	11.2%	6.2%
2 職場では	1.2	5.8	19.3	42.4	22.7	8.6
3 学校教育の場では	1.0	6.2	63.2	14.7	2.9	11.9
4 政治の場では	0.6	2.0	14.5	39.5	34.8	8.6
5 法律や制度の上では	1.0	6.6	38.3	31.4	12.8	9.8
6 社会通念・慣習・しきたりでは	0.8	4.4	14.0	48.0	24.8	8.0
7 社会全体では	1.3	4.5	14.7	55.0	17.1	7.4

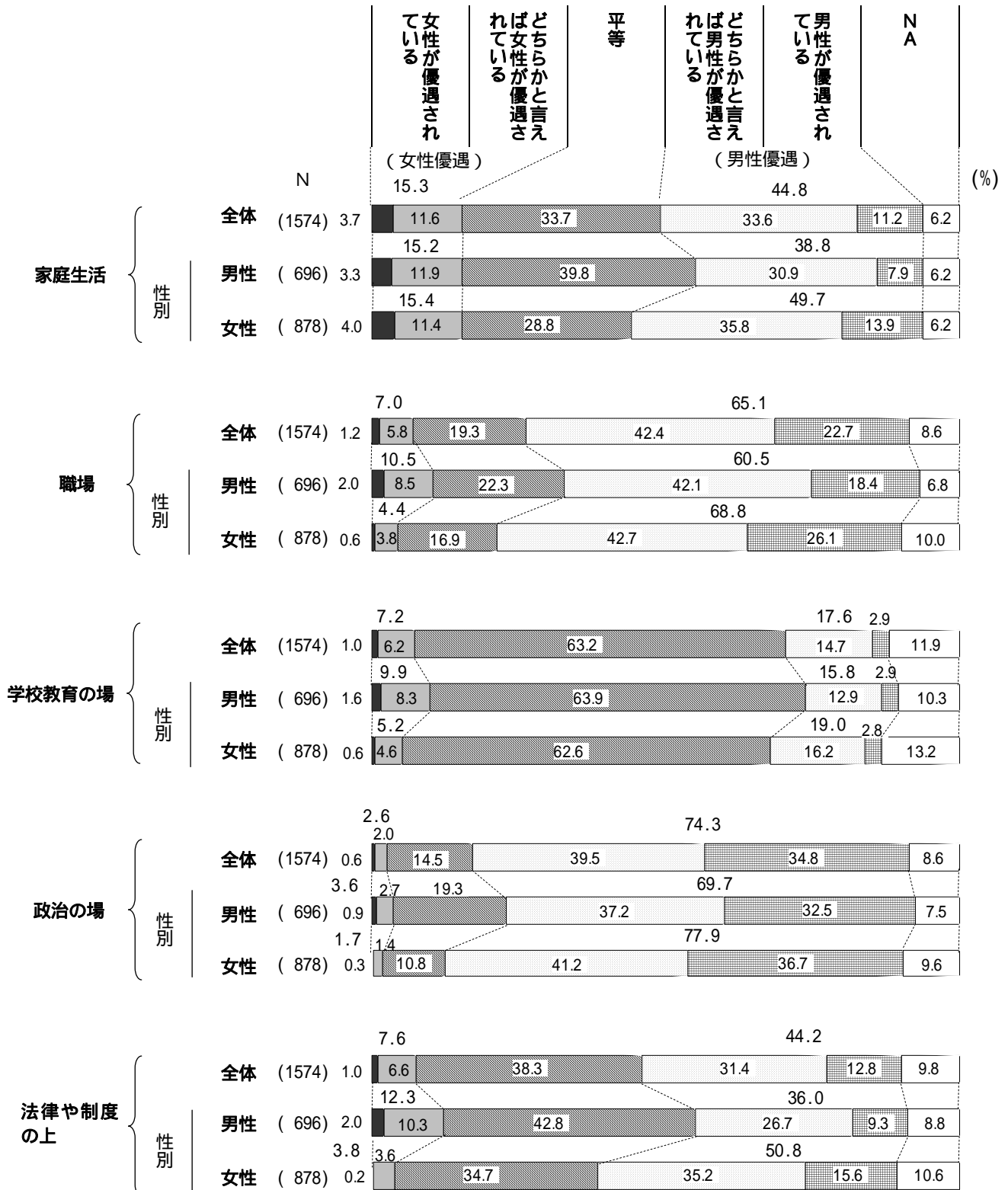
身近なところの男女平等の意識については、〔学校教育の場〕で「平等」と感じている人が6割強を占め、他の分野より突出している。「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性が優遇”と答えた人が多かったのは、〔政治の場〕〔社会通念・慣習〕〔社会全体〕でそれぞれ7割を超える。一方「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性が優遇”では〔家庭生活〕が最も高く、1割台半ばとなっている。(図13-1)

<図13-1> 男女平等意識



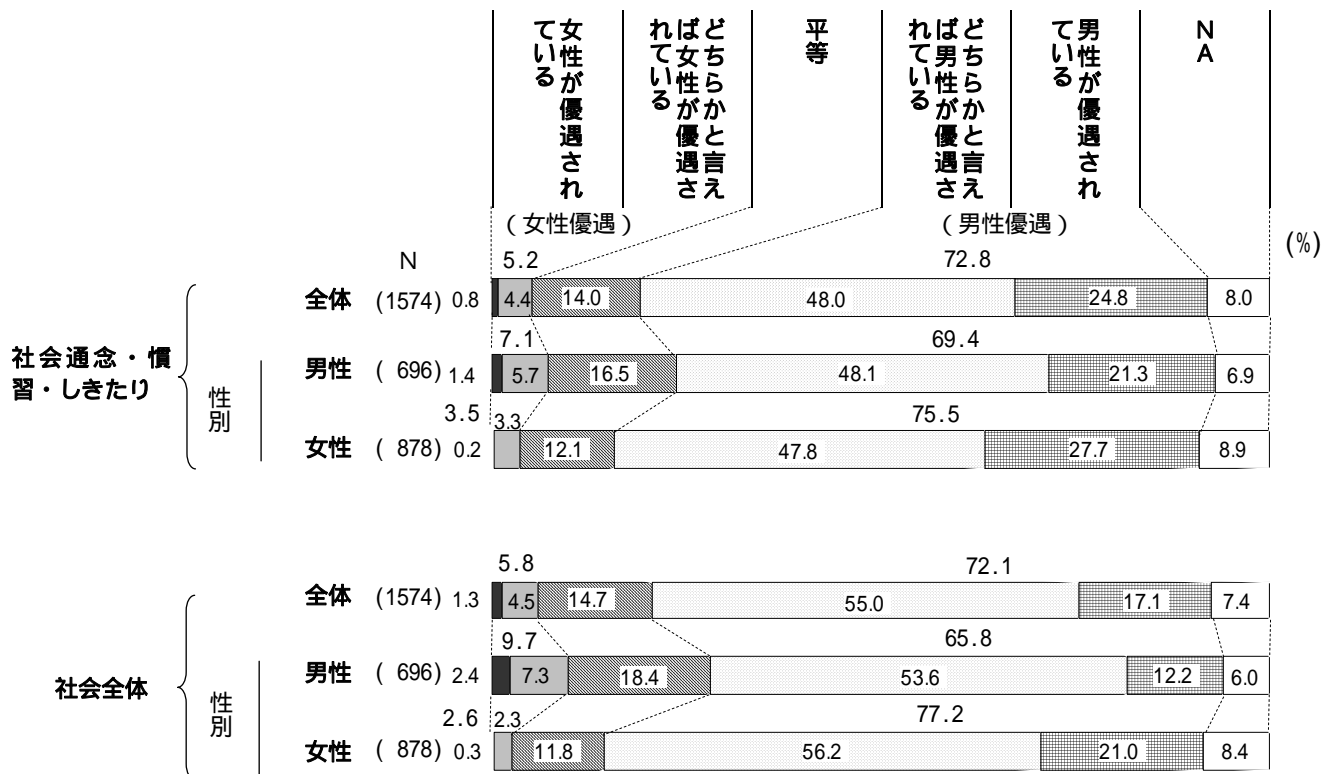
性別にみると、〔家庭生活〕では、「平等」との答えは男性の方が11ポイント上回る。“男性が優遇”については、女性が11ポイント高い。〔職場〕においては、男性の方が高いのは“女性が優遇”で6ポイント、「平等」で5ポイント差となっている。一方、女性の方が高いのは“男性が優遇”で8ポイント差である。〔学校教育の場〕では、「平等」は男女に大きな差はみられない。“女性が優遇”では男性が5ポイント高く、“男性が優遇”では女性が3ポイント高い。〔政治の場〕については、「平等」で男性が9ポイント上回り、“男性が優遇”は女性が8ポイント上回る。〔法律や制度の上〕で男性が高いのは“女性が優遇”の9ポイント差、「平等」の8ポイント差であり、女性が高いのは“男性が優遇”の15ポイント差となっている。(図13-2)

<図13-2> 男女平等意識/性別



「社会通念・慣習・しきたり」では“男性が優遇”で女性が男性を6ポイント上回る。「社会全体」については、「平等」では男性が7ポイント高い。また“女性が優遇”でも男性が7ポイント上回る。一方“男性が優遇”では、女性が11ポイント高い。(図13-2)

<図13-2> 男女平等意識/性別



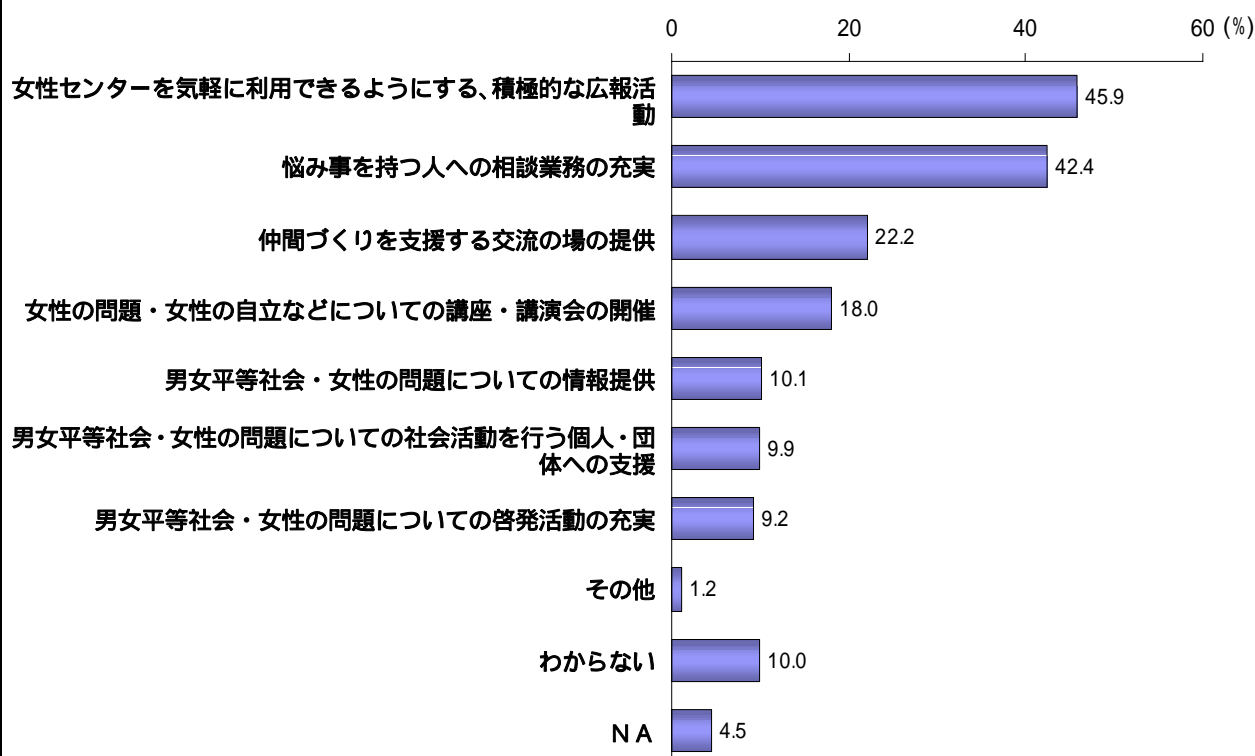
(14) 女性センターについて

「女性センターを気軽に利用できるようにする、積極的な広報活動」が4割台半ばを超える

問14 江戸川区では、家庭内の問題や職場での悩みの解決、自分らしい生き方などについて、各種相談や啓発活動を行う、男性も女性も利用できる女性センターを開設しています。あなたは女性センターが特にどのようなことを推進すればよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

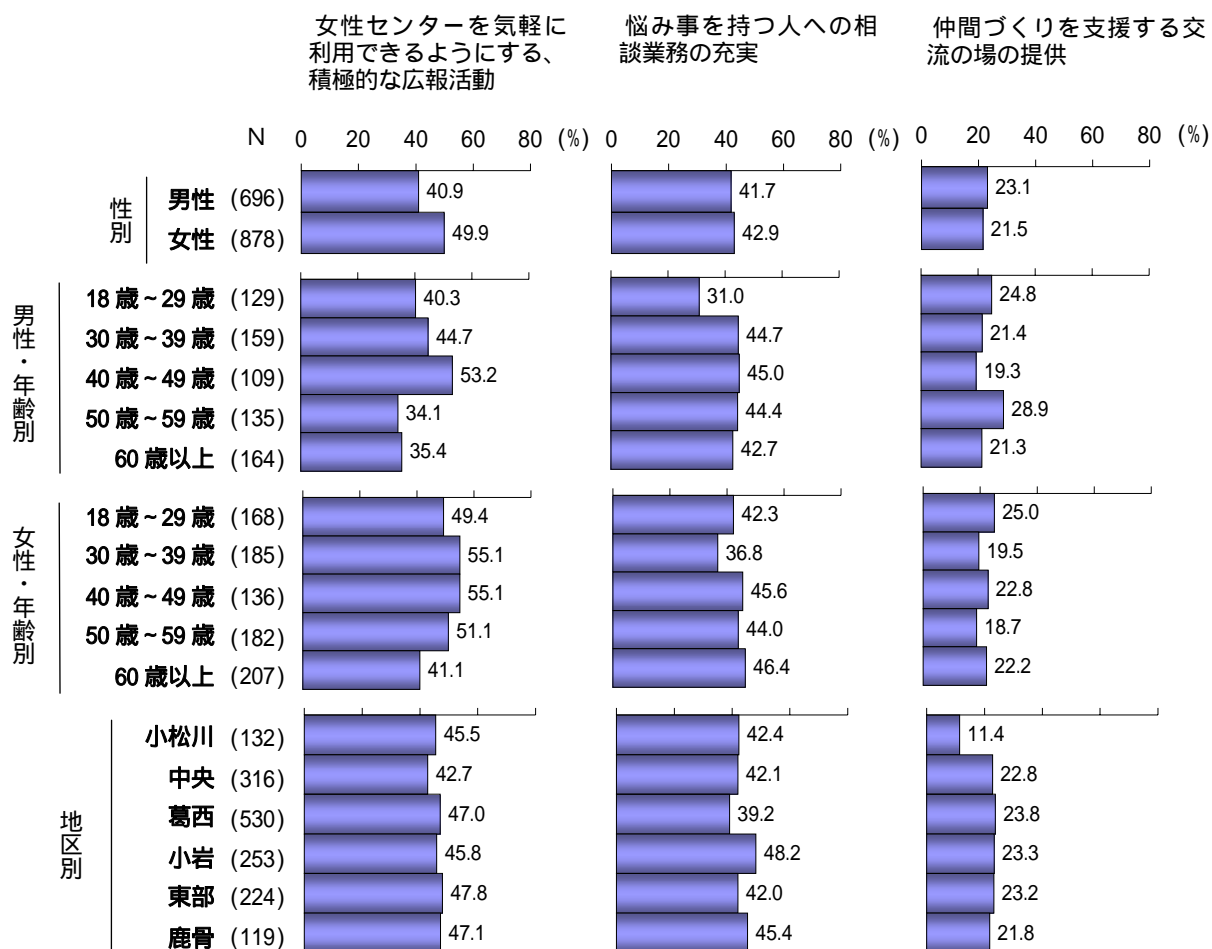
<図14 - 1> 今後希望する女性センターの推進すべき事業（複数回答）



今後希望する女性センターの推進事業について聞いたところ、「女性センターを気軽に利用できるようにする、積極的な広報活動」が最も多く、4割台半ばを超え、「悩み事を持つ人への相談業務の充実」が4割強であり、上位2つが突出している。そのあとに「仲間づくりを支援する交流の場の提供」が2割強と続く。(図14 - 1)

性別でみると、「女性センターを気軽に利用できるようにする、積極的な広報活動」は女性が9ポイント上回る。性・年齢別では、「女性センターを気軽に利用できるようにする、積極的な広報活動」の男性は、40歳代が過半数を占める。女性では、30歳代～40歳代が5割台半ばで比較的高い。「悩み事を持つ人への相談業務の充実」の男性では、18歳～29歳が低く、3割強である。地区別にみると、「悩み事を持つ人への相談業務の充実」では、小岩地区が比較的高く、4割台半ばを超える。また「仲間づくりを支援する交流の場の提供」は、小松川地区が1割強で他の地区より低い。(図14-2)

<図14-2> 今後希望する女性センターの推進すべき事業/性別、性・年齢別、地区別(上位3項目)



(15) 人にやさしいまちづくりについて

〔区民館・コミュニティ会館などの区民施設〕で整備されているとの評価が4割台半ばを超える

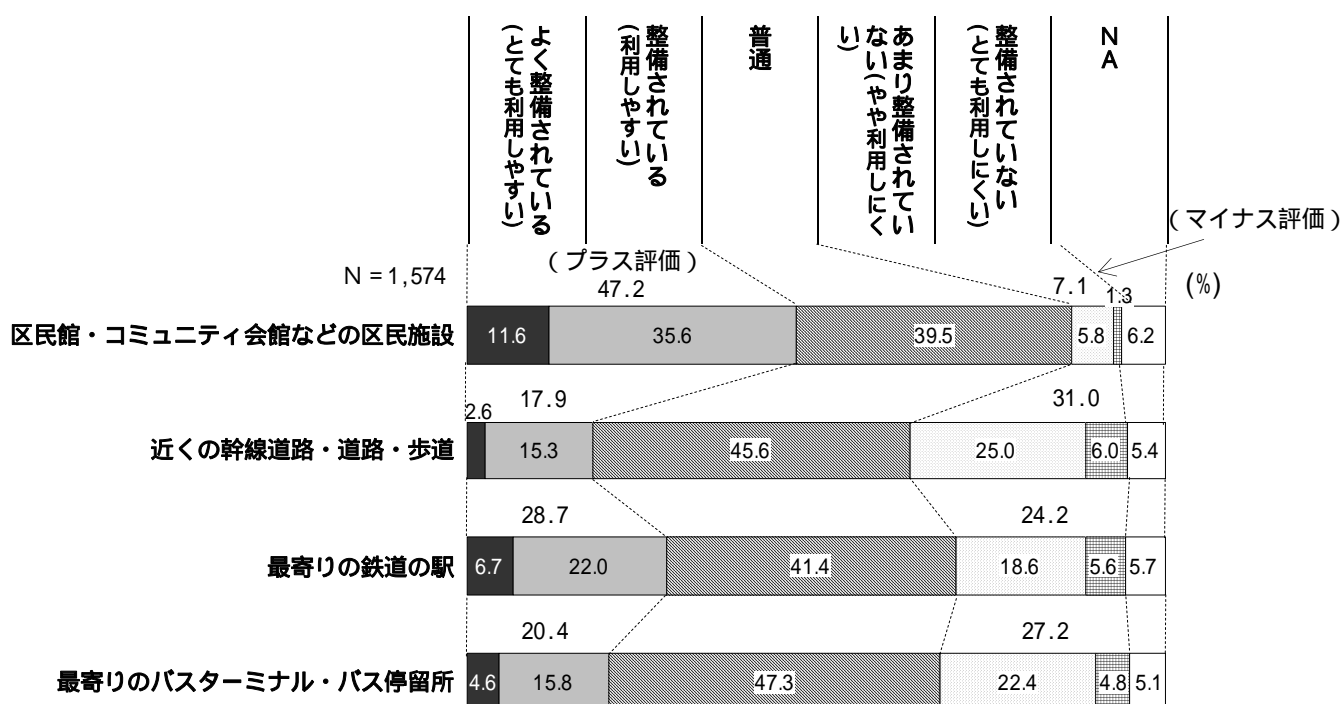
問15 江戸川区は、道路の段差を解消したり公共の建物にスロープを付けるなど、歩きやすい道路・使いやすい施設の整備を積極的に進めています。次の4つの施設について、どの程度整備されていると感じますか。それぞれの施設ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。

N = 1,574

	よく整備されている (とても利用しやすい)	整備されている (利用しやすい)	普通	あまり整備されていない (やや利用しにくい)	整備されていない (とても利用しにくい)	N A
1 区民館・コミュニティ会館などの区民施設	11.6%	35.6%	39.5%	5.8%	1.3%	6.2%
2 近くの幹線道路・道路・歩道	2.6	15.3	45.6	25.0	6.0	5.4
3 最寄りの鉄道の駅	6.7	22.0	41.4	18.6	5.6	5.7
4 最寄りのバスターミナル・バス停留所	4.6	15.8	47.3	22.4	4.8	5.1

道路や施設のバリアフリー評価については、「よく整備されている」と「整備されている」を合わせた“整備されている”との評価では、〔区民館・コミュニティ会館などの区民施設〕が最も高く、4割台半ばを超える。次いで〔最寄りの鉄道の駅〕が約3割となっている。逆に「整備されていない」と「あまり整備されていない」を合わせた“整備されていない”との評価は、〔近くの幹線道路・道路・歩道〕で3割強である。(図15-1)

<図15-1> バリアフリー評価



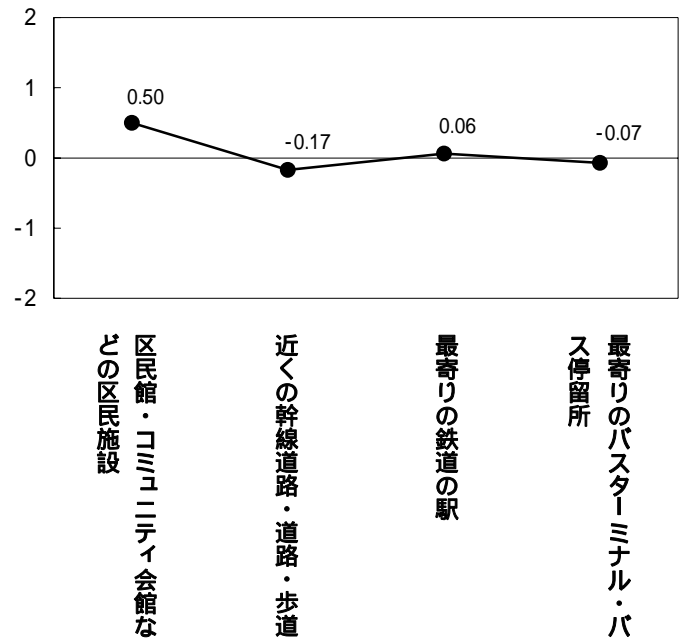
また、各項目間の比較をより単純にするために、下記の計算式のように、5段階の評価に点数を与え、各項目の平均評価点を算出した。

算出方法	$\text{評価点} = \frac{\begin{aligned} &\text{「よく整備されている」の回答数} \times 2 \text{点} \\ &\text{「整備されている」の回答数} \times 1 \text{点} \\ &\text{「あまり整備されていない」の回答数} \times 1 \text{点} \\ &\text{「整備されていない」の回答数} \times 2 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者数}}$
------	--

この算出方法では、評価点は+2.00点から -2.00点の間に分布し、0.00点が中間値である。+2.00点に近いほど評価は高く、逆に -2.00点に近いほど評価は低いことになる。

平均評価点をみると、〔区民館・コミュニティ会館などの区民施設〕が一番高く0.50点。一方、評価が低かったのは、〔近くの幹線道路・道路・歩道〕で -0.17点となっている。(図15 - 2)

<図15 - 2> バリアフリー評価 / 平均評価



(16) 建物・道路などの整備について

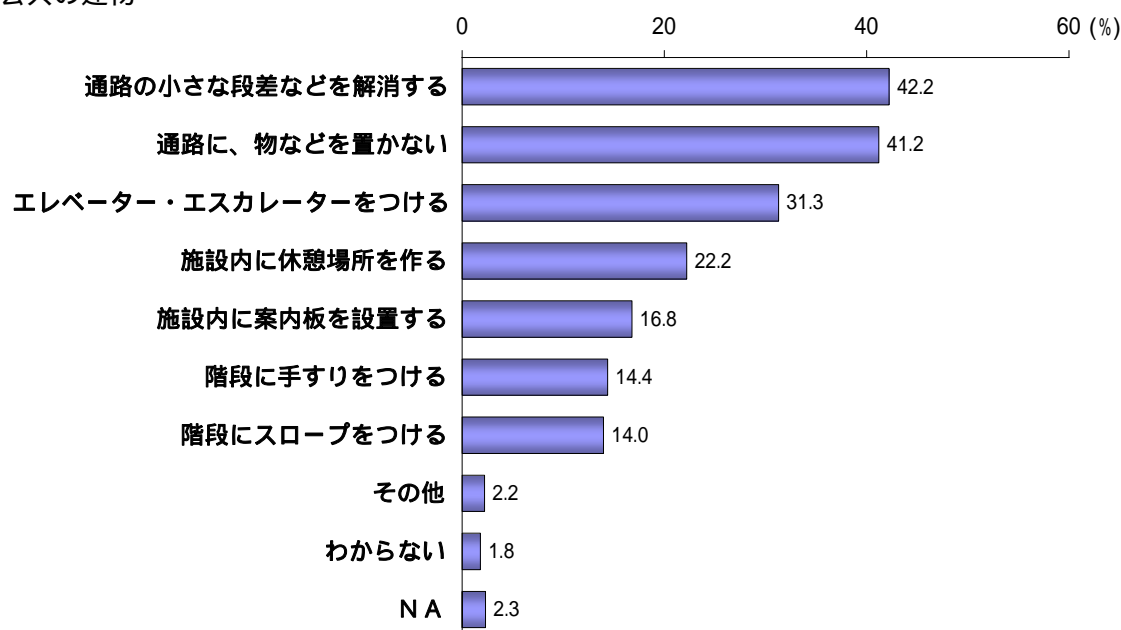
〔道路・歩道〕では、「放置自転車・違法駐車を防止する」が6割弱を占める

問16 あなたが歩行者の立場で考えた場合、公共の建物や道路などをどのように整備すれば、より歩きやすくなったり、利用しやすくなると思いますか。それぞれ、2つまで選んでください。

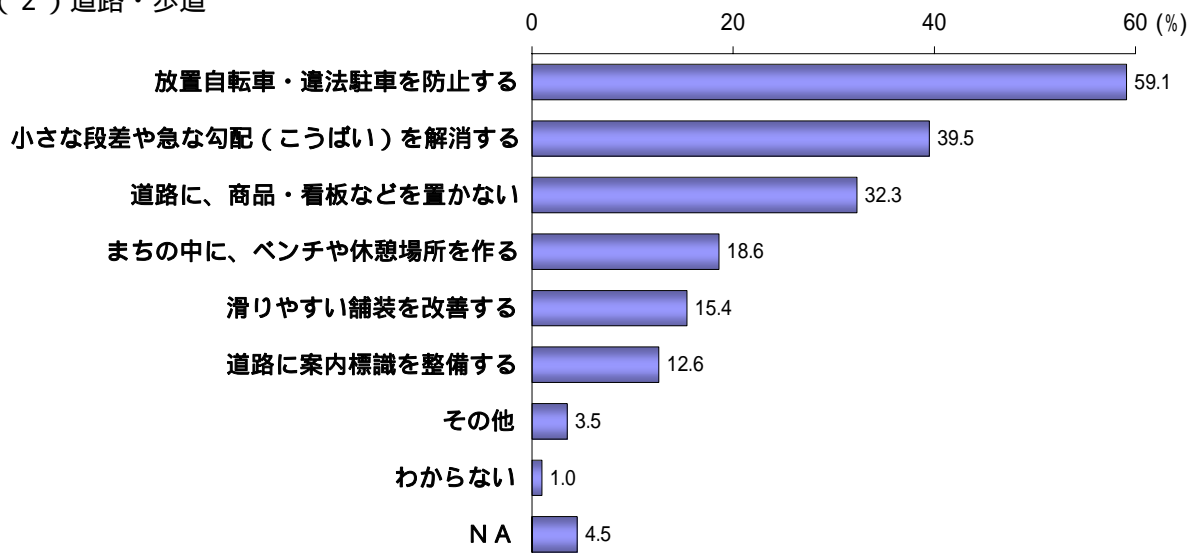
N = 1,574

<図16 - 1> 公共の建物や道路などの整備の方法（複数回答）

(1) 公共の建物



(2) 道路・歩道



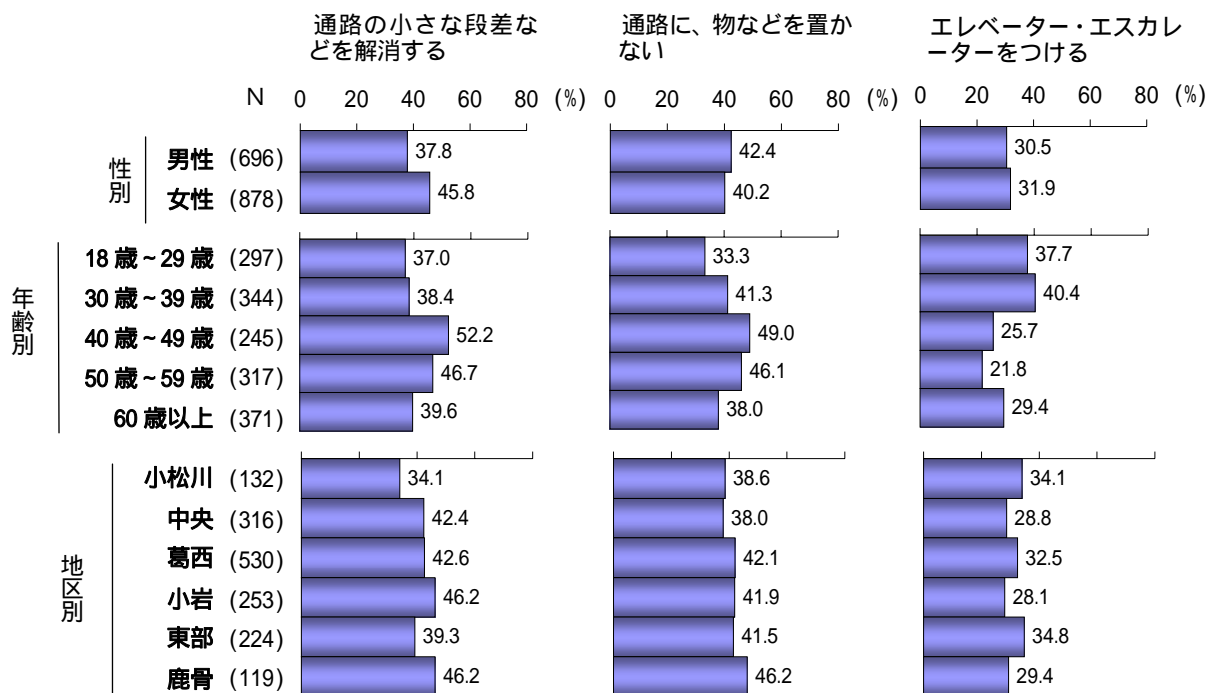
公共の建物や道路などの整備の方法について尋ねたところ、〔公共の建物〕については、「通路の小さな段差などを解消する」と「通路に、物などを置かない」が比較的高く、4割強となっている。そのあとに「エレベーター・エスカレーターをつける」が3割強と続く。〔道路・歩道〕では、「放置自転車・違法駐車を防止する」が最も高く、6割弱と突出している。次いで「小さな段差や急な勾配（こうばい）を解消する」が4割弱となっている。（図16 - 1）

〔公共の建物〕を性別で見ると、「通路の小さな段差などを解消する」では女性が男性より8ポイント高い。年齢別では、「通路の小さな段差などを解消する」については、40歳代が最も高く過半数を占める。「通路に、物などを置かない」は、40歳代～50歳代が比較的高く、「エレベーター・エスカレーターをつける」では18歳～39歳が高くなっている。地区別で見ると「通路の小さな段差などを解消する」は小岩地区と鹿骨地区4割台半ばを超え比較的高く、「通路に、物などを置かない」では鹿骨地区が最も高い。

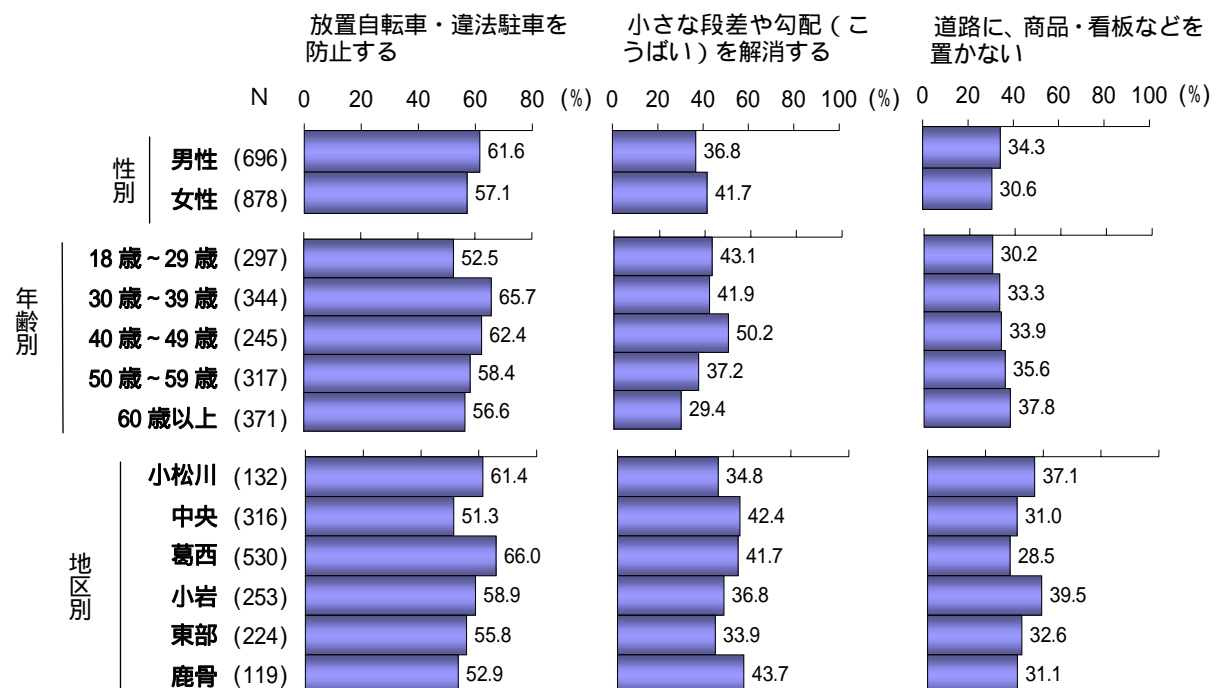
〔道路・歩道〕を性別で見ると、「放置自転車・違法駐車を防止する」は男性の方が5ポイント上回る。一方「小さな段差や急な勾配(こうばい)を解消する」では、女性が5ポイント高い。年齢別においては、「放置自転車・違法駐車を防止する」は、30歳代が最も多く6割台半ばで、18歳～29歳を除くとほぼ加齢とともに漸減している。地区別では、「放置自転車・違法駐車を防止する」は、小松川地区と葛西地区が6割を超え突出している。(図16-2)

<図16-2> 公共の建物や道路などの整備の方法

(1) 公共の建物/性別、年齢別、地区別(上位3項目)



(2) 道路・歩道/性別、年齢別、地区別(上位3項目)



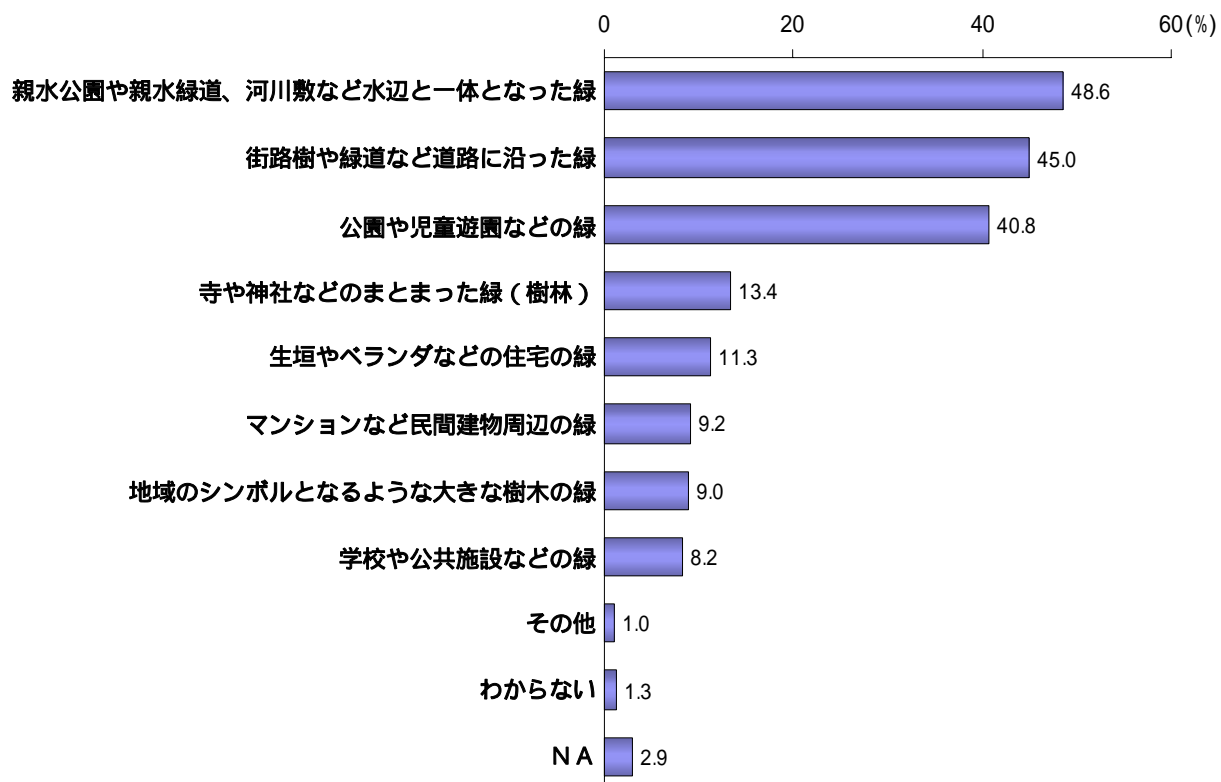
(17) 緑について

「親水公園や親水緑道、河川敷など水辺と一体となった緑」がほぼ半数でトップ

問17 私たちの日常生活には、緑による潤いのある環境が大切です。あなたが、身近に感じる緑とはどのようなものですか。次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

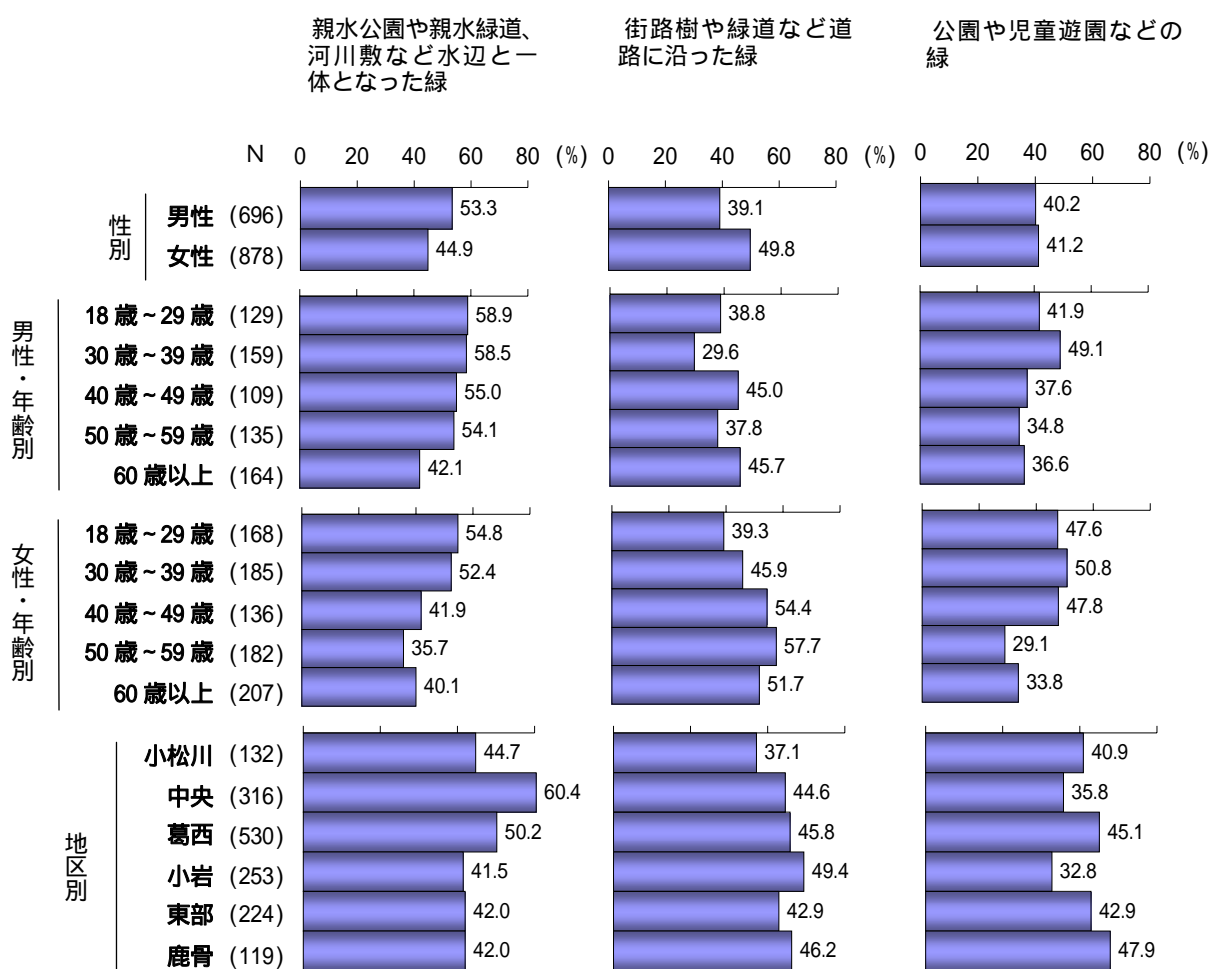
< 図17 - 1 > 身近に感じる緑についての認識（複数回答）



身近に感じる緑についての認識については、「親水公園や親水緑道、河川敷など水辺と一体となった緑」がほぼ半数を占め、最も高い。そのあとに「街路樹や緑道など道路に沿った緑」が4割台半ば、「公園や児童遊園などの緑」が4割となっている。（図17 - 1）

性別でみると、「親水公園や親水緑道、河川敷など水辺と一体となった緑」は男性が8ポイント高く、「街路樹や緑道など道路に沿った緑」は女性が11ポイント上回る。性・年齢別では、「親水公園や親水緑道、河川敷など水辺と一体となった緑」は、男女ともほぼ年齢が上がるごとに減少している。一方「街路樹や緑道など道路に沿った緑」の女性は、50歳代が最も高く、60歳以上を除くと加齢とともに漸増している。また「公園や児童遊園などの緑」では、男女とも30歳代が高く、半数を占める。地区別にみると、「親水公園や親水緑道、河川敷など水辺と一体となった緑」は、中央地区が6割を超え突出している。また「街路樹や緑道など道路に沿った緑」では小岩地区が、「公園や児童遊園などの緑」では鹿骨地区が最も高い。(図17-2)

<図17-2> 身近に感じる緑についての認識/性別、性・年齢別、地区別(上位3項目)



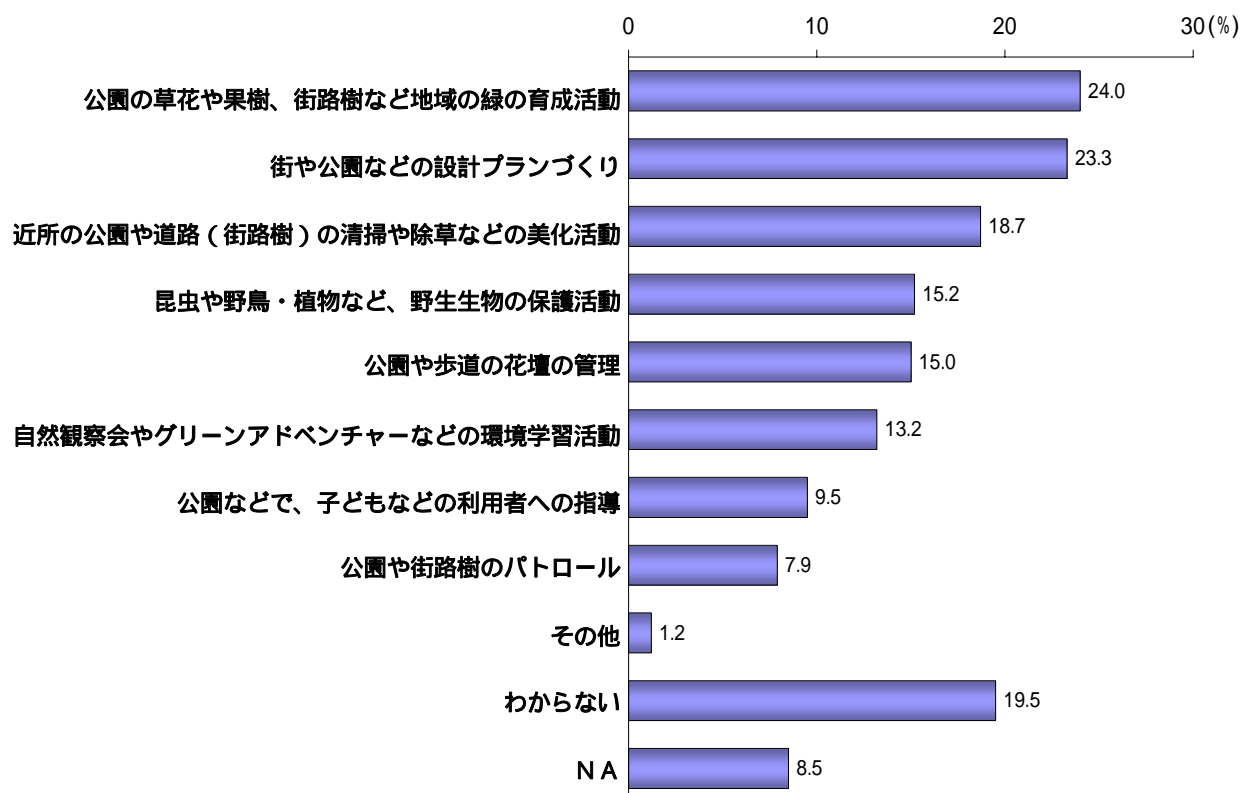
(18) 環境整備について

「地域の緑の育成活動」と「街や公園など設計プランづくり」が2割強

問18 江戸川区は潤いのあるまちを目指し、地域が一体となった快適な環境づくりに努めています。そのために、あなたが参加してみたいことがありましたら、次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

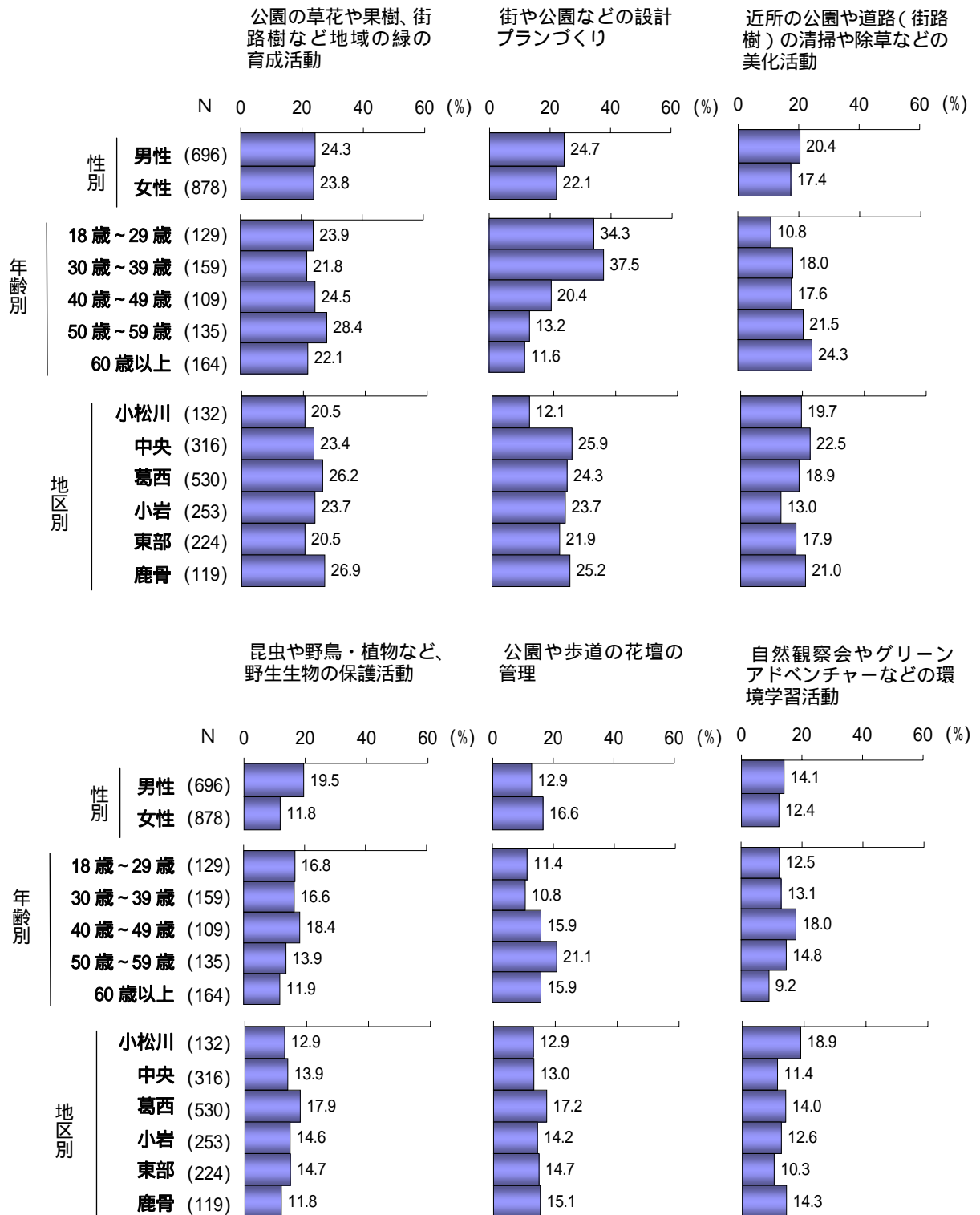
< 図18 - 1 > 今後参加を希望する環境整備活動（複数回答）



今後参加を希望する環境整備活動については、「公園の草花や果樹、街路樹など地域の緑の育成活動」と「街や公園などの設計プランづくり」が比較的高く、2割強となっている。次いで「近所の公園や道路（街路樹）の清掃や除草などの美化活動」、「昆虫や野鳥・植物など、野生生物の保護活動」、「公園や歩道の花壇の管理」が1割台後半である。（図18 - 1）

性別では、「昆虫や野鳥・植物など、野生生物の保護活動」で男性が8ポイント上回る。年齢別で見ると、「街や公園などの設計プランづくり」では30歳代が最も高く、3割台半ばを超える。一方「近所の公園や道路（街路樹）の清掃や除草などの美化活動」は高年代層の方が高く、加齢とともに漸増する。地区別では、「街や公園などの設計プランづくり」は、小松川地区が1割強で比較的低い。（図18 - 2）

< 図18 - 2 > 今後参加を希望する環境整備活動／性別、年齢別、地区別(上位6項目)



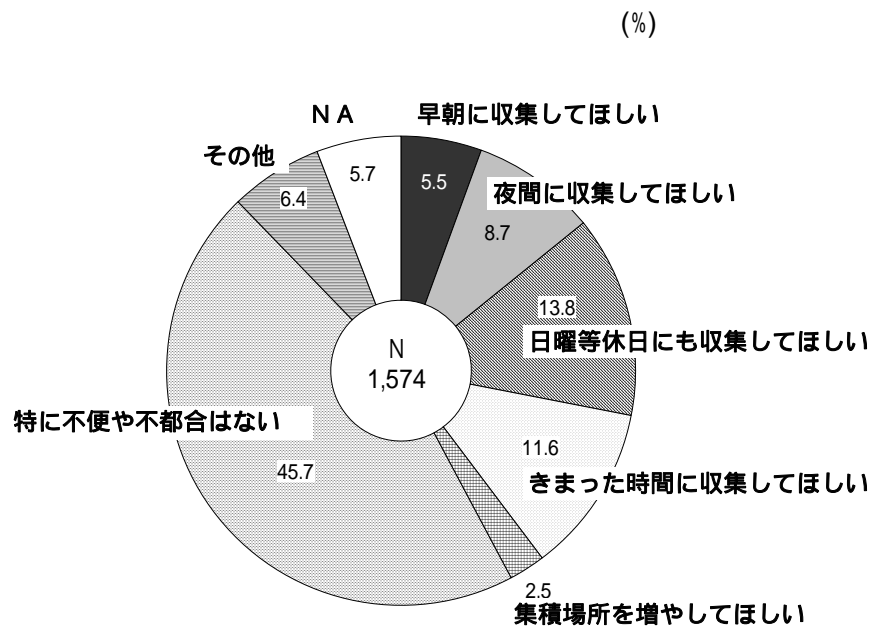
(19) ごみ収集への考えについて

「特に不便や不都合はない」が4割台半ば

問19 今年4月から、ごみの収集など清掃事業が東京都から江戸川区に移管されました。そこで、ごみの収集に関して、現在、あなたが不便や不都合を感じたり、改善してほしいと思っていることを、次の中から1つだけ選んでください。

N = 1,574

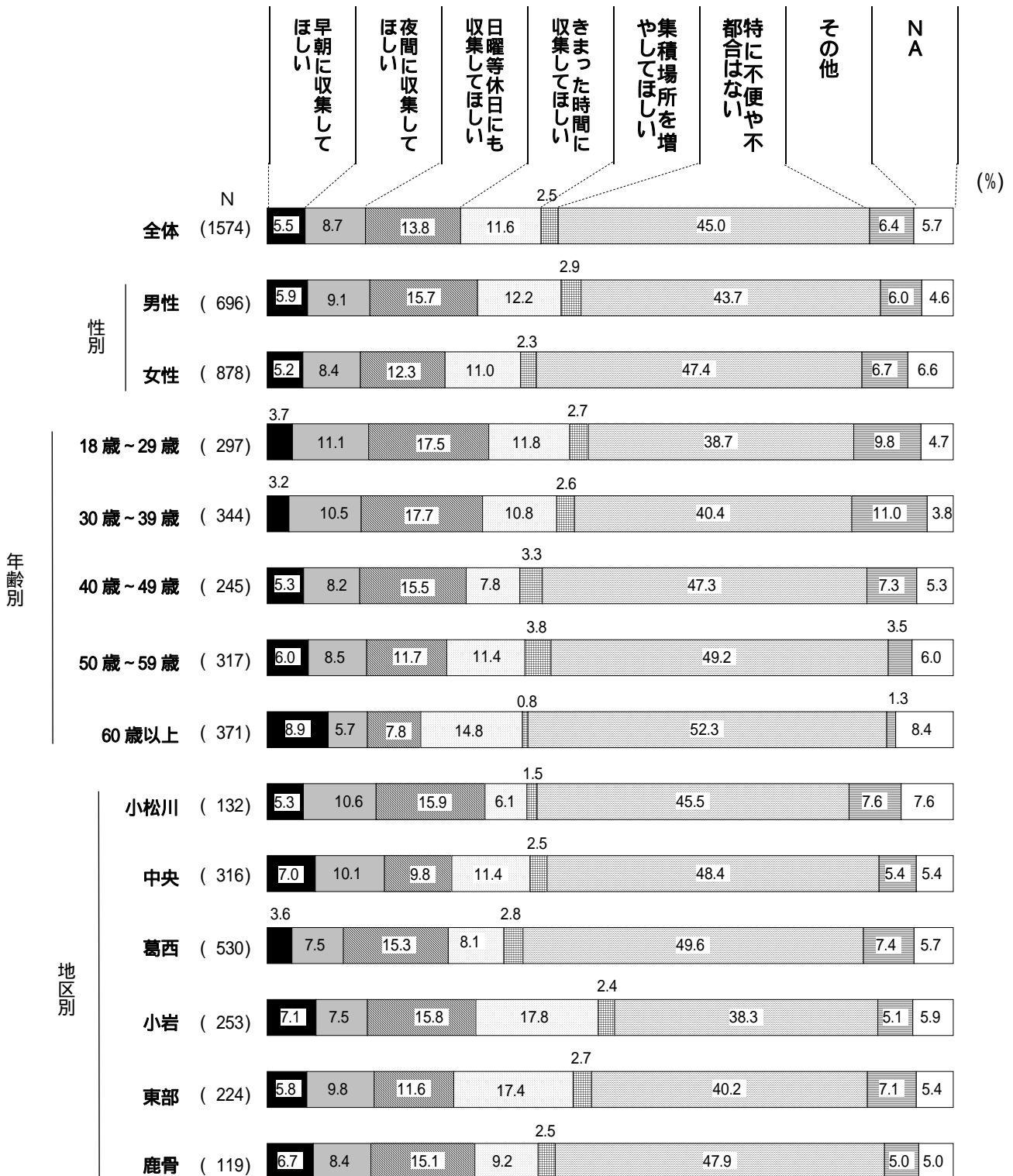
<図19 - 1> ごみ収集の改善点



ごみ収集の改善点を聞いたところ、「特に不便や不都合はない」が4割台半ばで最も多い。そのあとに「日曜等休日にも収集してほしい」と「きまった時間に収集してほしい」が1割強で続く。(図19 - 1)

性別でみると、「特に不便や不都合はない」は女性の方が4ポイント高く、「日曜等休日にも収集してほしい」は男性が3ポイント高い。年齢別では、「特に不便や不都合はない」は60歳以上が最も高く、過半数を占め、年齢が上がるにしたがって高くなる。また「早朝に収集してほしい」も同様の傾向がみられる。逆に「日曜等休日にも収集してほしい」や「夜間に収集してほしい」は、年齢が増すにつれて漸減する。地区別でみると、「特に不便や不都合はない」との回答が多かったのは、葛西地区、中央地区、鹿骨地区、小松川地区で4割台半ばを超える。「きまった時間に収集してほしい」では、小岩地区と東部地区が比較的高く、1割台半ばを超える。(図19-2)

<図19-2> ごみ収集の改善点/性別、年齢別、地区別



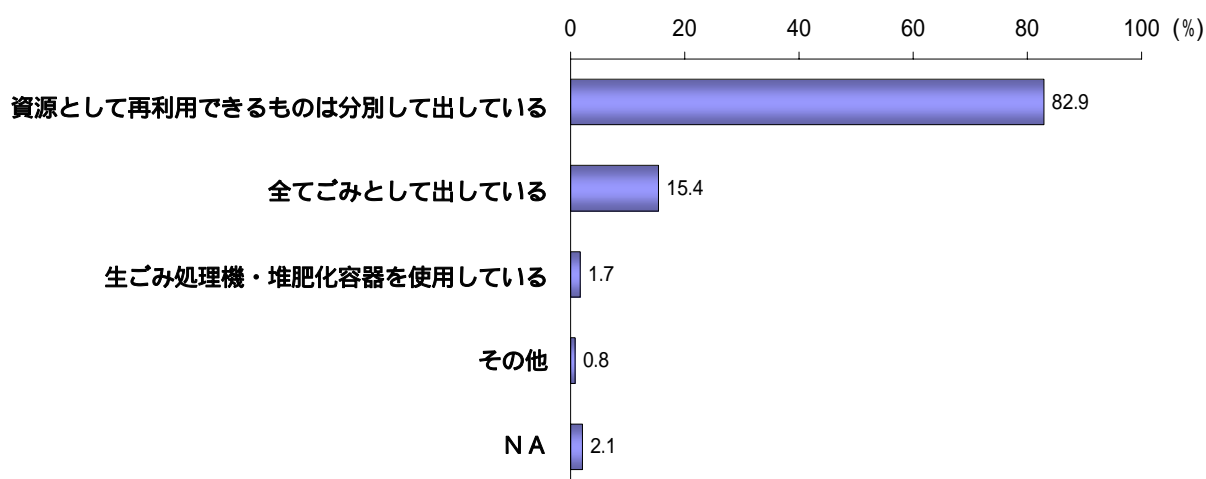
(20) ごみの処理状況について

「資源として再利用できるものは分別して出している」が8割強を占める

問20 家庭から出るごみを、あなたはどのように処理していますか。日頃あなたが行っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

N = 1,574

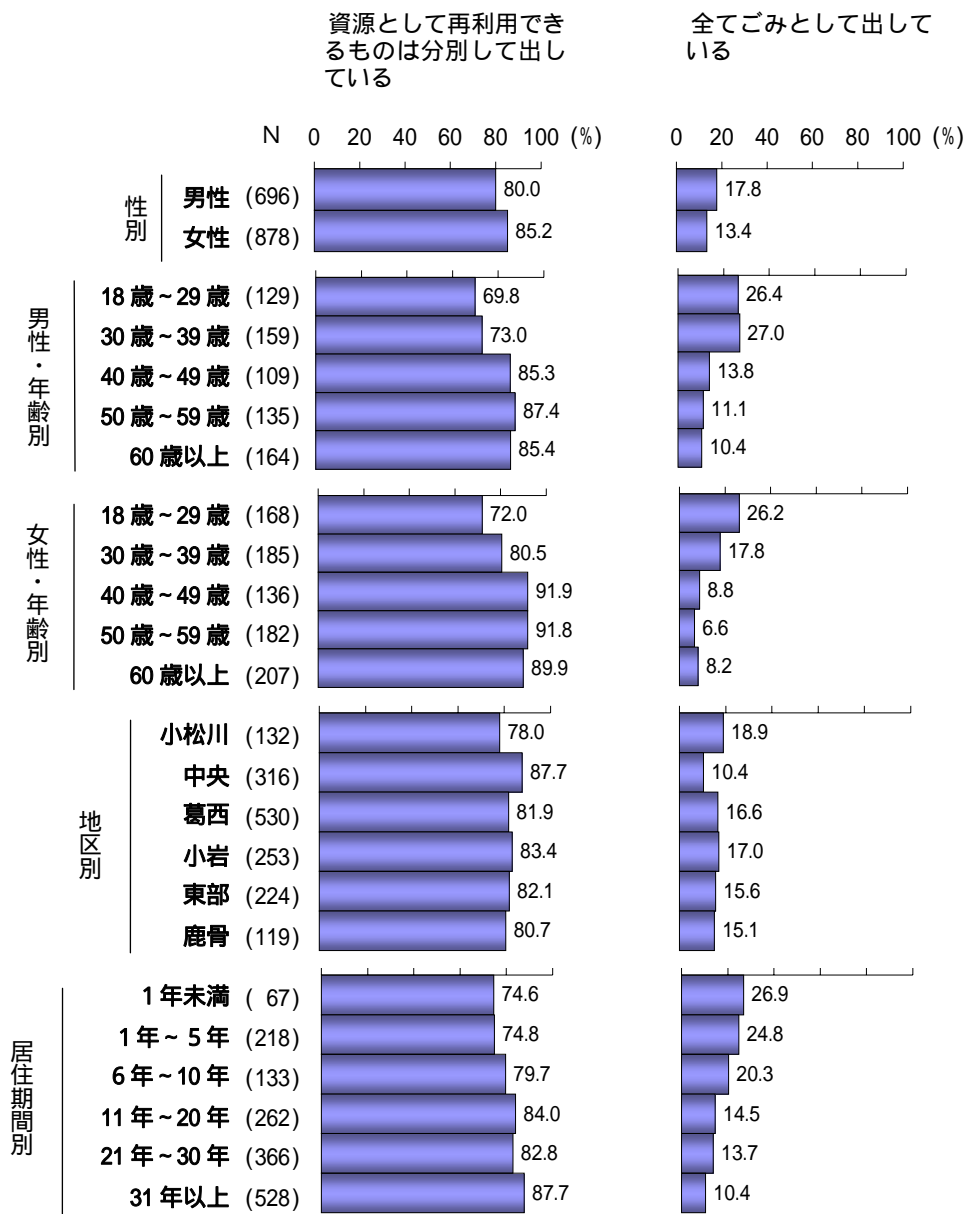
<図20 - 1> ごみの処理状況（複数回答）



ごみの処理状況については、「資源として再利用できるものは分別して出している」が8割強を占め、ほとんどの人が分別を行っていると言える。(図20 - 1)

性別で見ると、「資源として再利用できるものは分別して出している」は女性が男性より5ポイント上回る。性・年齢別では、「資源として再利用できるものは分別して出している」は、60歳以上を除くと男女とも年齢が上がるにつれて漸増している。逆に「全てごみとして出している」は若年代層が高くなっている。地区別をみると、「資源として再利用できるものは分別して出している」は中央地区が比較的高く8割台半ばを超える。一方、中央地区は「全てごみとして出している」では最も低い。居住期間別で見ると、「資源として再利用できるものは分別して出している」人は、居住年数が長くなるにつれて高くなる。逆に「全てごみとして出している」は年数とともに漸減している。(図20 - 2)

<図20 - 2> ごみの処理状況/性別、性・年齢別、地区別、居住期間別(上位2項目)



資源ごみの収集場所

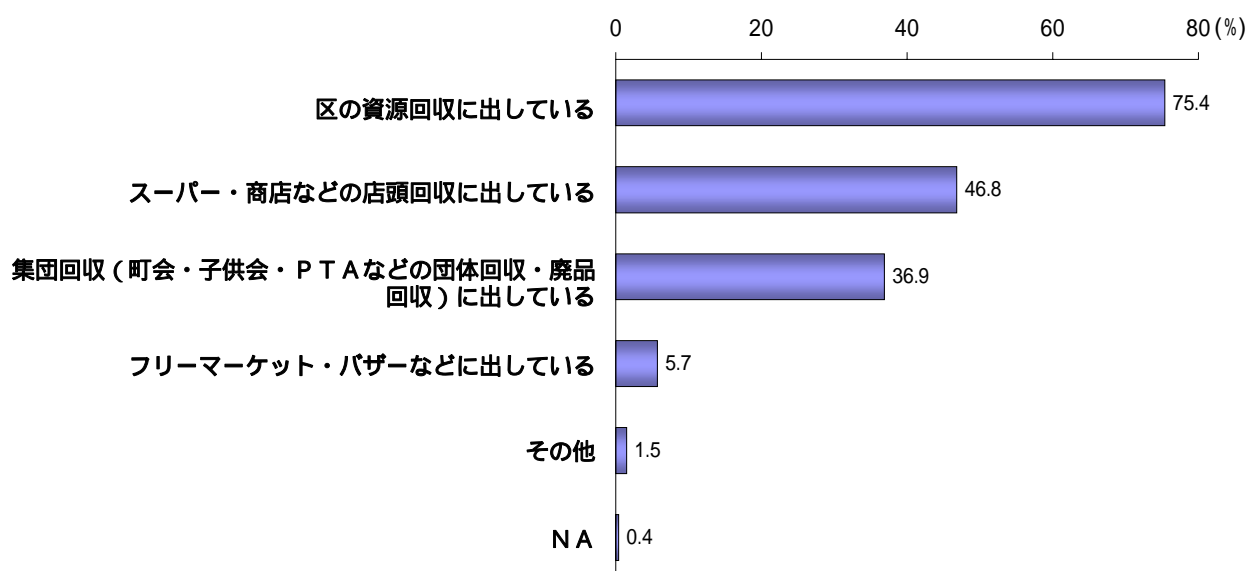
「区の資源回収に出している」が7割台半ばでトップ

(問20で、「2 資源として再利用できるものは分別して出している」と答えた方に)

問20 - 1 出しているのはどこですか。次の中からいくつでも選んでください。

N = 1,305

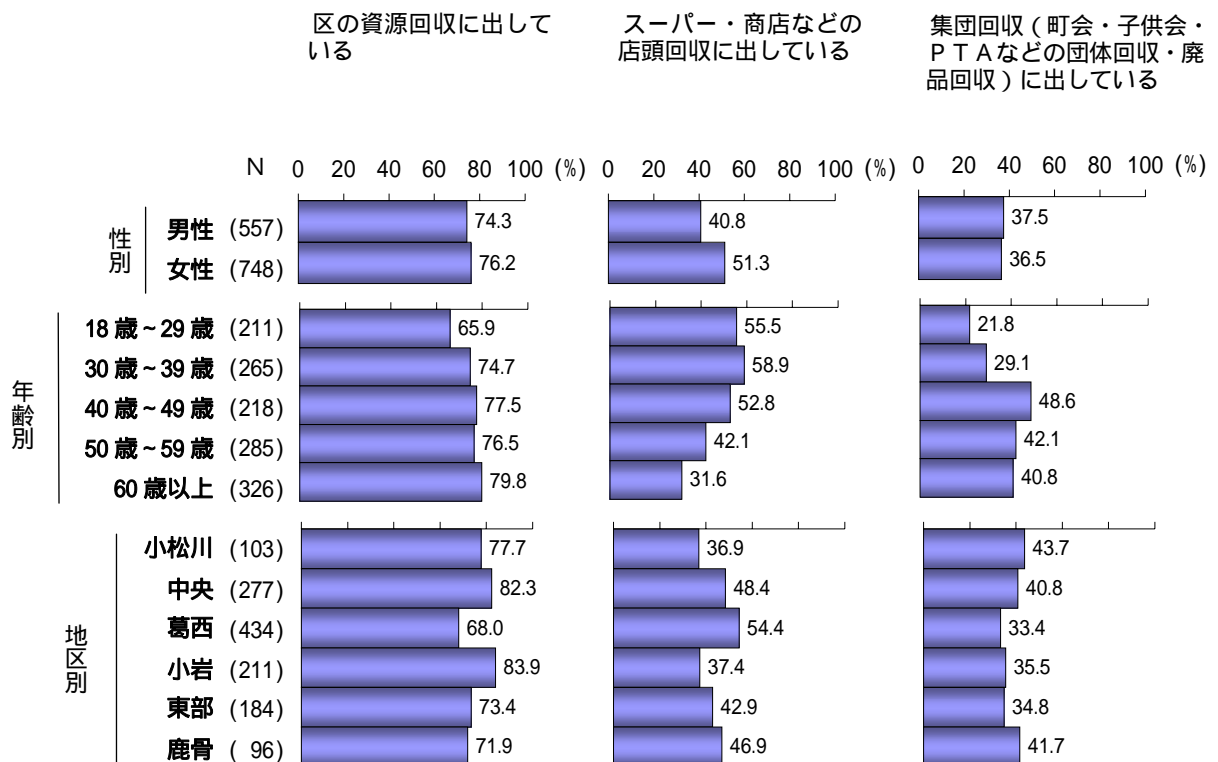
<図20 - 3> 資源ごみの収集場所 (複数回答)



資源ごみの収集場所を尋ねたところ、7割台半ばの人が「区の資源回収に出している」と答えている。次いで「スーパー・商店などの店頭回収に出している」が4割台半ばを超え、「集団回収 (町会・子供会・PTAなどの団体回収・廃品回収)に出している」が3割台半ばを超える。(図20 - 3)

性別でみると、「スーパー・商店などの店頭回収に出している」で女性の方が11ポイント上回る。年齢別では、「区の資源回収に出している」は年齢が上がるにしたがって漸増し、60歳代では8割弱を占めている。一方「スーパー・商店などの店頭回収に出している」では、30歳代が最も高く6割弱で、18歳～29歳を除くと加齢とともに減少している。地区別でみると、「区の資源回収に出している」は、中央地区と小岩地区で8割強となっている。また「スーパー・商店などの店頭回収に出している」は、葛西地区が最も高く半数を超える。(図20 - 4)

<図20 - 4> 資源ごみの収集場所 / 性別、年齢別、地区別 (上位3項目)



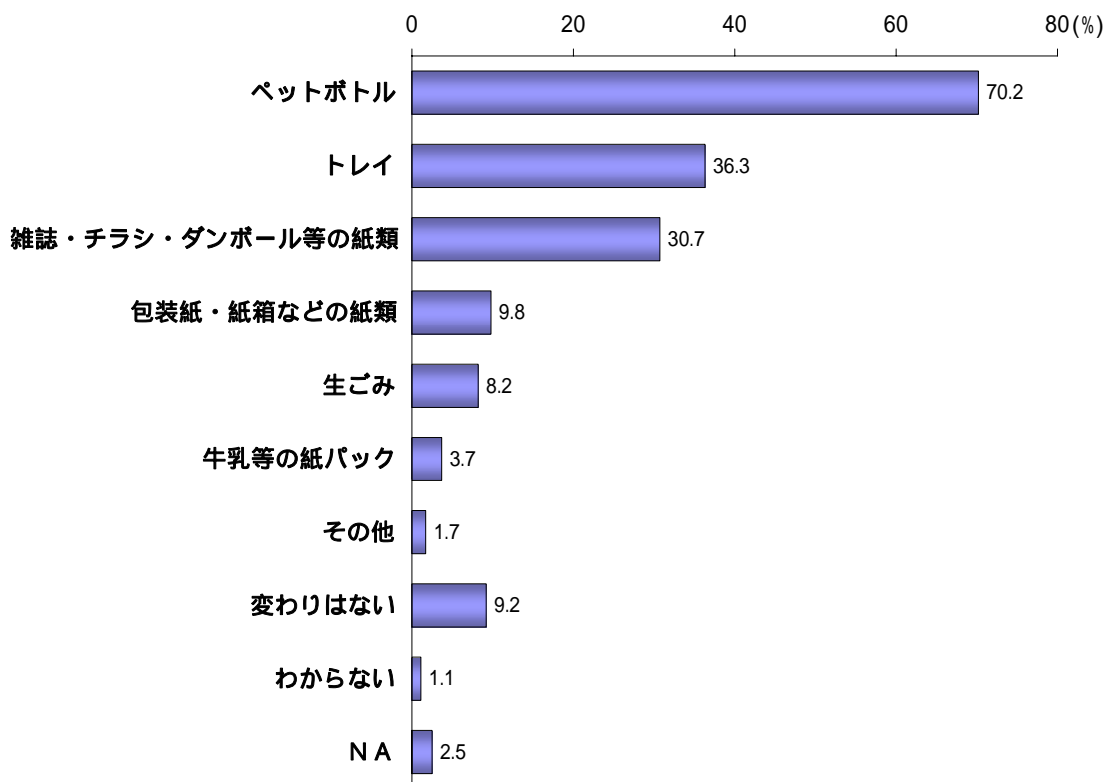
(21) ごみ量の変化について

「ペットボトル」が7割でトップ。「トレイ」と「雑誌・チラシ・ダンボール等の紙類」は3割台

問21 あなたが、最近、特に増えたと思うごみは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

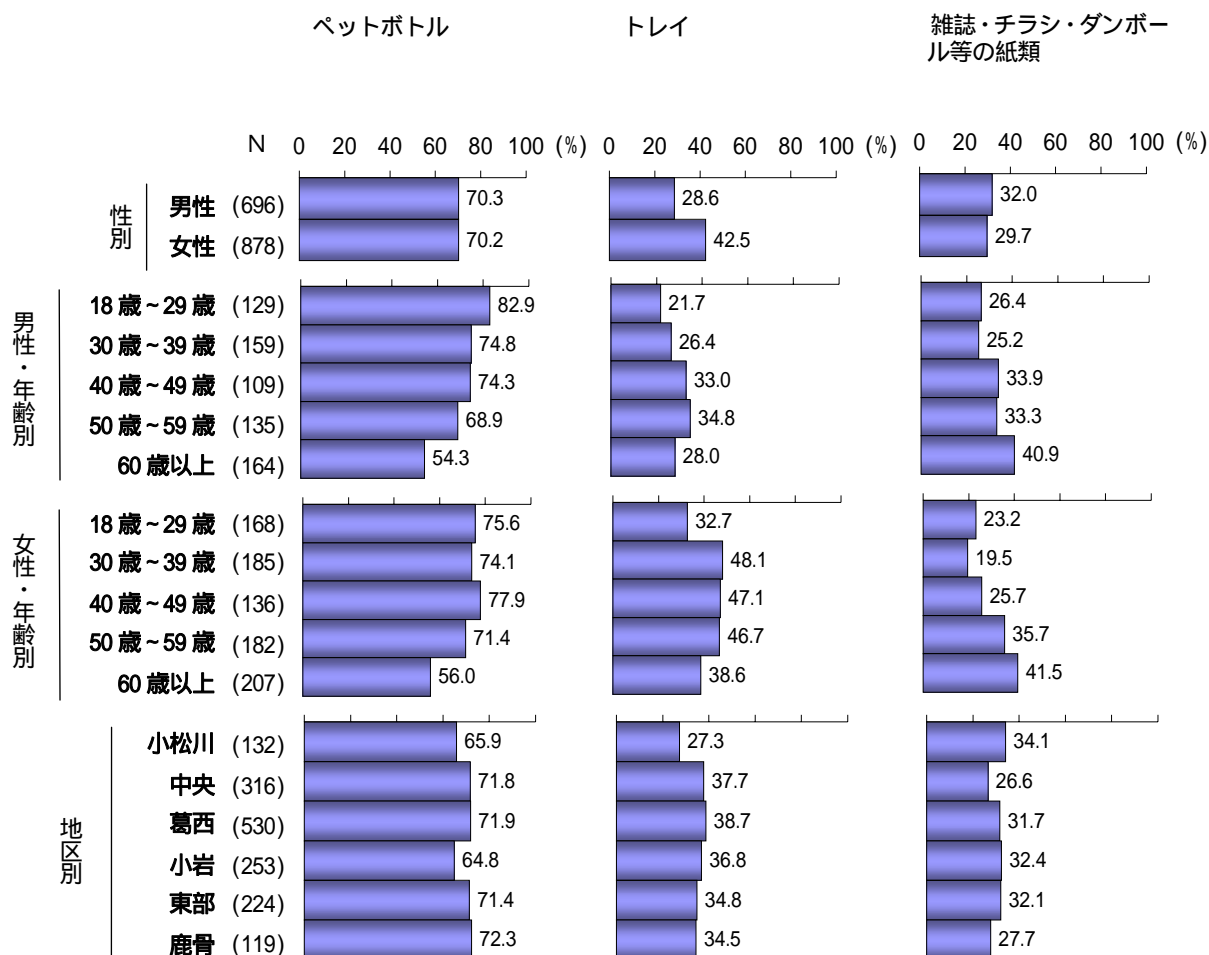
<図21 - 1> 最近増加したごみの種類（複数回答）



最近増加したごみの種類については、最も多かったのが「ペットボトル」で7割を占める。そのあとに「トレイ」が3割台半ば、「雑誌・チラシ・ダンボール等の紙類」が3割と続く。(図21 - 1)

性別でみると、「トレイ」は女性が14ポイント高い。性・年齢別では、「ペットボトル」の男性は、18歳～29歳が最も高く8割強を占め、年齢が上がるにつれて漸減する。「雑誌・チラシ・ダンボール等の紙類」では、男女とも加齢とともに高くなる。地区別でみると、「ペットボトル」は小松川地区と小岩地区が比較的 low、「トレイ」では小松川地区が低く2割台後半である。(図21 - 2)

<図21 - 2> 最近増加したごみの種類 / 性別、性・年齢別、地区別 (上位3項目)



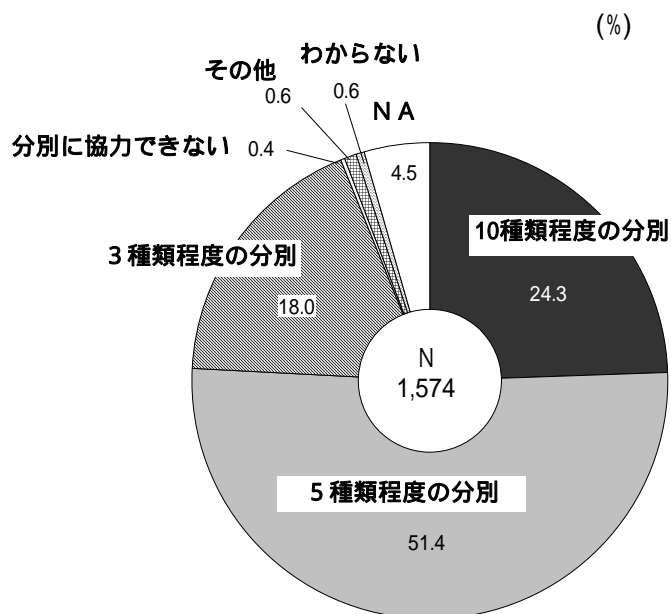
(22) 分別への協力について

「5種類程度の分別」が過半数を占める

問22 資源として再利用できるものを分別する場合、あなたはどの程度まで協力できますか。あなたが協力できると思う方法を、次の中から1つだけ選んでください。

N = 1,574

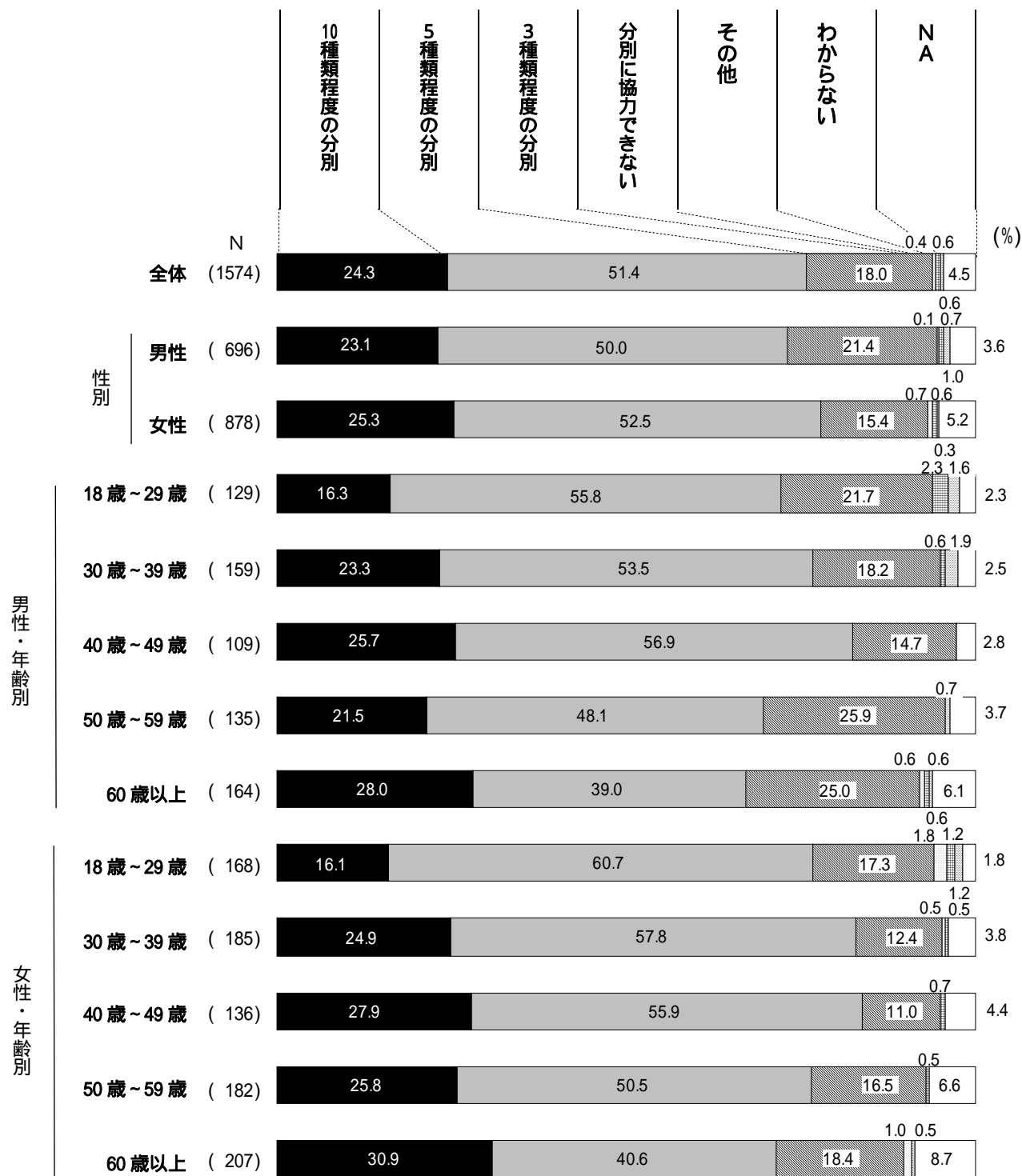
<図22 - 1> 協力可能な分別の程度



協力可能な分別の程度について聞いたところ、「5種類程度の分別」が過半数を占め、最も高い。次いで「10種類程度の分別」が2割台半ば、「3種類程度の分別」が1割台後半という順になっている。(図22 - 1)

性別では、「3種類程度の分別」において男性が女性より6ポイント高い。性・年齢別にみると、「5種類程度の分別」で最も高いのは、男性の40歳代で5割台後半、女性の18歳～29歳で6割となっている。「10種類程度の分別」は、男女とも50歳代を除いて加齢とともに漸増し、60歳以上が最も高い。(図22-2)

<図 22 - 2 > 協力可能な分別の程度 / 性別、性・年齢別



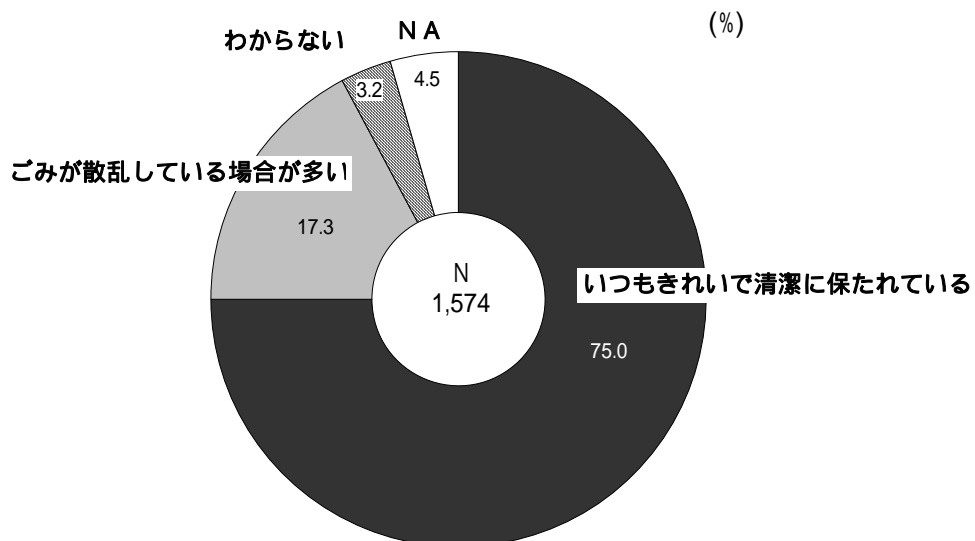
(23) 集積所の状況について

「いつもきれいで清潔に保たれている」が7割台半ば

問23 あなたのお宅が普段利用している集積所の状況はどうか。

N = 1,574

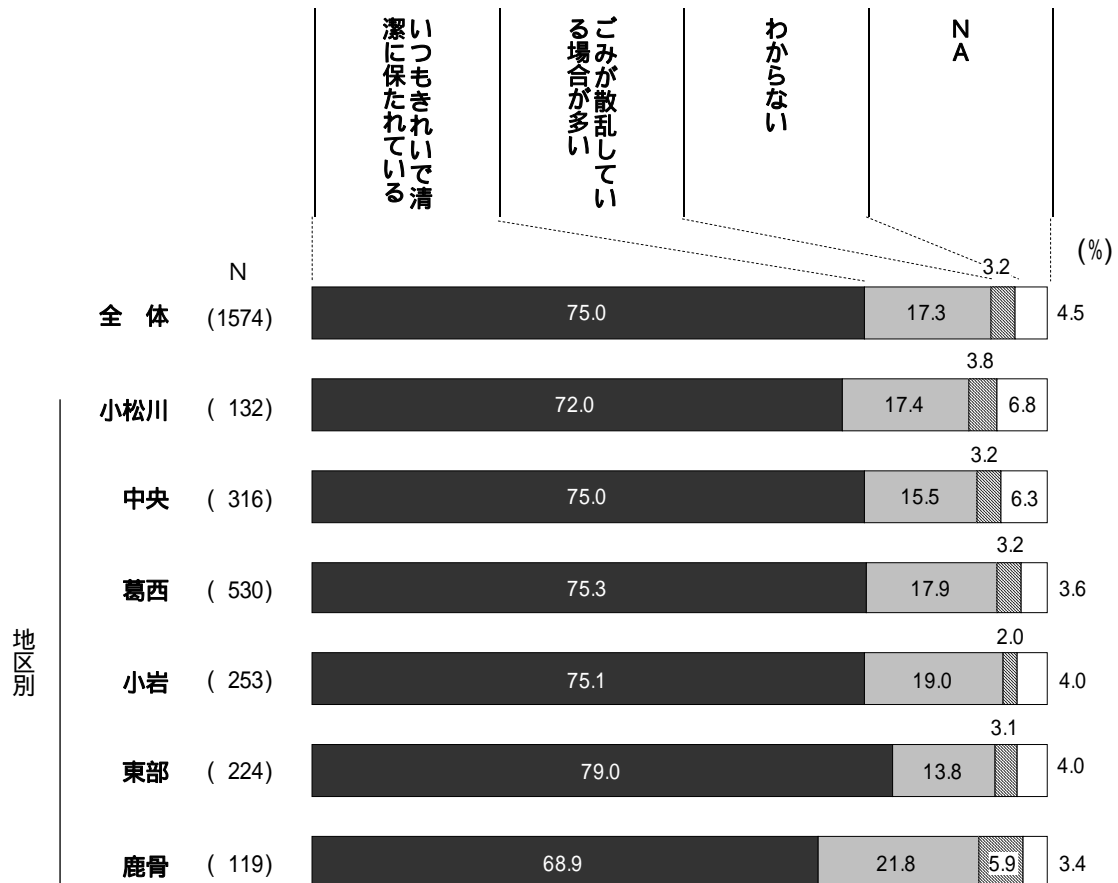
<図23 - 1> ごみの集積所の状況



ごみの集積所の状況については、「いつもきれいで清潔に保たれている」が7割台半ばで最も多い。(図23 - 1)

地区別でみると、「いつもきれいで清潔に保たれている」は、東部地区が比較的高く8割弱で、逆に鹿骨地区は最も低く7割を切っている。(図23 - 2)

< 図 23 - 2 > ごみの集積所の状況 / 地区別



ごみが散乱している理由

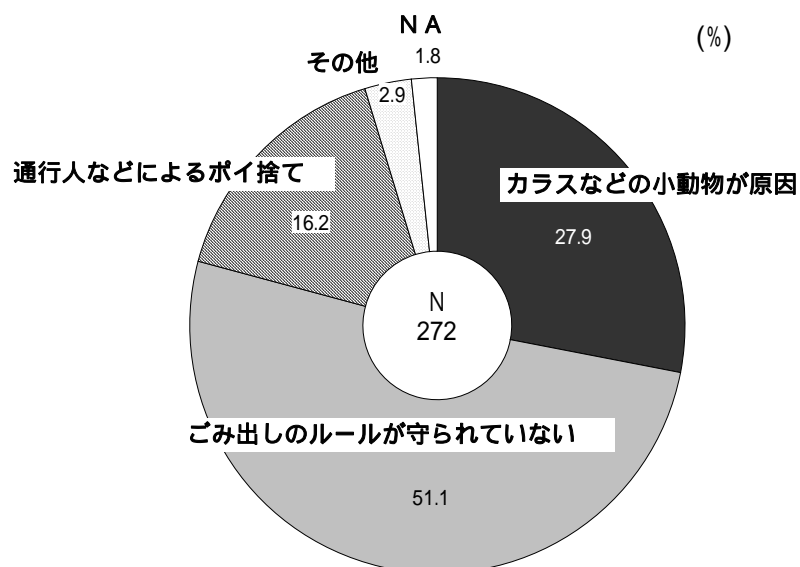
「ごみ出しのルールが守られていない」が過半数を占める

(問23で、「2 ごみが散乱している場合が多い」と答えた方に)

問23 - 1 散乱しているのは、どうしてだと思いますか。

N = 272

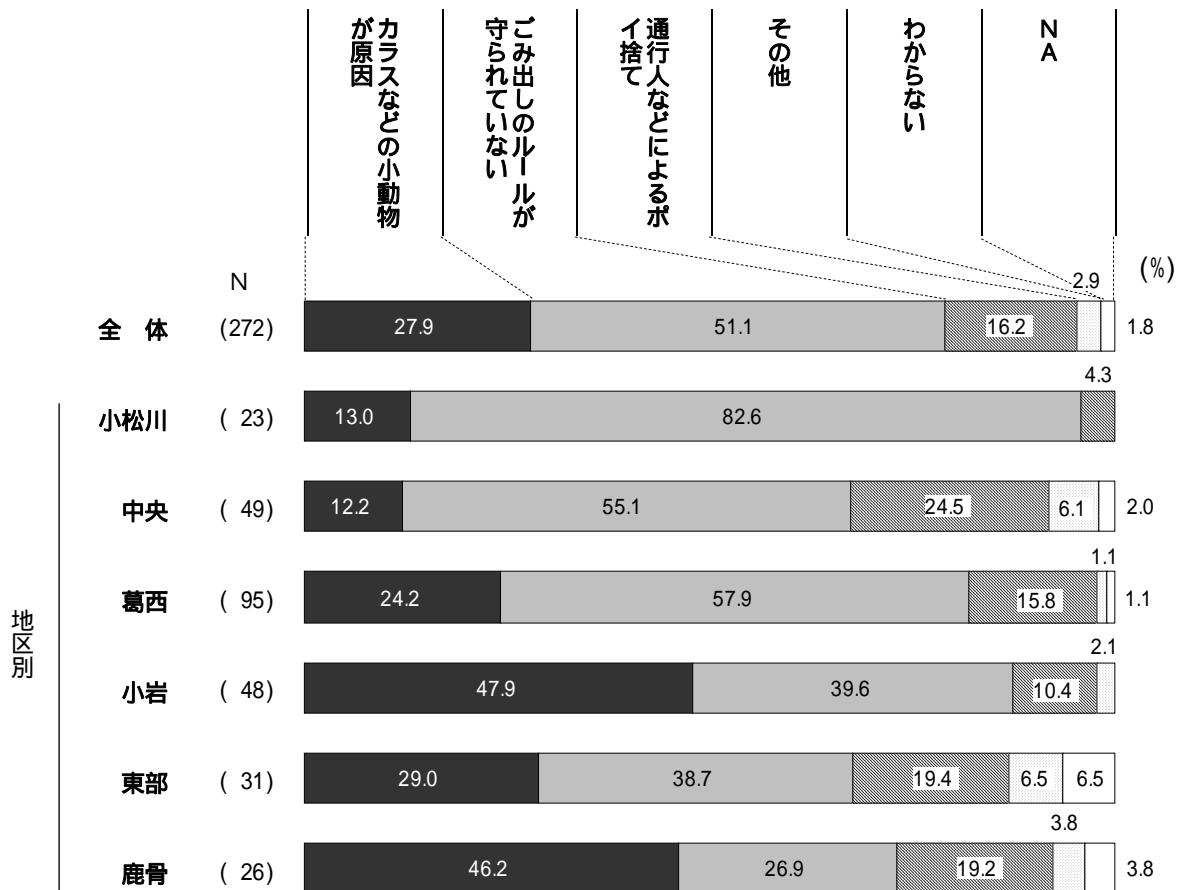
<図23 - 3> ごみが散乱している理由



ごみが散乱している理由を聞いたところ、「ごみ出しのルールが守られていない」と答えた人が過半数を占め、最も多い。また「カラスなどの小動物が原因」は2割台半ばを超える。(図23 - 3)

地区別でみると、「ごみ出しのルールが守られていない」では、小松川地区が最も高く、8割強を占め突出している。次いで中央地区と葛西地区が5割台半ばを超える。「カラスなどの小動物が原因」は、小岩地区と鹿骨地区が高く、4割台半ばを超える。「通行人などによるポイ捨て」と答えた人は、中央地区がトップで2割台半ばとなっている。(図23 - 4)

< 図 23 - 4 > ごみが散乱している理由 / 地区別



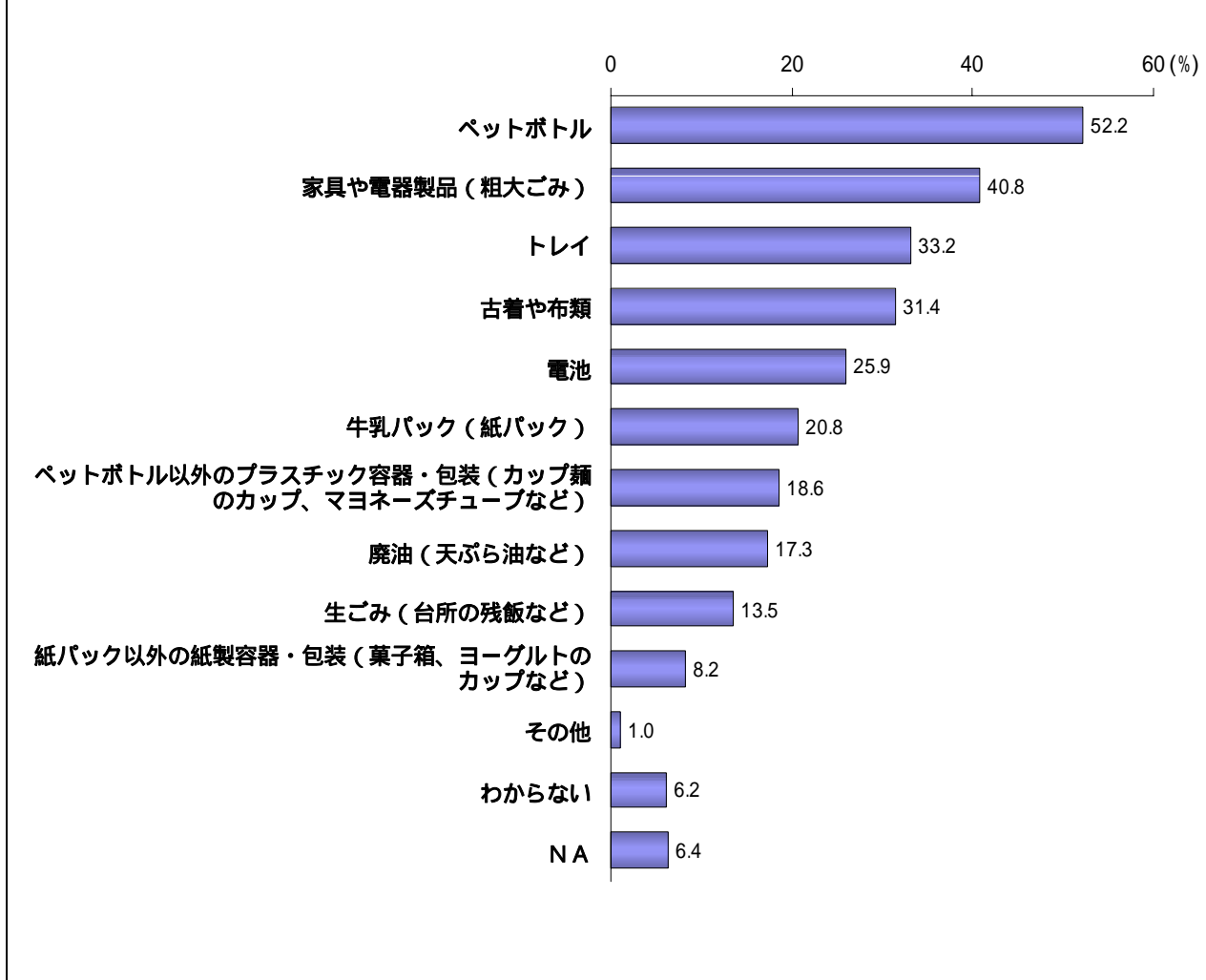
(24) 区で取り組むべきリサイクル品目について

「ペットボトル」が過半数を占め、「家具や電器製品(粗大ごみ)」は4割

問24 あなたは、区がより積極的にリサイクルに取り組んだほうが良いと思う品目は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

N = 1,574

<図24 - 1> 区で取り組むべきリサイクル品目(複数回答)

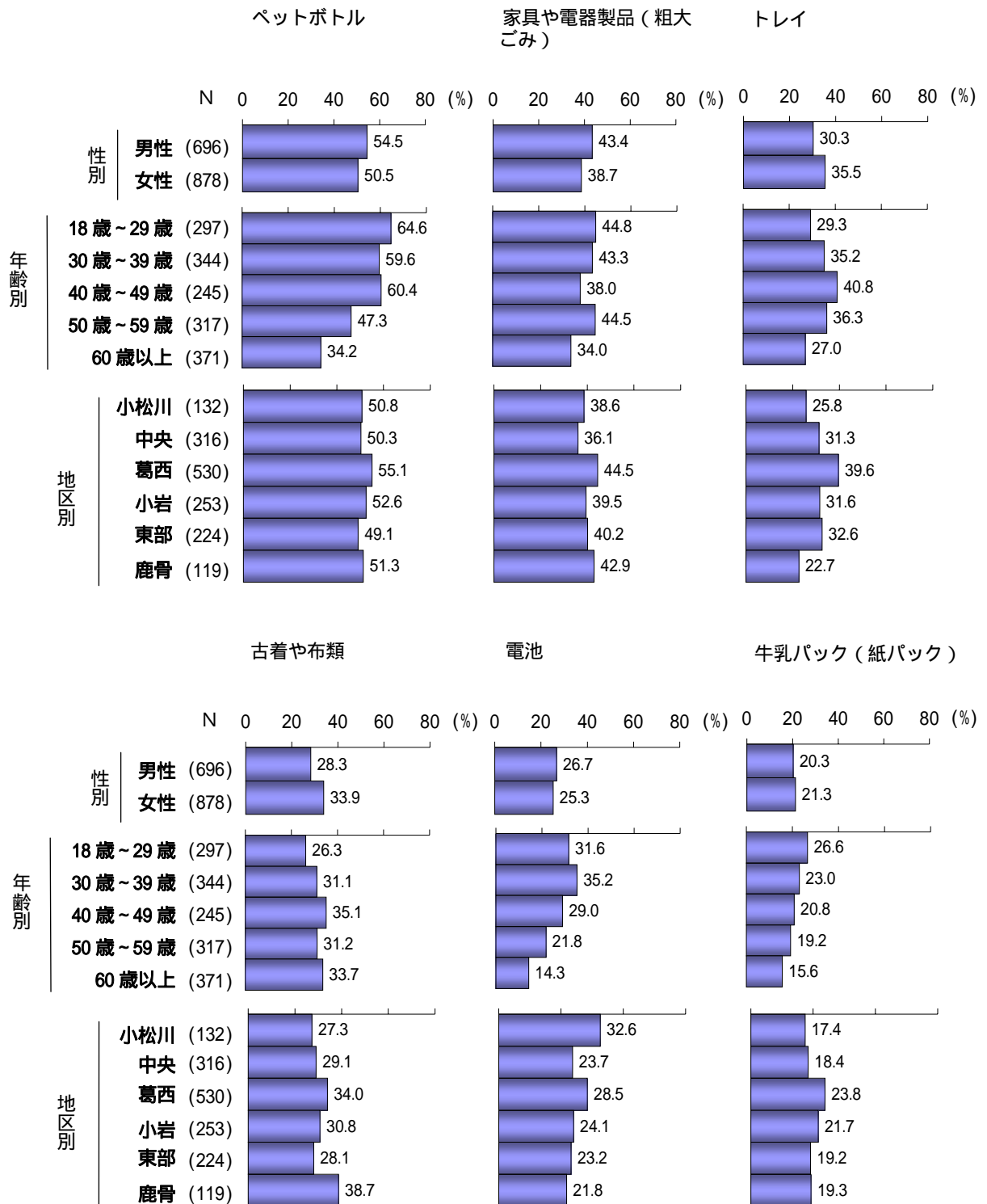


区で取り組むべきリサイクル品目について聞いたところ、「ペットボトル」が過半数を占め、最も多い。そのあとに「家具や電器製品(粗大ごみ)」が4割、「トレイ」、「古着や布類」が3割強と続く。(図24 - 1)

性別でみると、男性が上回るのは「家具や電器製品(粗大ごみ)」「ペットボトル」(4

ポイント差)で、女性が上回るのは「古着や布類」(6ポイント差)「トレイ」(5ポイント差)となっている。年齢別では、加齢とともに漸減しているのは「ペットボトル」と「牛乳パック(紙パック)」である。また「トレイ」は40歳代が最も高く、4割台に乗る。地区別でみると、上位6項目のうち「ペットボトル」、「家具や電器製品(粗大ごみ)」、「トレイ」、「牛乳パック(紙パック)」で葛西地区が1位となっている。また「古着や布類」では鹿骨地区、「電池」では小松川地区がそれぞれ一番高い。(図24-2)

<図24-2> 区で取り組むべきリサイクル品目/性別、年齢別、地区別(上位6項目)



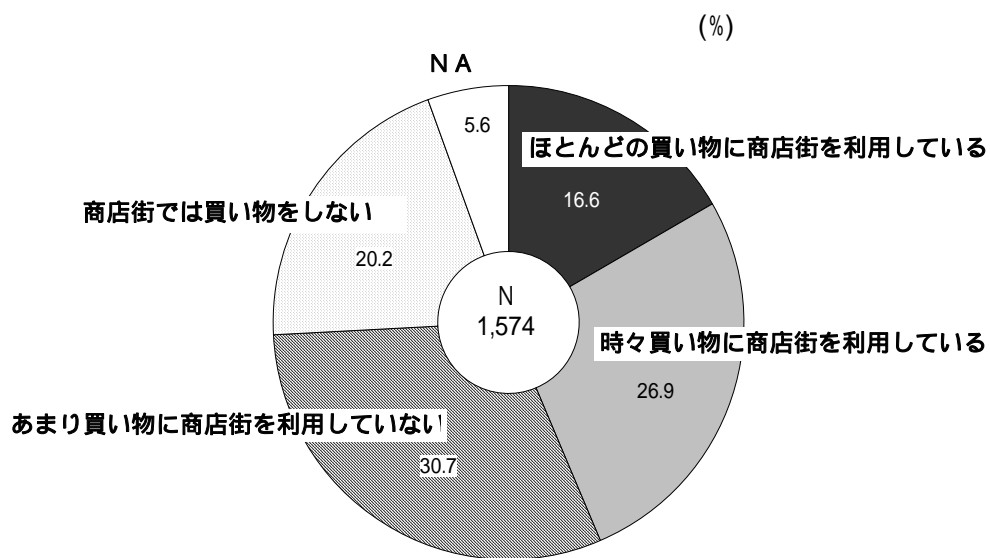
(25) 商店街の利用について

「あまり買い物に商店街を利用しない」が3割

問25 お宅の近くの商店街（スーパー・コンビニ・大型店を除く）での、あなたの利用状況はどの程度ですか。

N = 1,574

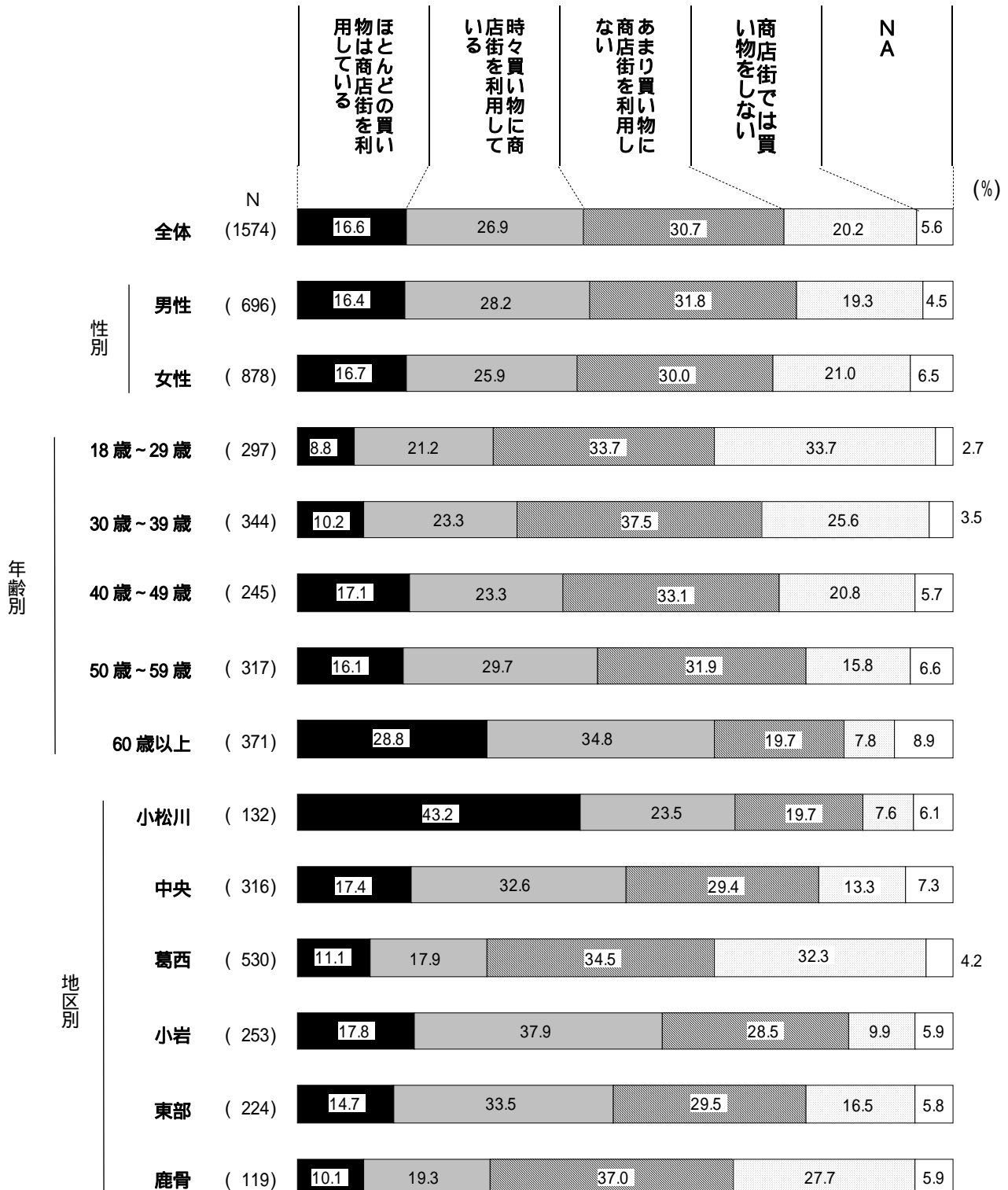
<図25 - 1> 商店街の利用状況



商店街の利用状況については、「あまり買い物に商店街を利用しない」が最も多く3割である。次いで「時々買い物に商店街を利用している」が2割台半ばを超え、「商店街では買い物をしない」が2割、「ほとんどの買い物は商店街を利用している」が1割台半ばとなっている。(図25 - 1)

性別では、大きな差はみられない。年齢別でみると、「ほとんどの買い物は商店街を利用している」と「時々買い物に商店街を利用している」は、年齢が上がるにつれて漸増し、60歳以上が最も高い。逆に「商店街では買い物をしない」は、18歳～29歳が3割強で一番高く、加齢とともに減少している。地区別では、「ほとんどの買い物は商店街を利用している」は、小松川地区が4割強と突出している。一方「商店街では買い物をしない」は、葛西地区で3割強、鹿骨地区で2割台半ばと比較的高い。(図25 - 2)

< 図 25 - 2 > 商店街の利用状況 / 性別、年齢別、地区別



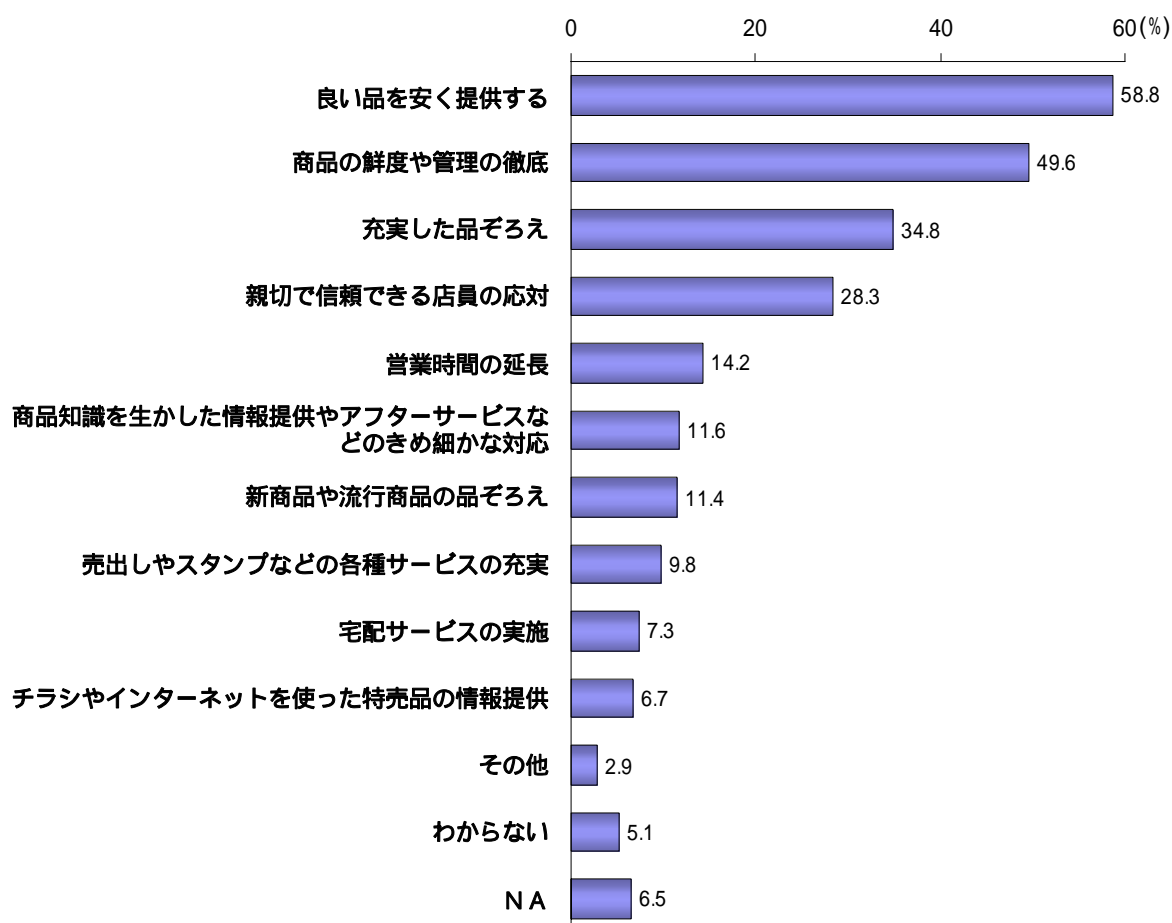
(26) 商店街への期待について

「良い品を安く提供する」が6割弱でトップ

問26 あなたが近くの商店街のお店に期待していることを、次の中から3つまで選んでください。

N = 1,574

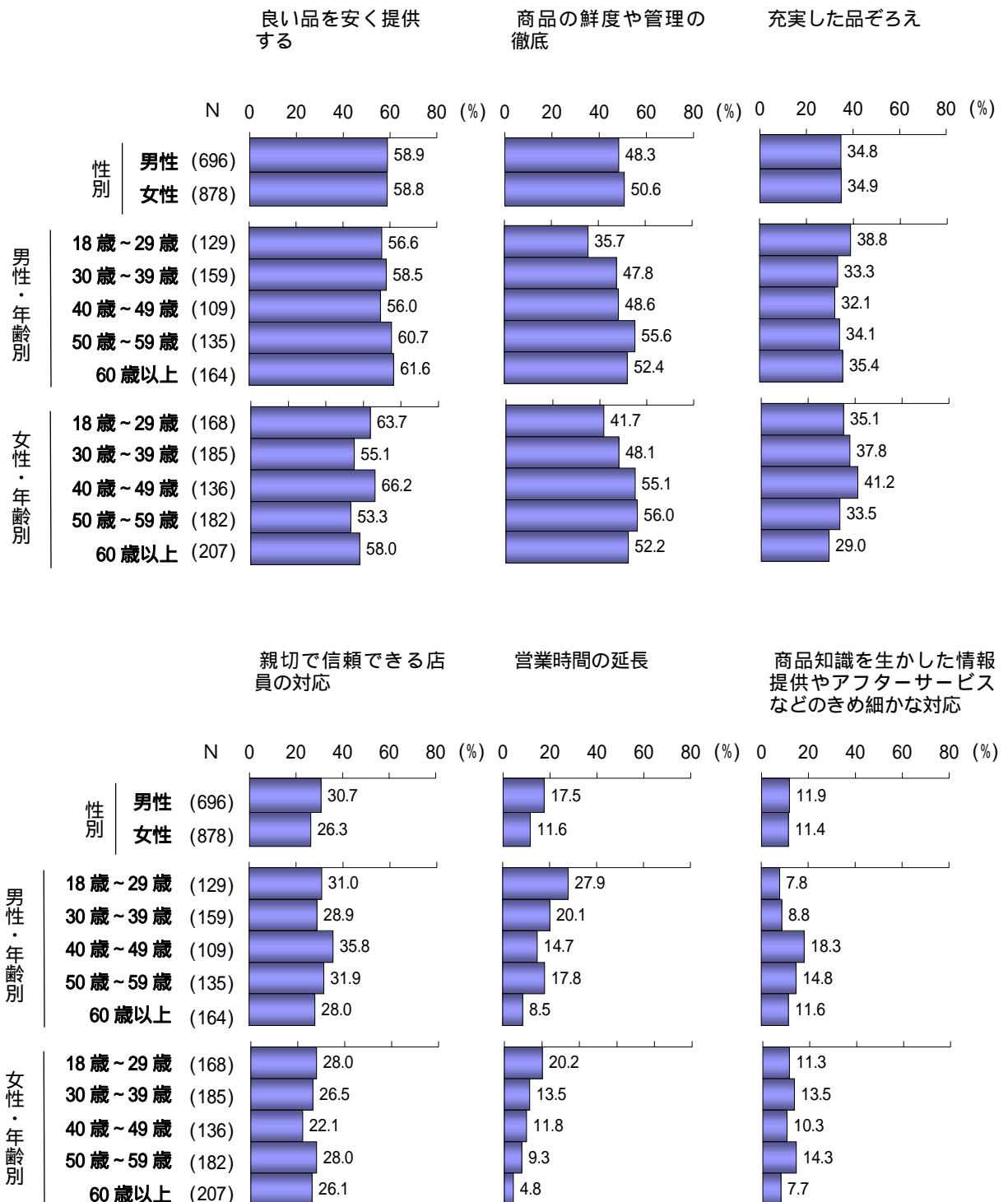
< 図26 - 1 > 商店街への期待（複数回答）



商店街への期待については、「良い品を安く提供する」がトップで、6割弱を占める。次いで「商品の鮮度や管理の徹底」が5割弱、「充実した品ぞろえ」が3割台半ば、「親切で信頼できる店員の対応」が2割台後半となっている。（図26 - 1）

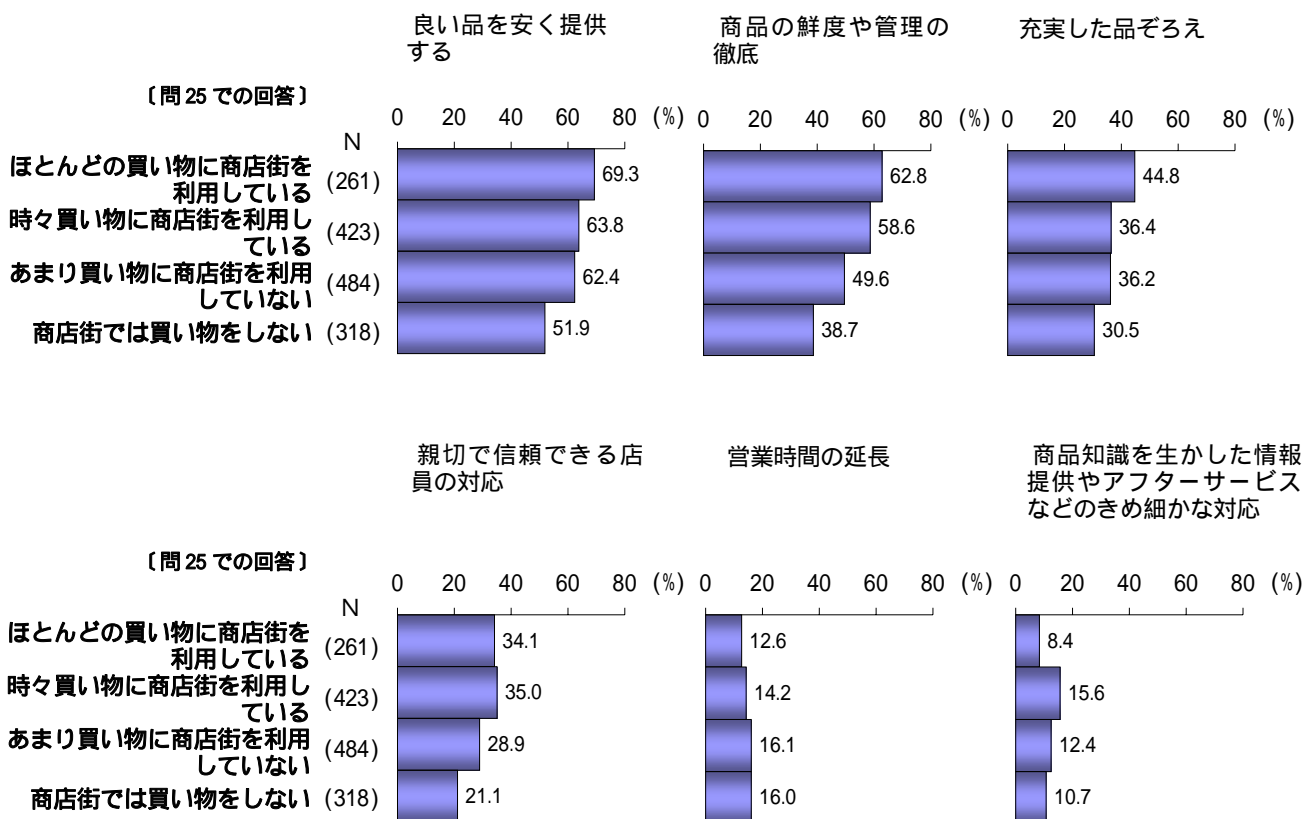
性別でみると、「営業時間の延長」では6ポイント差、「親切で信頼できる店員の対応」では4ポイント差で男性が高い。性・年齢別では、「良い品を安く提供する」は、男性は50歳代以上、女性では18歳～29歳と40歳代が比較的高く6割を超える。また「商品の鮮度や管理の徹底」では、男女とも18歳～29歳が最も低く、50歳代までは加齢とともに高くなっている。一方「営業時間の延長」は、男女ともほぼ年齢が上がるにつれて減少する。(図26 - 2)

<図 26 - 2> 商店街への期待 / 性別、性・年齢別 (上位6項目)



問 25 の商店街の利用状況別に上位 6 項目をみると、「良い品を安く提供する」、「商品の鮮度や管理の徹底」、「充実した品ぞろえ」で、[ほとんどの買い物に商店街を利用している]人が最も高く、利用頻度が上がるにつれて漸増している。特に「良い品を安く提供する」では 7 割弱を占める。(図 26 - 3)

< 図 26 - 3 > 商店街への期待 / 商店街の利用状況別



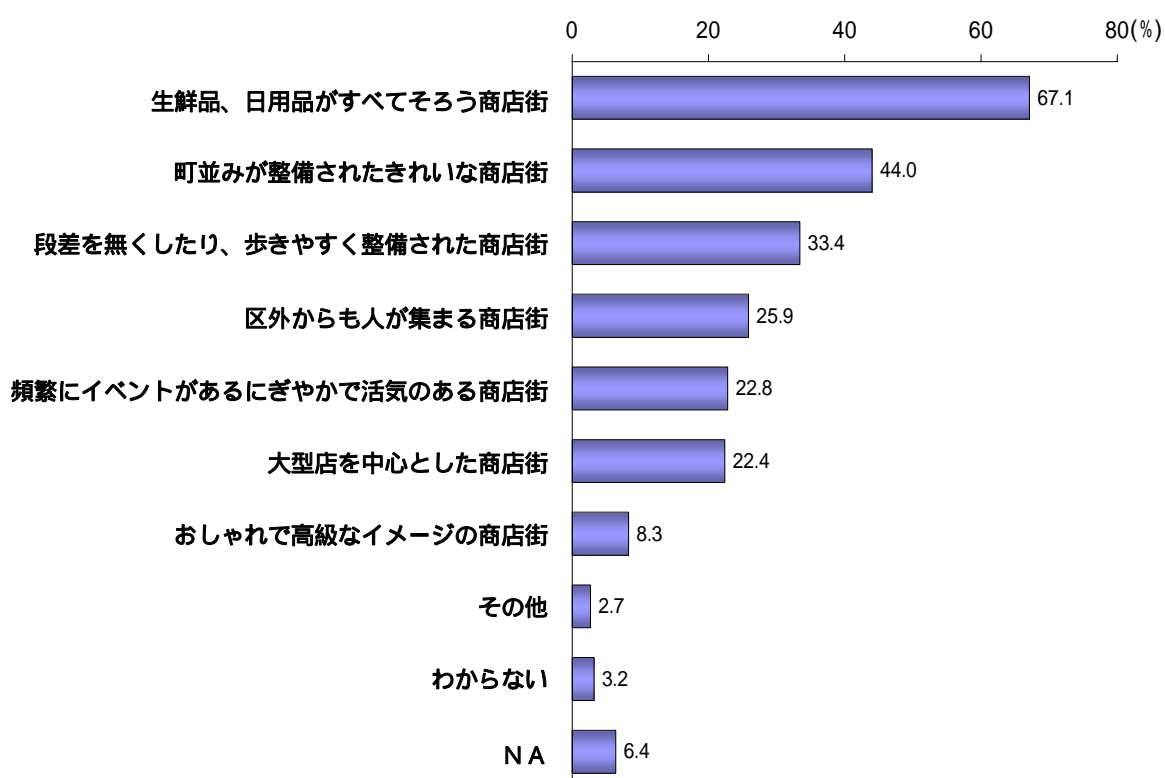
(27) 理想とする商店街について

「生鮮品、日用品がすべてそろう商店街」が6割台半ばを超える

問27 あなたが理想とする商店街はどのようなものですか。次の中から3つまで選んでください。

N = 1,574

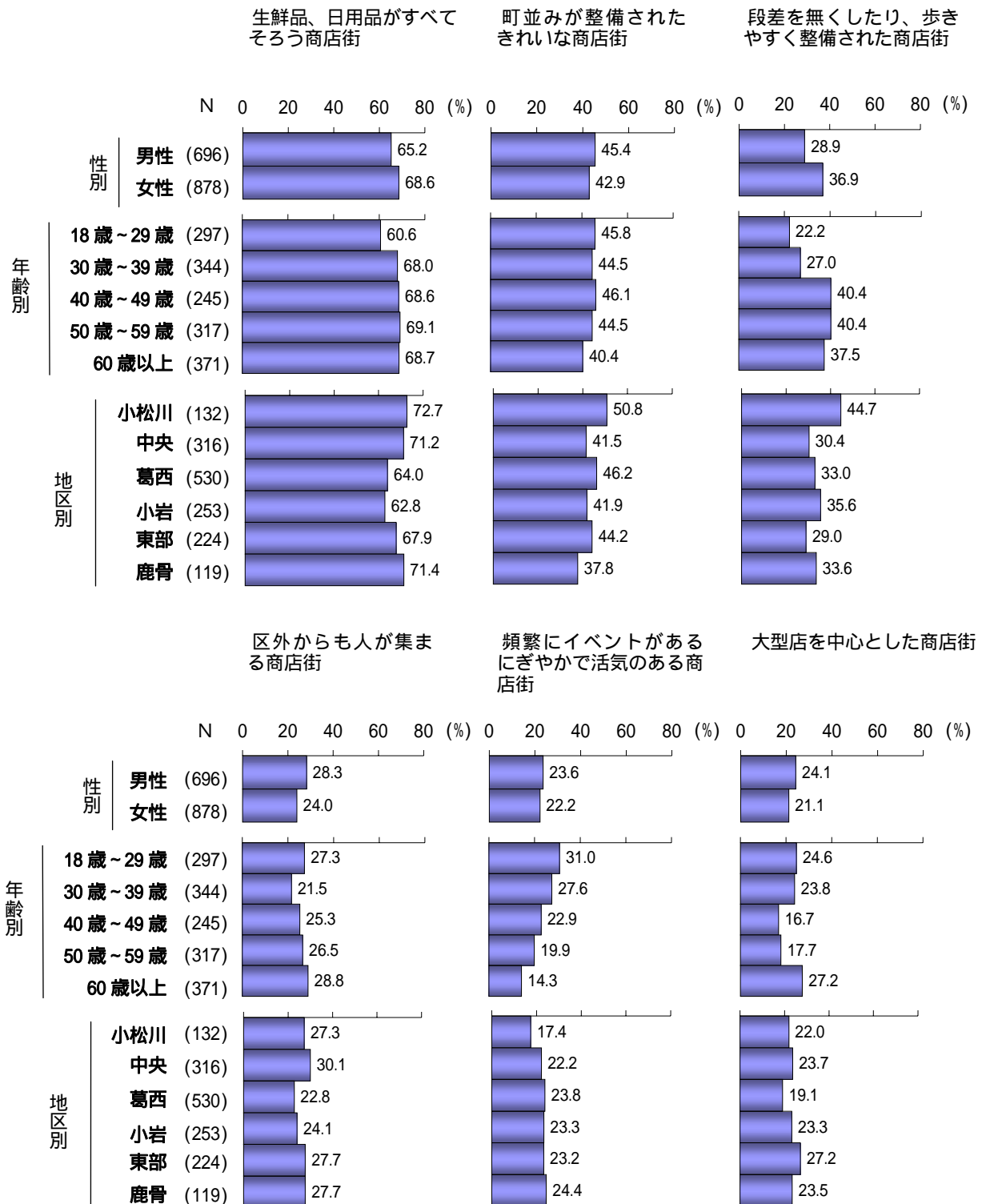
<図27 - 1> 理想とする商店街（複数回答）



理想とする商店街について聞いたところ、「生鮮品、日用品がすべてそろう商店街」が1位で、6割台半ばを超える。次に「町並みが整備されたきれいな商店街」が4割強、「段差を無くしたり、歩きやすく整備された商店街」が3割強、「区外からも人が集まる商店街」が2割台半ば、「頻繁にイベントがあるにぎやかで活気のある商店街」と「大型店を中心とした商店街」が2割強となっている。(図27 - 1)

性別でみると、「段差を無くしたり、歩きやすく整備された商店街」は女性の方が8ポイント上回り、「区外からも人が集まる商店街」は男性が4ポイント高い。年齢別では、「生鮮品、日用品がすべてそろった商店街」は、18歳～29歳が比較的lowく6割強である。逆に「町並みが整備されたきれいな商店街」では、60歳以上が最も低い。「段差を無くしたり、歩きやすく整備された商店街」は40歳代～50歳代が高く、4割を超える。また「頻繁にイベントがあるにぎやかで活気のある商店街」では、18歳～29歳が最も高く3割強で、加齢とともに漸減している。地区別でみると、「町並みが整備されたきれいな商店街」は、小松川地区が最も高く半数を占める。また小松川地区は、「段差を無くしたり、歩きやすく整備された商店街」でもトップで、4割台半ばとなっている。(図27-2)

<図27-2> 理想とする商店街/性別、年齢別、地区別(上位6項目)



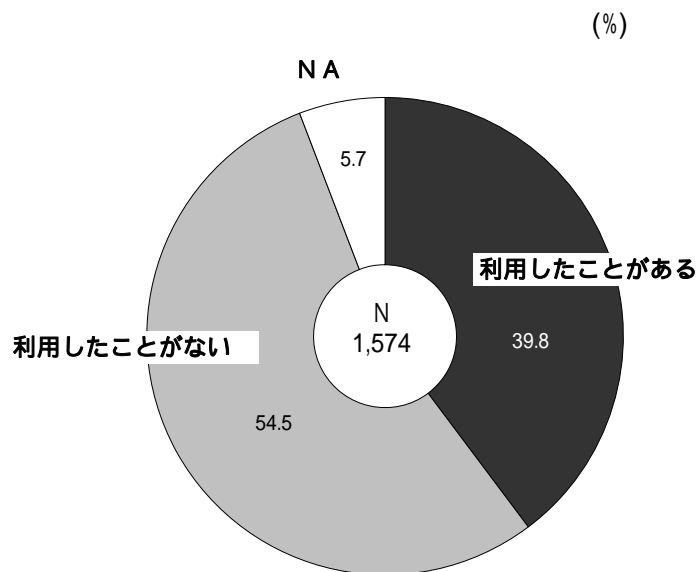
(28) 商店街のサービス制度の利用について

「利用したことがない」が過半数を占め、「利用したことがある」は4割弱

問28 あなたは、商店街のポイントカードや江戸川区内共通商品券を利用したことがありますか。

N = 1,574

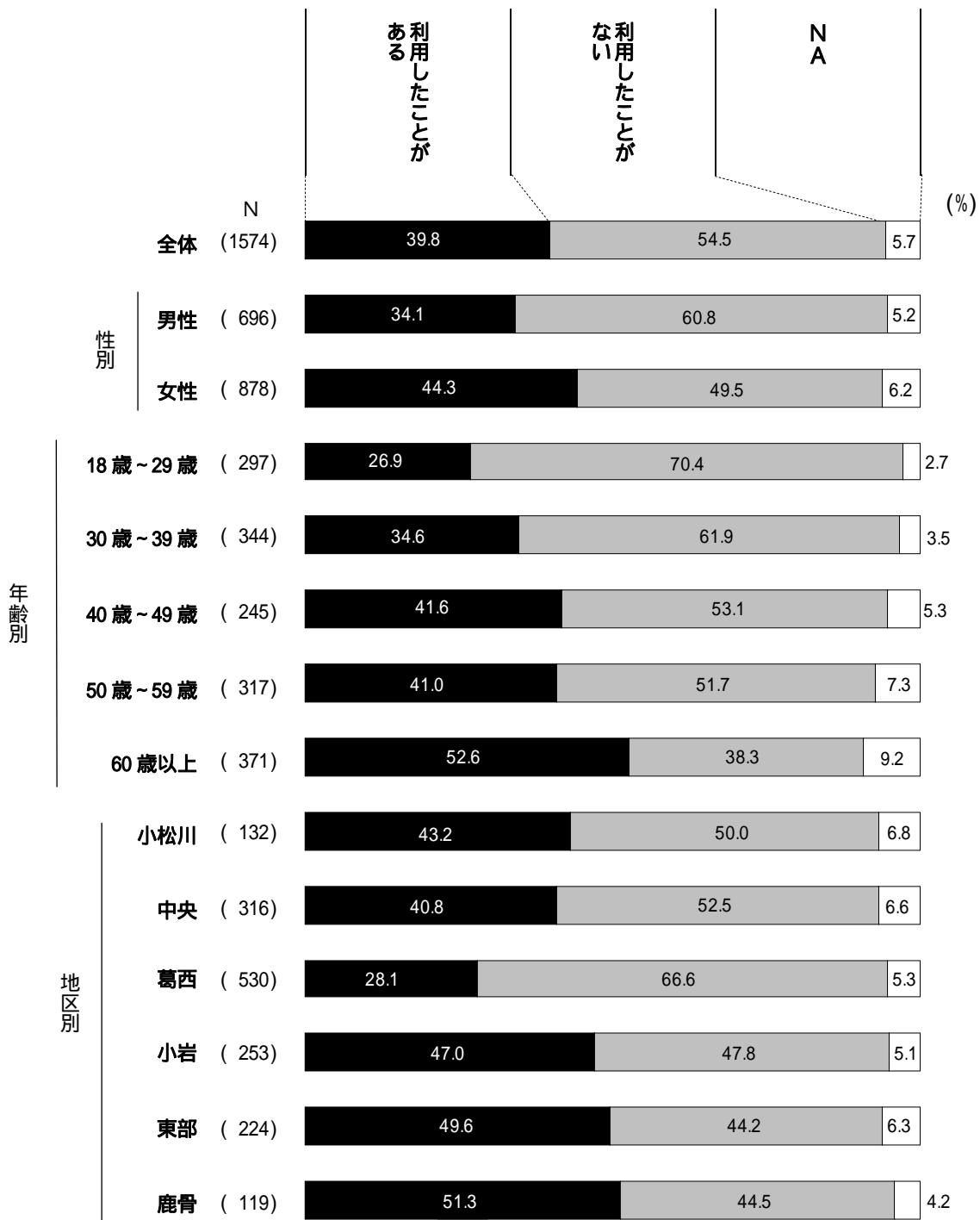
<図28 - 1> 商店街のサービス制度の利用状況



商店街のサービス制度の利用状況については、過半数の人が「利用したことがない」と答え、「利用したことがある」のは4割弱となっている。(図28 - 1)

性別では、「利用したことがない」は男性が女性より11ポイント高く、「利用したことがある」は女性が男性より10ポイント上回る。年齢別でみると、「利用したことがない」は18歳～29歳が最も多く7割で、年齢が上がるごとに低下している。地区別では、「利用したことがある」との回答が一番高いのは、鹿骨地区で半数を超える。一方「利用したことがない」では、葛西地区が6割台半ばを占め、突出している。(図28 - 2)

<図 28 - 2> 商店街のサービス制度の利用状況 / 性別、年齢別、地区別



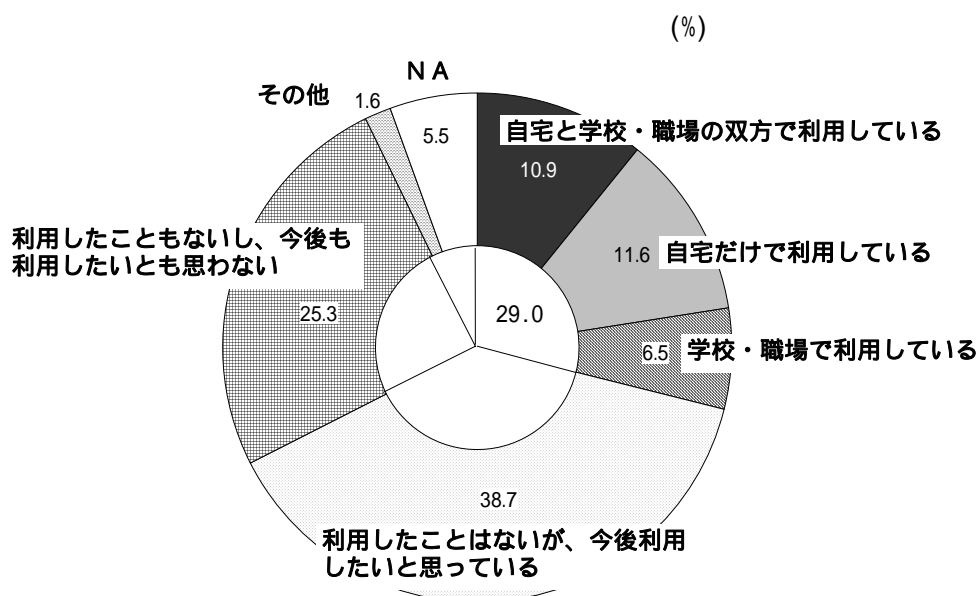
(29) インターネットの利用について

「利用したことはないが、今後利用したいと思っている」が3割台半ばを超える

問29 現在、パソコンなどを使って家庭や職場から様々な情報を見ることができたり、情報のやりとりができるインターネットが急速に普及しています。あなたは普段インターネットを利用(ホームページの閲覧、電子メールの送受信、電子商取引など)していますか。次の中から1つ選んでください。

N = 1,574

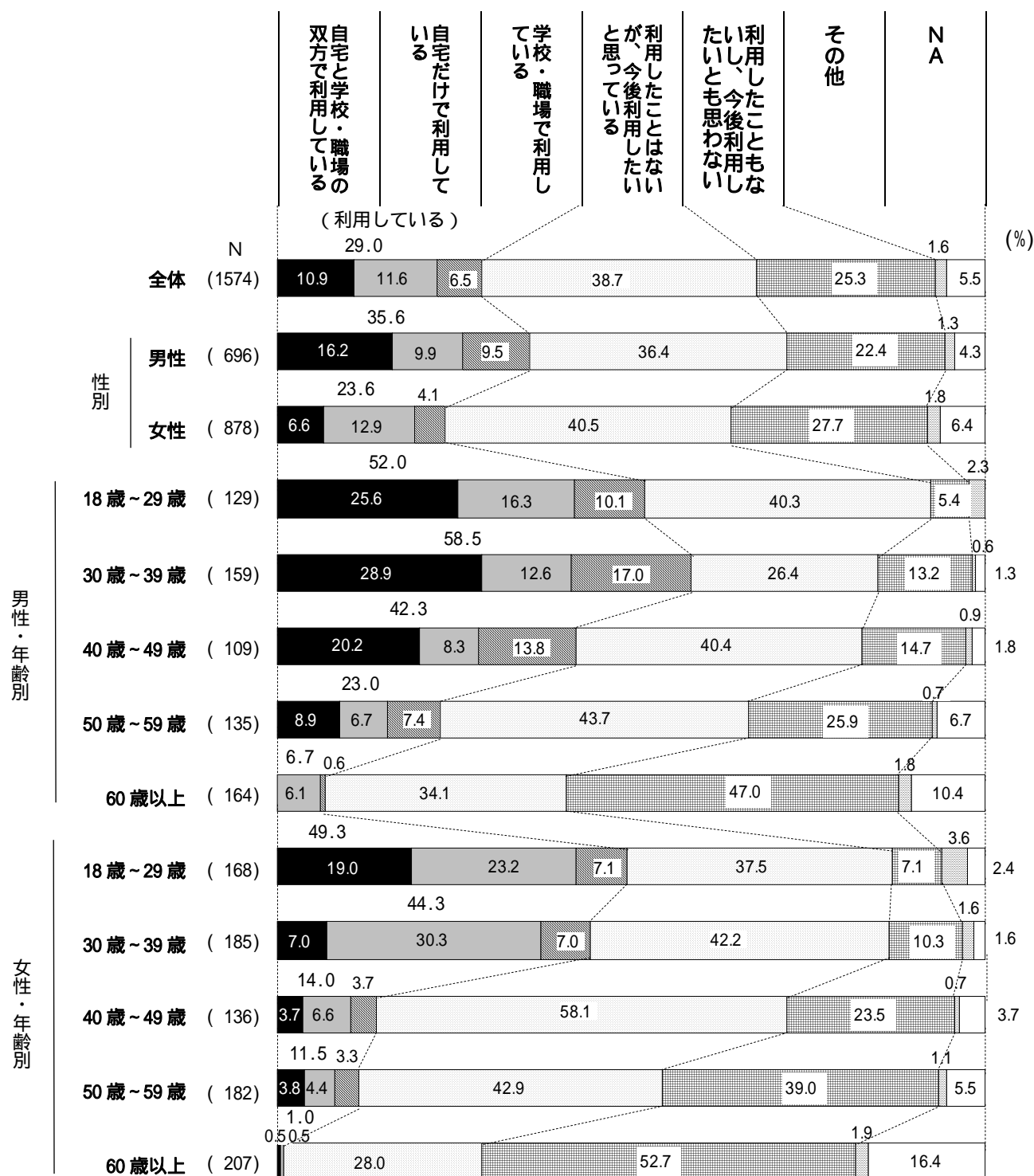
<図29 - 1> インターネットの利用について



インターネットの利用については、「利用したことはないが、今後利用したいと思っている」が3割台半ばを超え、最も高い。自宅・学校・職場などで“利用している”が3割弱で、「利用したこともないし、今後利用したいとも思わない」が2割台半ばとなっている。(図29 - 1)

性別でみると、自宅・学校・職場などで「利用している」は男性が12ポイント高く、「利用したこともないし、今後利用したいとも思わない」は女性が5ポイント高い。性・年齢別でみると、男性の18歳～39歳で「利用している」が過半数を占め、女性の18歳～29歳で5割弱となっている。また「利用している」は男女とも加齢とともに漸減し、逆に「利用したこともないし、今後利用したいとも思わない」は年齢が上がるにつれて高くなる。女性の40歳代で「利用したことはないが、今後利用したいと思っている」が、6割弱で突出している。(図29-2)

<図29-2> インターネットの利用について/性別、性・年齢別



インターネットの利用状況

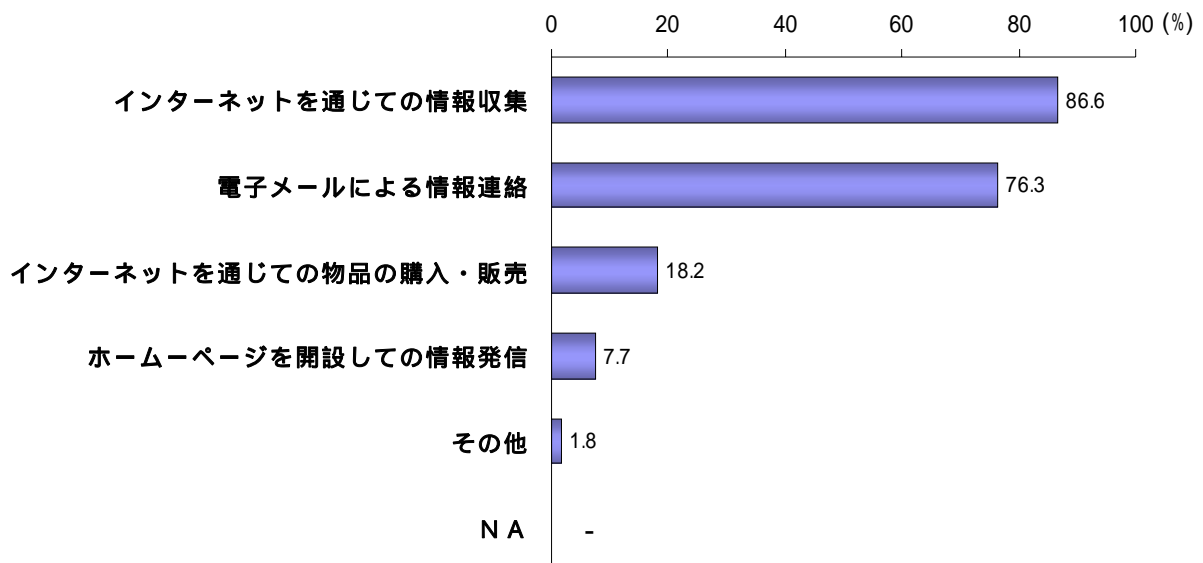
「インターネットを通じての情報収集」が8割台半ばを超える

(問29で、「1・2・3」と答えた方に)

問29 - 1 あなたは普段インターネットをどのように利用されていますか。次の中からいくつでも選んでください。

N = 455

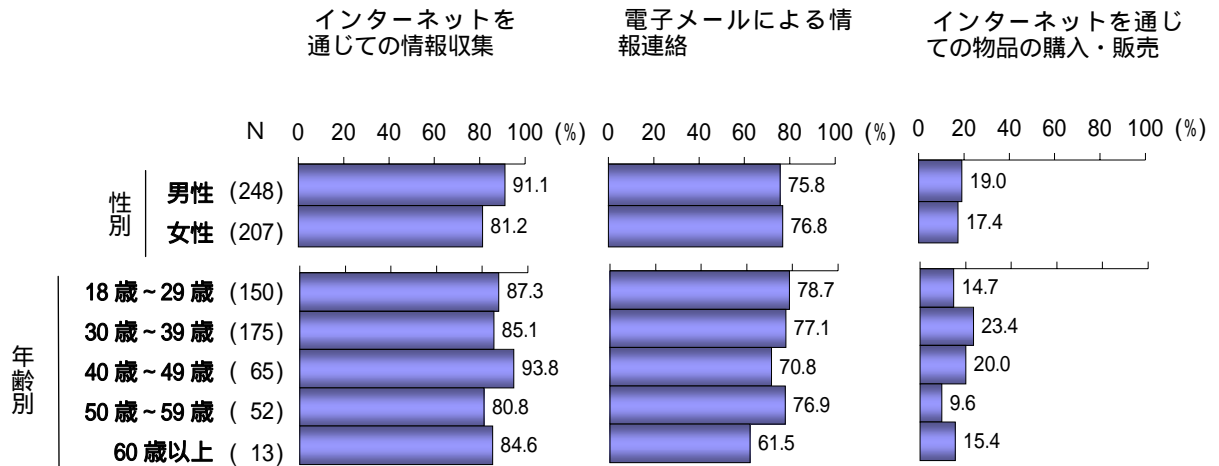
<図29 - 3> インターネットの利用状況(複数回答)



インターネットの利用状況については、「インターネットを通じての情報収集」が8割台半ばを超えトップ。次に高いのが「電子メールによる情報連絡」で、7割台半ばを超える。(図29 - 3)

性別でみると、「インターネットを通じての情報収集」では、男性の方が10ポイント上回る。年齢別では、「インターネットを通じての情報収集」と答えた人で一番高いのが、40歳代で9割を超える。「電子メールによる情報連絡」では18歳～29歳が最も高い。(図29-4)

<図29-4> インターネットの利用状況/性別、年齢別(上位3項目)



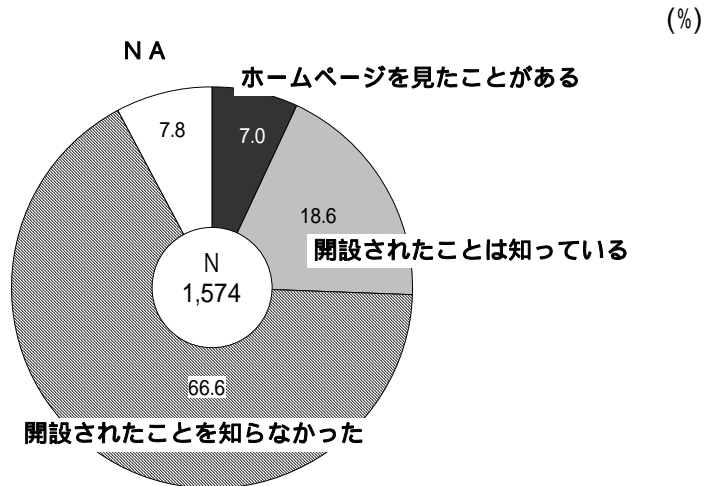
(30) 区のホームページについて

「ホームページを見たことがある」が1割未満

問30 今年4月から江戸川区の公式ホームページが開設されました。このことをご存知でしたか。また、実際にご覧になったことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

N = 1,574

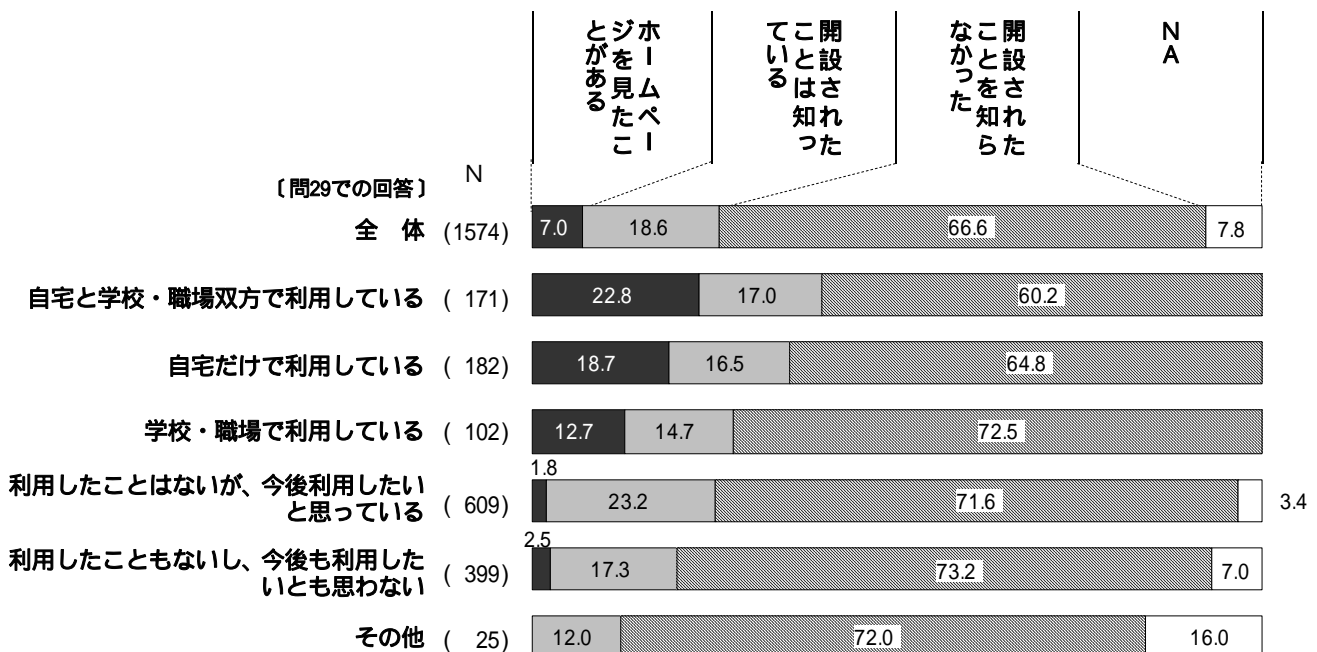
<図30 - 1> 区のホームページの認知状況



区のホームページの認知状況について聞いたところ、「ホームページを見たことがある」と答えた人は1割未満である。また「開設されたことは知っている」は1割台後半となる。「開設されたことを知らなかった」人は6割台半ばを占める。(図30 - 1)

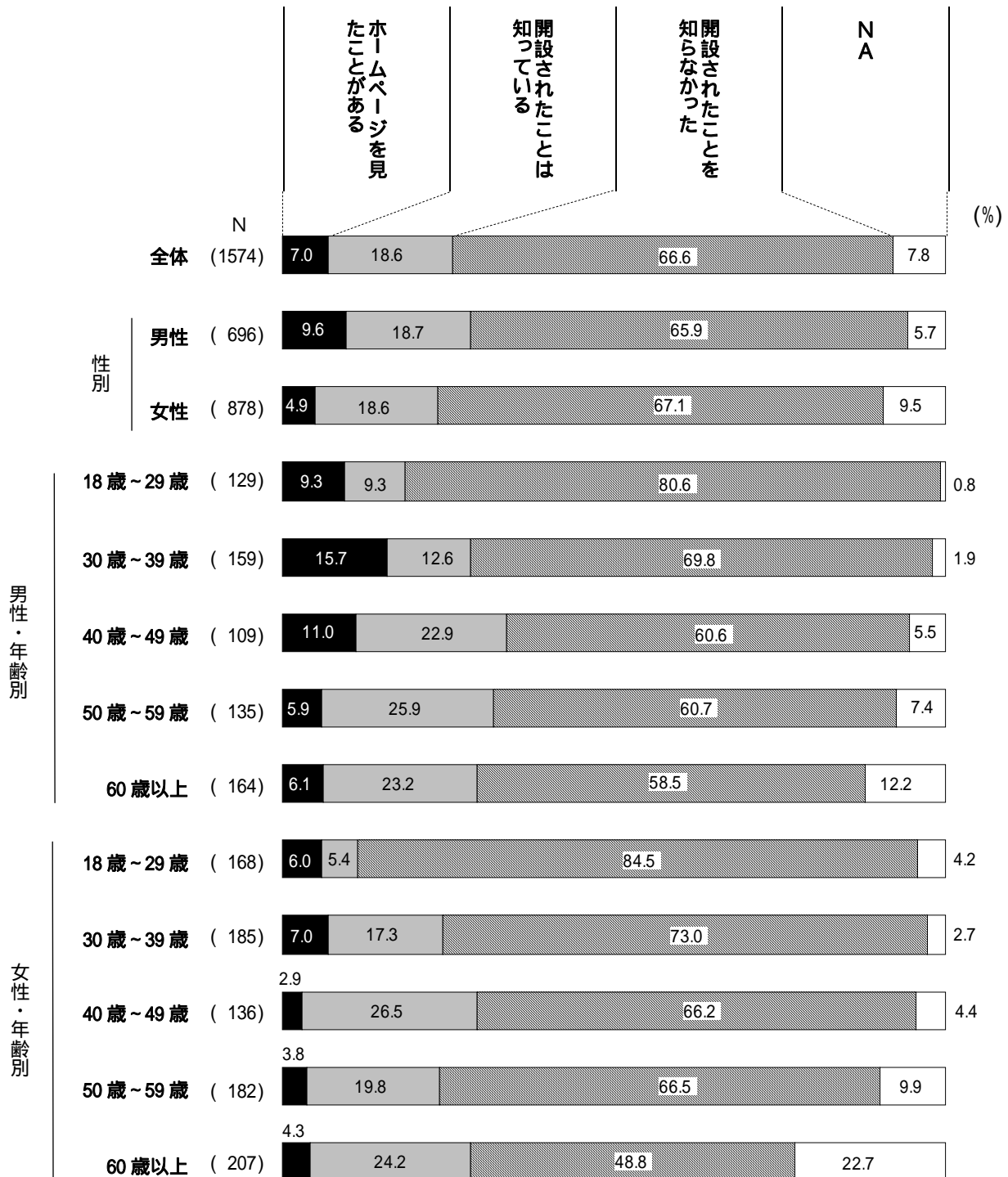
問29のインターネットの利用についての回答別でみると、「ホームページを見たことがある」が最も高いのは「自宅と学校・職場双方で利用している」人で、2割強となっている。そのあとに「自宅だけで利用している」が1割台後半、「学校・職場で利用している」が1割強と続く。(図30 - 2)

<図30 - 2> 区のホームページの認知状況 / インターネットの利用について



性別では、「ホームページを見たことがある」で男性が5ポイント高い。性・年齢別でみると、「ホームページを見たことがある」は男性の30～40歳代が比較的高く、1割を超える。「開設されたことを知らなかった」人が、男女ともに18歳～29歳で最も多く8割を超え、年齢が上がるにつれて減少している。(図30-3)

<図30-3> 区のホームページの認知状況 / 性別、性・年齢別



区のホームページで今後充実してほしい内容

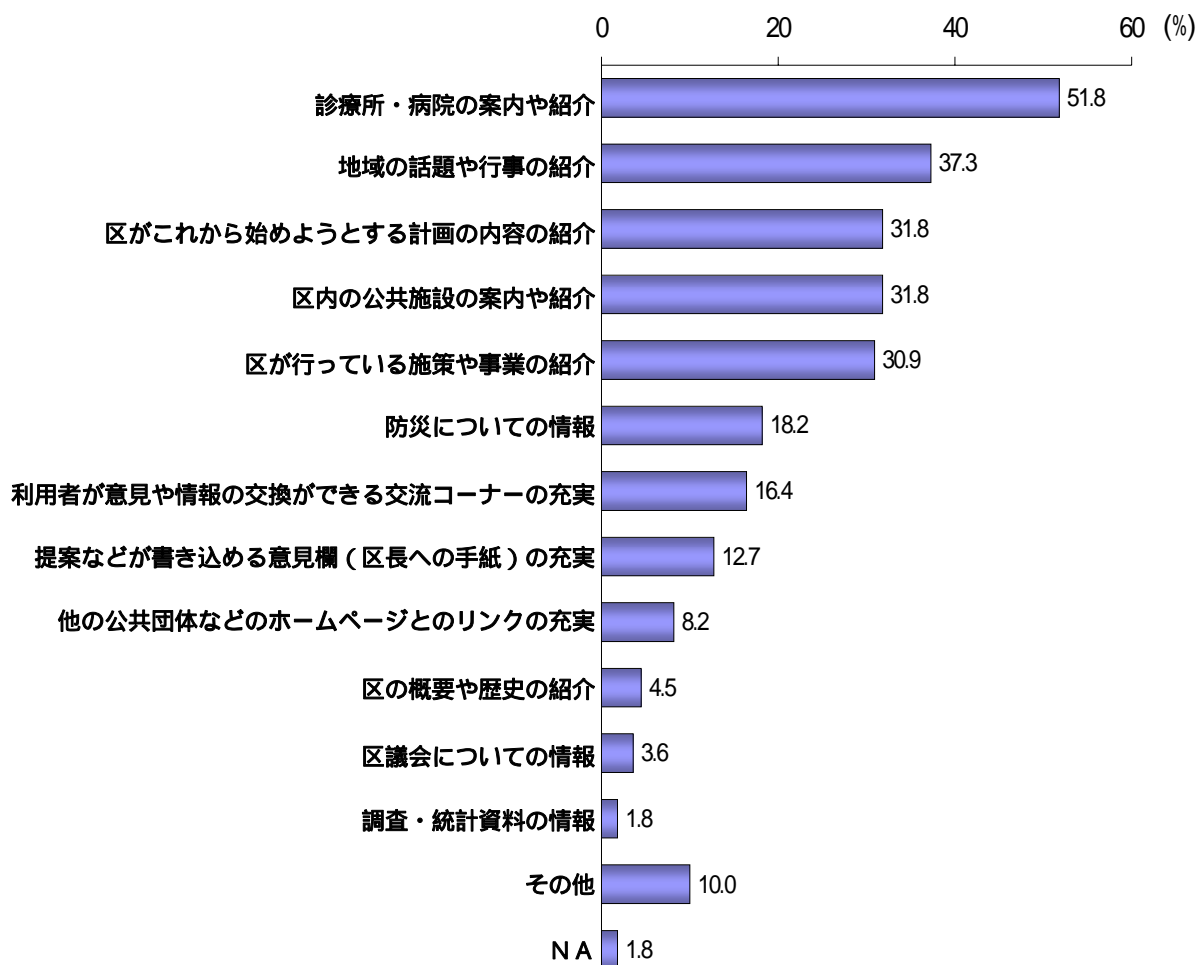
「診療所・病院の案内や紹介」がトップで、半数を占める

(問30で、「1 ホームページを見たことがある」と答えた方に)

問30 - 1 区のホームページで、どのようなことを充実してほしいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N = 110

< 図30 - 4 > 区のホームページで今後充実してほしい内容 (複数回答)



区のホームページで今後充実してほしい内容については、「診療所・病院の案内や紹介」が一番高く、半数を占める。次いで「地域の話や行事の紹介」が3割台半ばを超え、「区がこれから始めようとする計画の内容の紹介」、「区内の公共施設の案内や紹介」、「区が行っている施策や事業の紹介」が3割強となっている。(図30 - 4)

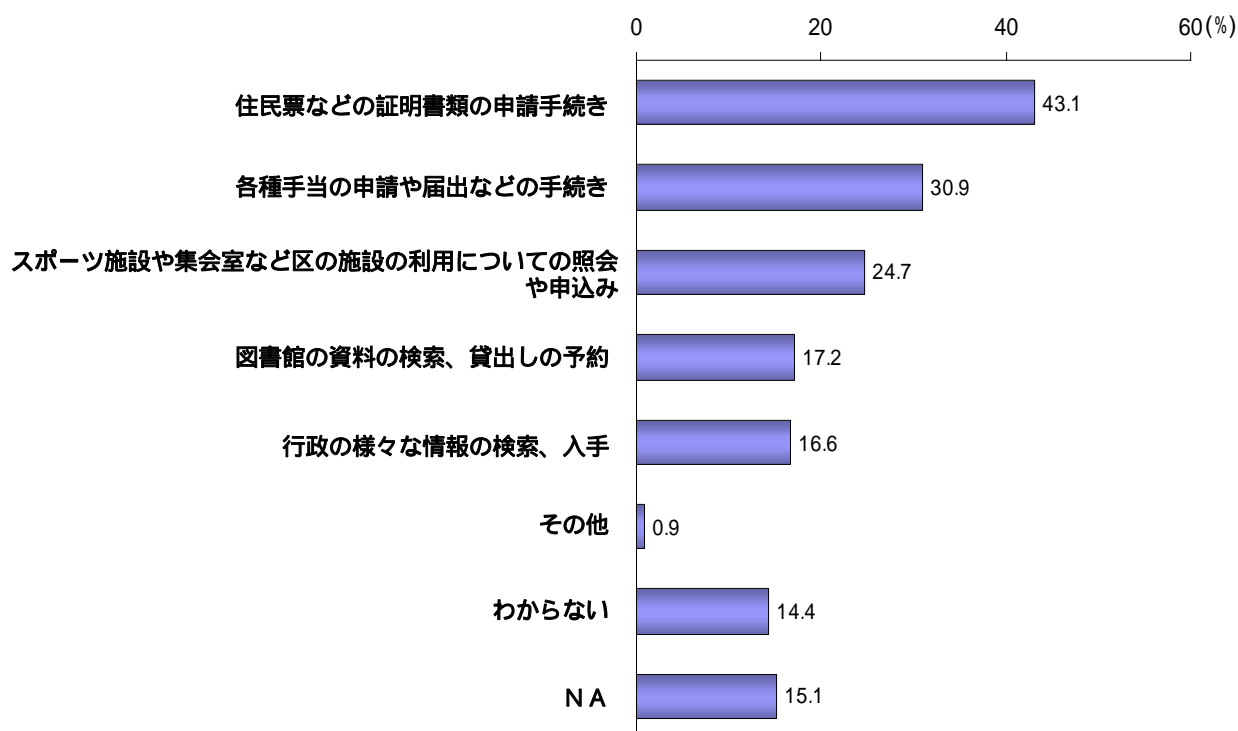
(31) インターネットを利用した行政サービスについて

「住民票などの証明書類の申請手続き」が4割強

問31 インターネットを利用した行政サービスについてお尋ねします。特に実現を望むものを、次の中から2つまで選んでください。

N = 1,574

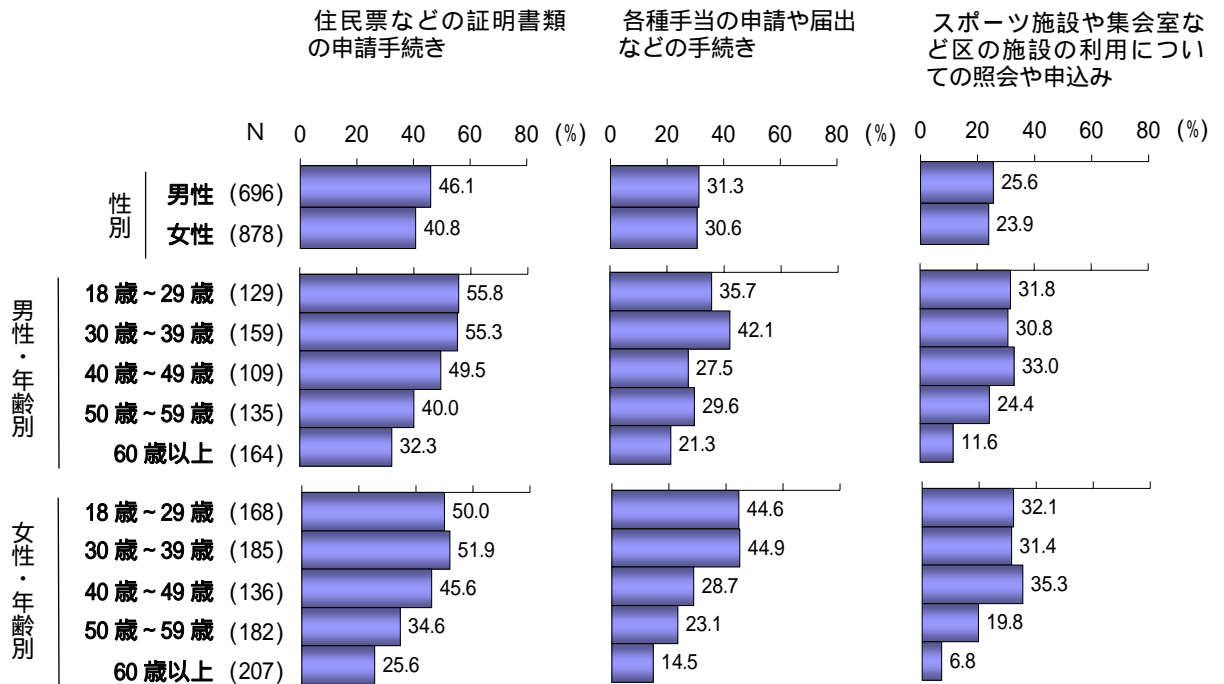
<図31 - 1> 今後希望するインターネットを利用した行政サービス（複数回答）



今後希望するインターネットを利用した行政サービスについては、「住民票などの証明書類の申請手続き」が4割強で最も高い。そのあとに「各種手当の申請や届出などの手続き」が3割、「スポーツ施設や集会室など区の施設の利用についての照会や申込み」が2割台半ばと続く。(図31 - 1)

性別でみると、「住民票などの証明書類の申請手続き」では男性が5ポイント上回る。性・年齢別では、「住民票などの証明書類の申請手続き」は男女とも若年代層が高く、加齢とともに漸減する。「各種手当の申請や届出などの手続き」でも、男女とも30歳代が一番高い。(図31 - 2)

<図31 - 2> 今後希望するインターネットを利用した行政サービス/性別、性・年齢別 (上位3項目)



(32) 推進してほしい施策

「高齢者対策」が4割台半ばを超えトップ

問32 江戸川区は、今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。あなたが力を入れてほしいと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

N = 1,574

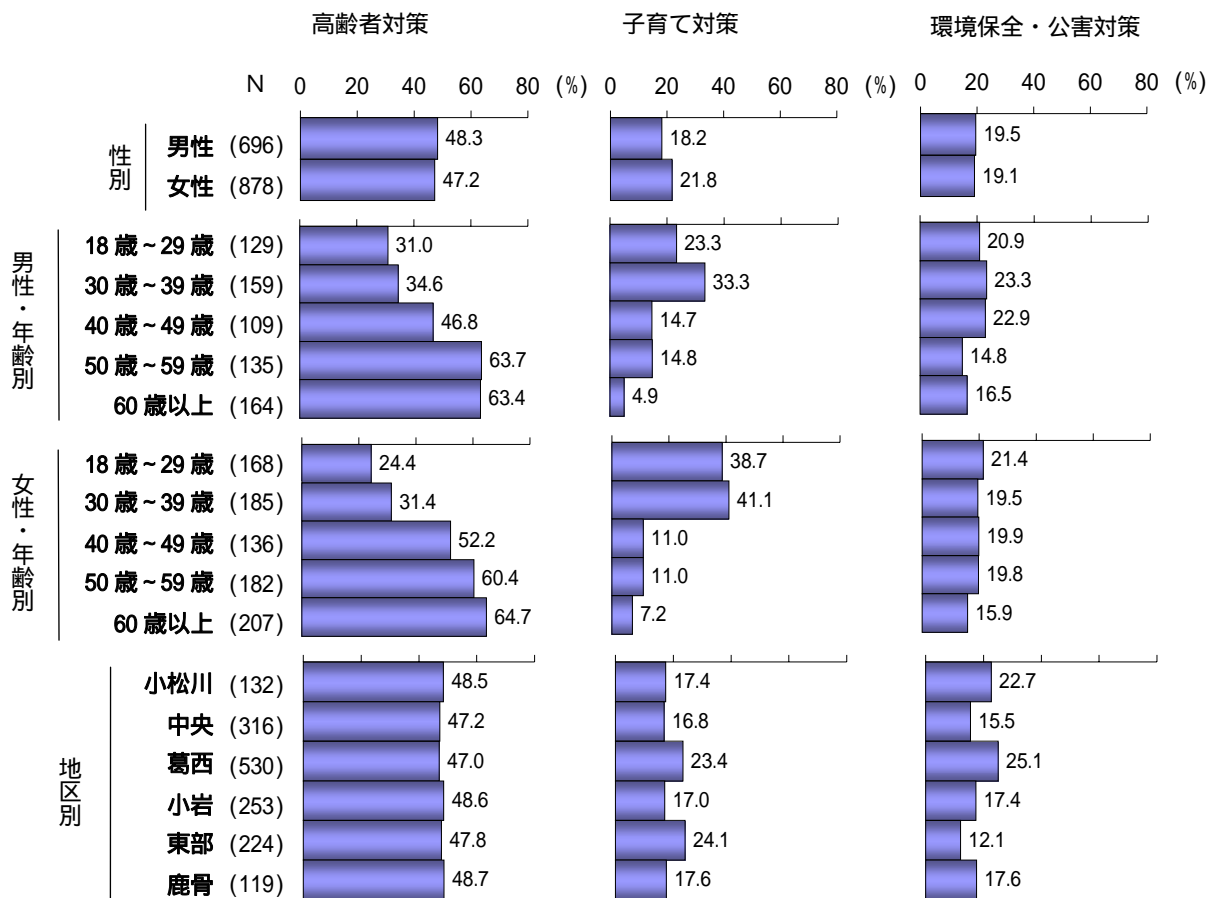
<図32 - 1> 推進してほしい施策（複数回答）



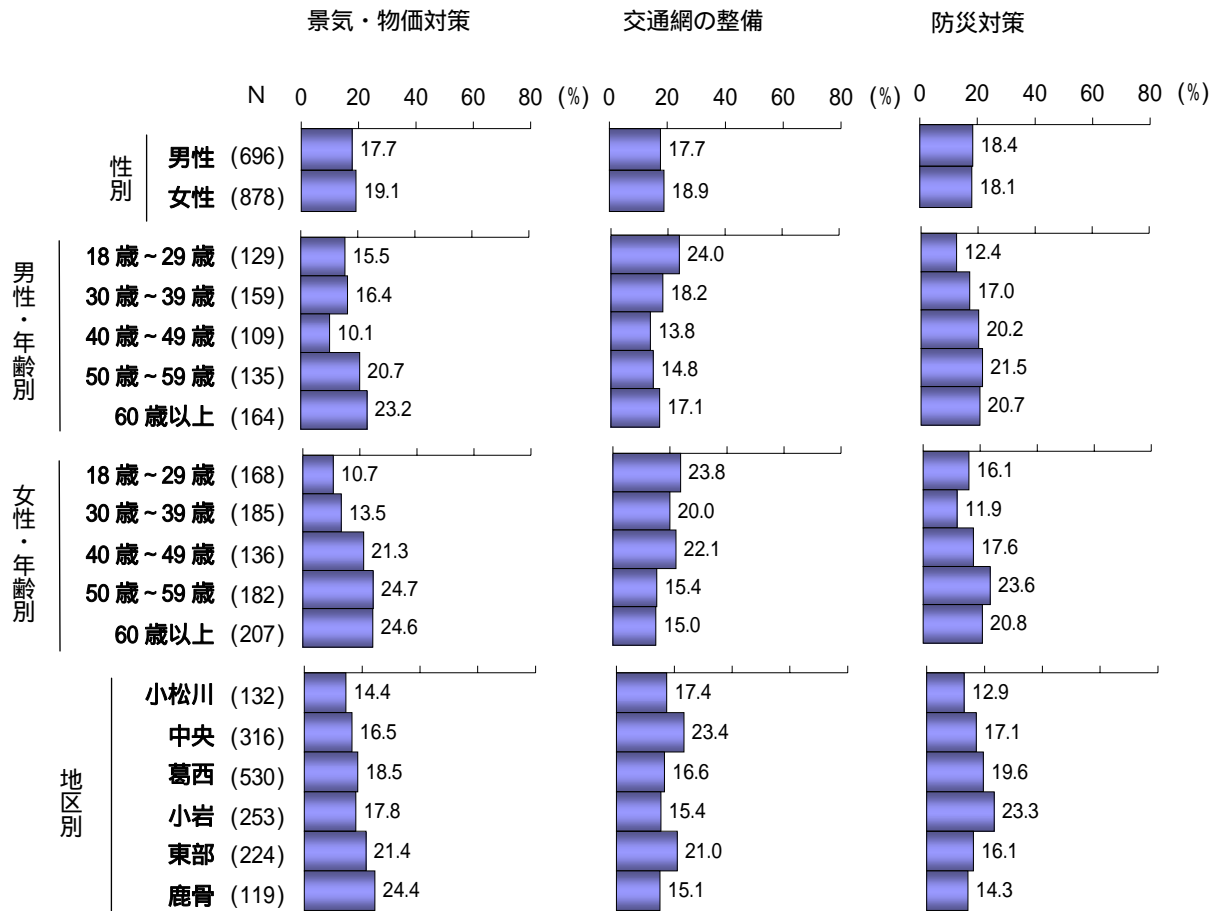
今後推進してほしい施策について尋ねたところ、「高齢者対策」が4割台半ばを超え突出している。そのあとに「子育て対策」が2割、「環境保全・公害対策」が2割弱、「景気・物価対策」、「交通網の整備」、「防災対策」、「保健・健康づくり」が1割台後半となっている。(図32 - 1)

性別ではほとんど違いはみられない。性・年齢別にみると、「高齢者対策」では男女とも年齢が上がるにつれて漸増し、男性では50歳代、女性では60歳以上が最も高い。また「景気・物価対策」の女性や「防災対策」の男性においても、加齢とともに高くなっている。逆に若年代層が高いのは「子育て対策」で、特に女性の18歳～39歳は突出している。地区別では、「子育て対策」では葛西地区と東部地区、「環境保全・公害対策」では小松川地区と葛西地区、「景気・物価対策」では東部地区と鹿骨地区、「交通網の整備」では中央地区と東部地区が比較的高く2割台となっている。(図32 - 2)

< 図32 - 2 > 推進してほしい施策 / 性別、性・年齢別、地区別(上位6項目)



< 図32 - 2 > 推進してほしい施策 / 性別、性・年齢別、地区別(上位6項目)



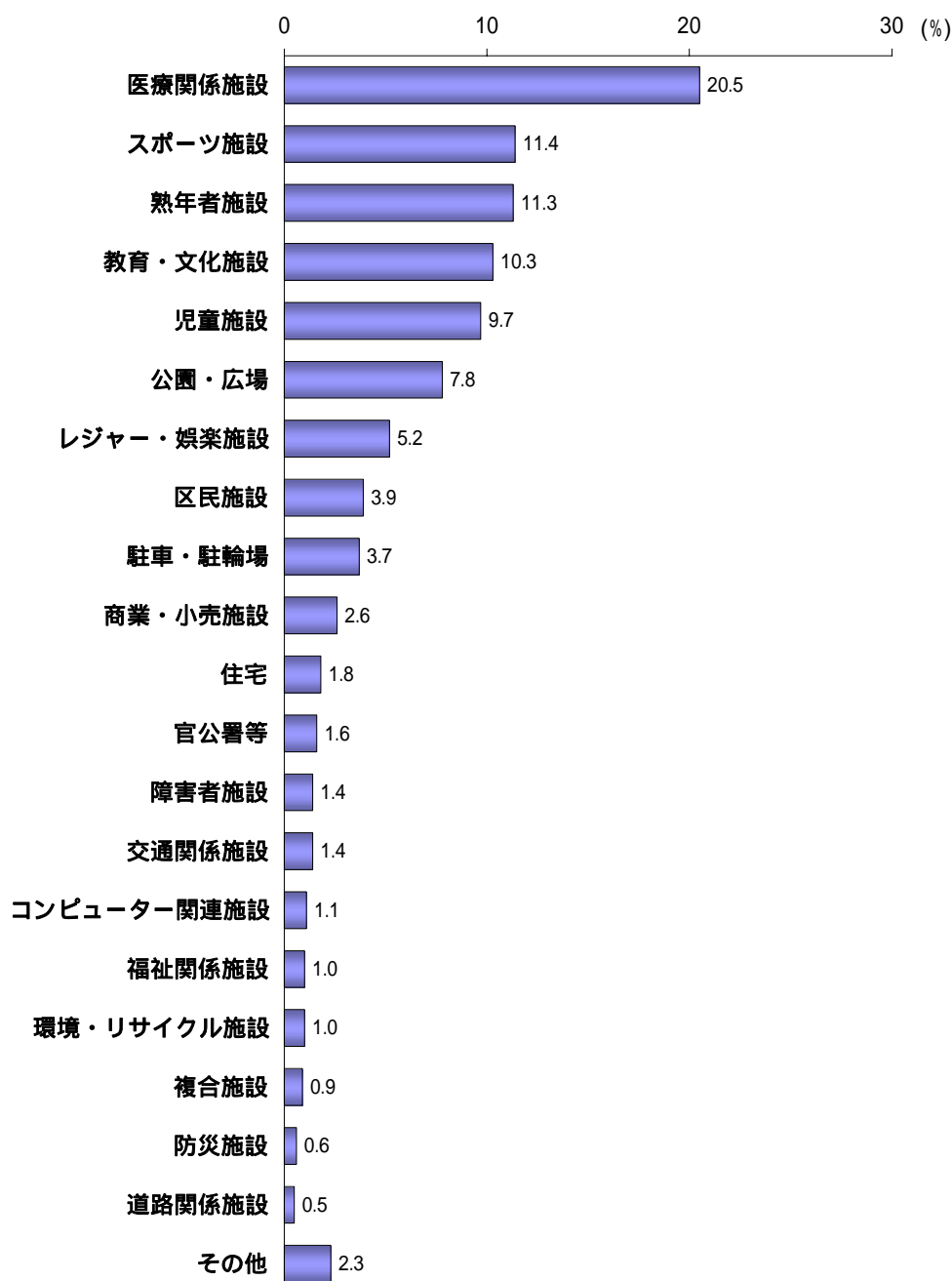
(33) 施設への要望

「医療関係施設」が2割でトップ

問33 あなたは、今後、区内にどのような施設を充実すれば良いと思いますか。ご自由に3つまでご記入ください。

N = 1,364

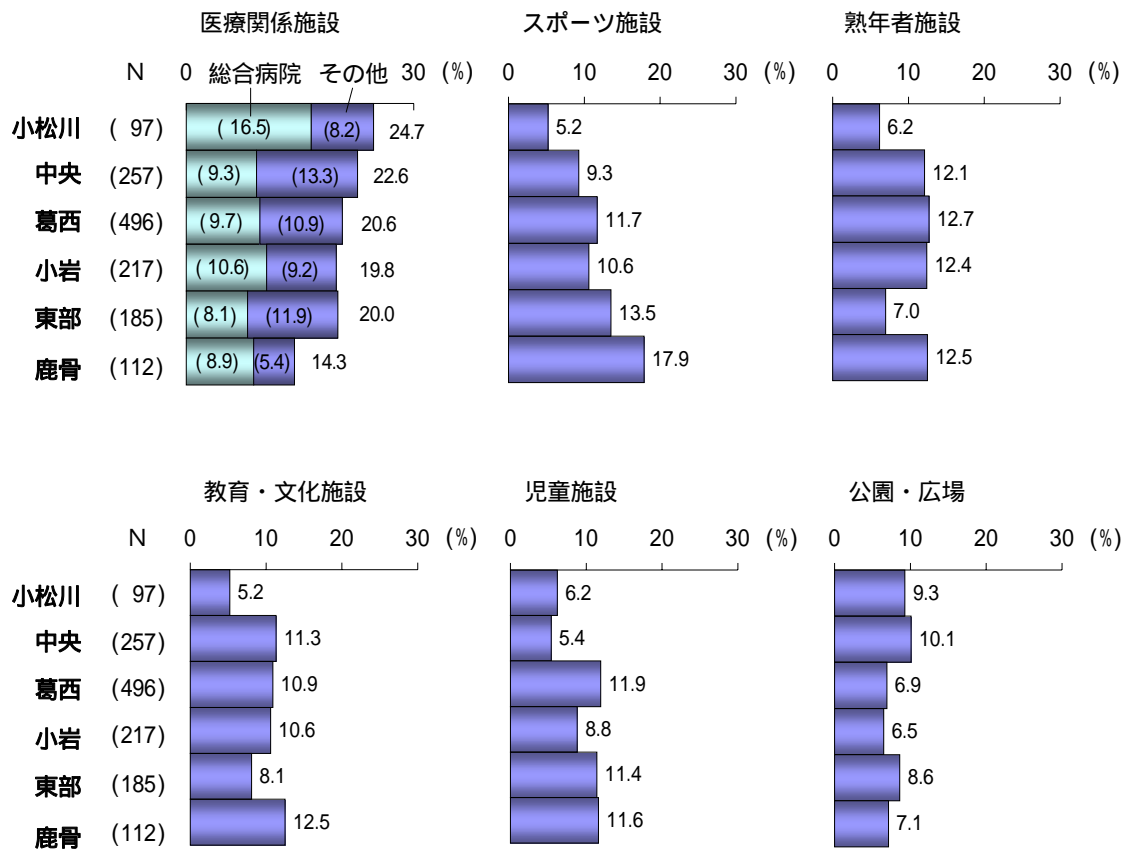
< 図33 - 1 > 施設への要望



施設への要望について聞いたところ、「医療関係施設」が2割強でトップ。次いで「スポーツ施設」、「熟年者施設」、「教育・文化施設」が1割強となっている。(図33 - 1)

施設への要望の上位6項目を地区別で見ると、「医療関係施設」は小松川地区が2割台半ばで最も高く、次いで中央地区、葛西地区、東部地区の順になっており、2割台に乗る。「医療関係施設」のうち「総合病院」では、小松川地区が1割台半ばでトップ。「スポーツ施設」では、鹿骨地区が1割台半ばを超え、突出している。「熟年者施設」、「教育・文化施設」は、中央地区、葛西地区、小岩地区、鹿骨地区が比較的高く、それぞれ1割強となっている。(図33 - 2)

<図33 - 2> 施設への要望 / 地区別 (上位6項目)



(参考) 施設への要望 前回(23回)の上位10項目

順位	施設名	比率
1	病院(診療所)	31.9
2	区営駐車場・駐輪場	31.3
3	大型店(デパート・スーパー)	19.1
4	老人ホーム・ケアセンター(特養老人ホームなど)	15.8
5	スポーツ施設(体育館・野球場・プールなど)	15.1
6	図書館	14.8
7	動物園・植物園	12.2
8	高齢者人材センター	12.1
9	公営住宅	11.7
10	鉄道の駅	10.3

なお、前回の施設への要望は、あらかじめ28の施設名を掲出し、その中から、3つを選択する方法で調査した。

小分類別にみると、最も高いのが「総合病院」(136件)となっており、医療関係施設でもとりわけ要望が強いと言える。次いで「病院(医療機関)」、「図書館」、「老人ホーム(特養ホーム)」、「スポーツ施設」、「保育園(保育所・保育施設)」という順になっている。(表1)

<表1> 施設への要望/小分類別

第1位	第2位	第3位	件数
医療関係施設	280	スポーツ施設	155
総合病院	136	スポーツ施設	52
病院(医療機関)	86	スポーツセンター	32
大型病院(大病院)	20	プール(温水・室内プール)	25
公立病院(都・区立病院)	13	スポーツクラブ(ジム)	14
専門病院(小児科・眼科等)	9	テニスコート	11
救急病院(夜間診療所)	7	体育館	7
健康施設等	7	運動場(スポーツ場)	5
医療検査センター(検診施設)	2	サッカー場(サッカースタジアム)	3
		ゲートボール場	1
		サイクリングロード	1
		ウォーキングロード	1
		卓球場	1
		野球場	1
		スケート場	1
		熟年者施設	154
		老人ホーム(特養ホーム)	64
		高齢者施設	40
		介護施設	11
		熟年者娯楽施設(憩いの場)	9
		老人保健施設	5
		カルチャーセンター(教室)	5
		熟年者の働く場	5
		ケアセンター(ケアハウス)	3
		熟年者の職業訓練施設	3
		ショートステイ施設	2
		高齢者グループホーム	2
		介護者の憩いの施設	2
		熟年者スポーツ施設	2
		熟年者向け宅配施設	1
第4位	第5位	第6位	
教育・文化施設	140	児童施設	132
図書館	75	保育園(保育所・保育施設)	51
学習室のある図書館	2	夜間・24時間保育園	8
ビデオのある図書館	1	0歳児保育園	6
学校	2	駅前保育園	1
小学校	1	児童館	28
中学校	2	託児所(託児施設)	10
高校	1	幼稚園(公立幼稚園)	10
大学(高等教育施設)	7	学童クラブ	9
青少年育成施設(センター)	9	子育てに関する施設	1
生涯学習施設(センター)	8	子どもを持つ家庭への相談センター	1
子どもの為の学習施設	4	子育て対策のある集会所	1
教育施設	2	子持ち女性の相談所	1
青少年(子ども)相談施設	2	児童相談所	1
いじめかきりきり施設	1	男性向け育児講習施設	1
登校拒否受け入れ施設	1	乳幼児の室内施設	1
自然体験活動推進センター	1	児童施設	1
		ファミリーサポートセンター	1
美術館	7		
博物館(歴史博物館・資料館)	6		
植物園	2		
文化芸術施設	2		
科学館	1		
オペラハウス	1		
プラネタリウム	1		
劇場	1		
		公園・広場	107
		公園	45
		自然・植物のある公園・広場	22
		屋根のある公園・屋内の遊び場	12
		子どもが安心して楽しく遊べる公園	7
		大きな公園	5
		親子で遊べる公園	4
		スポーツ・球技ができる公園	3
		親水公園	2
		ポケットパーク	2
		駅前公園	1
		動物が飼育されている公園	1
		ペットが入れる公園	1
		公園の噴水	1
		駅前の緑地帯	1

<表1> 施設への要望/小分類別

第7位	第8位	第9位	件数
レジャー・娯楽施設	71	区民施設	51
映画館	19	区役所・区の事務所	10
テーマパーク	7	コミュニティ会館(センター)	10
レジャー施設(センター)	6	休日・夜間開庁の区の事務所	6
音楽施設(音楽スタジオ)	5	ボランティアセンター	6
娯楽施設	4	区民館・集会所	5
コンサート場	4	保養所・保養施設	5
釣り堀	3	多目的施設・ホール	3
ホテル・宿泊施設	3	イベントホール(施設)	2
マリナー	3	区民施設	2
クアハウス(クアガーデン)	2	文化センター	1
遊園地	2	保健所	1
温泉	2	女性センター	1
ゲームセンター	2	区民農園	1
健康ランド	1		
ダンスができる施設	1		
演芸場	1		
キャンプ場	1		
アウトドア施設	1		
スタジアム	1		
多目的ドーム	1		
ボーリング場	1		
ローラーホールドができる場所	1		
		駐車・駐輪場	51
		駐輪場(地下・駅前)	30
		駐車場(地下・駅前)	21

第10位	第11位	第12位	件数
商業・小売施設	36	住宅	22
ショッピングセンター(モール)	9	高齢者住宅	11
デパート(駅ビル)	8	公営住宅	6
スーパー(大型スーパー)	5	住宅	3
商店街(ショッピング街)	4	単身者住宅	1
商店	2	ペットと住める住宅	1
フリーマーケット	2	安い住宅	1
駐車場のあるコンビニエンスストア	1	若者向け住宅	1
ディスカウントストア	1		
レストラン	1		
犬と入れる飲食店	1		
大型書店	1		
ピアガーデン	1		
		官公署等	22
		警察・交番	8
		職業安定所・ハローワーク	6
		郵便局	2
		警察の諮問機関	1
		消防署	1
		職業能力開発センター	1
		運転免許センター	1
		国際NPO・NGOセンター	1
		バスポート申請出張所	1

第13位	第13位	第15位	件数
障害者施設	19	交通関係施設	15
障害者施設	5	南北鉄道・メトロセブン	5
リハビリセンター(施設)	5	南北交通	4
心身障害者施設	3	地下鉄	3
障害児の保育施設	1	モノレール	2
障害者宿泊施設	1	駅のエスカレーター	2
障害者通所施設	1	鉄道	1
障害者入所施設	1	シャトルバス	1
障害者向けボランティアセンター	1	バス停留所	1
痴呆専門の保健施設	1		
		コンピューター関連施設	15
		パソコン・インターネットを利用できる施設	8
		パソコン・インターネット学習施設	7

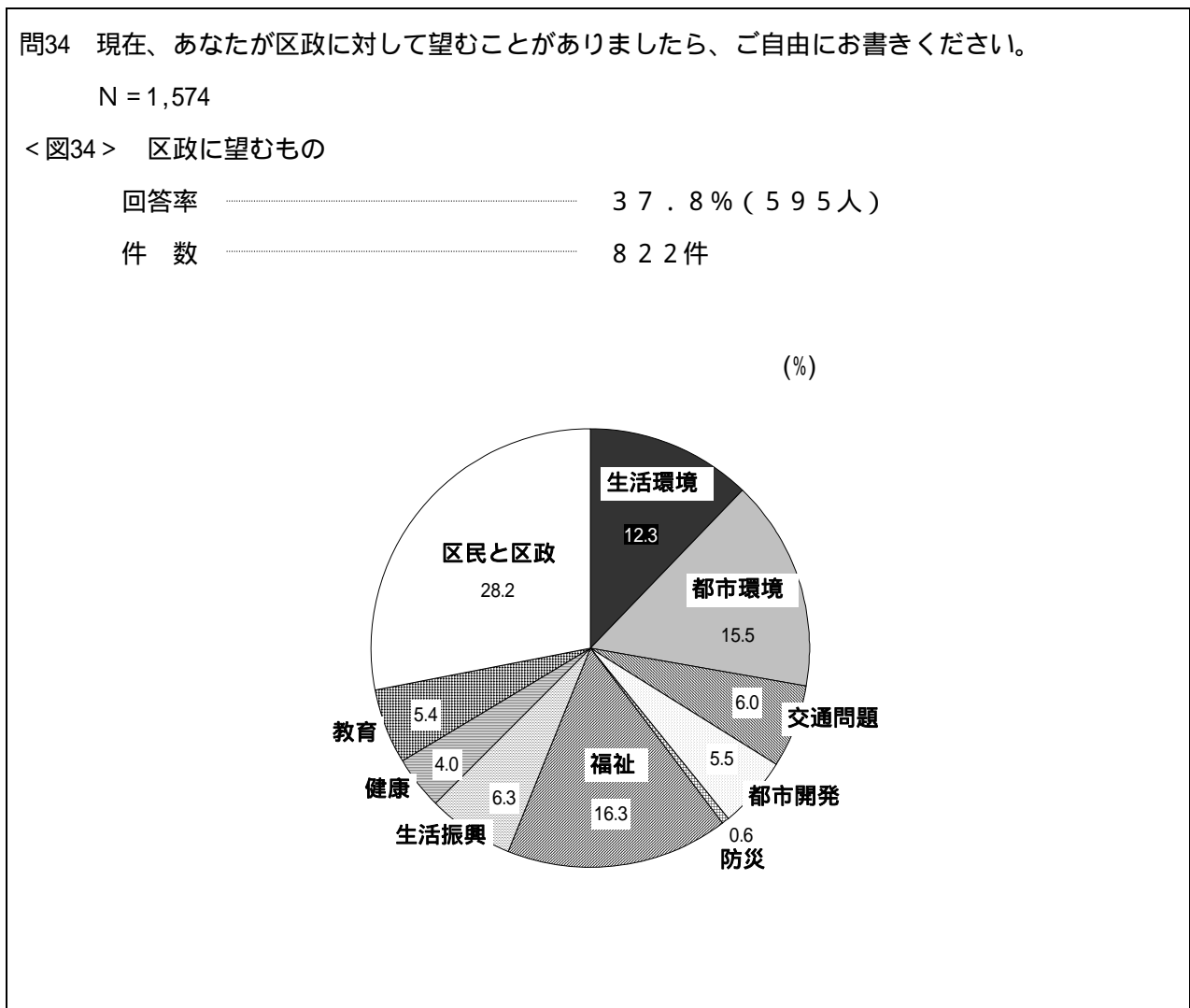
<表1> 施設への要望 / 小分類別

第16位	第17位	第18位	件数
福祉関係施設	14	環境・リサイクル施設	13
福祉施設(センター)	8	リサイクルセンター	6
福祉作業所	2	自転車リサイクル施設	1
ホームレスの収容施設	1	リサイクル品展示施設	1
災害孤児施設	1	ごみ処理施設	1
孤児施設	1	自分達でごみ処理出来る施設	1
交通遺児施設	1	廃油の回収施設	1
		リサイクル活動を行なう場所	1
		リサイクル品販売の施設	1
		複合施設	12
		子どもと熟年者の複合施設	8
		図書館とスポーツ施設の複合施設	2
		文化とスポーツの複合施設	1
		老人ホームと保育園の複合施設	1

第19位	第20位	その他	件数
防災施設	8	道路関係施設	7
避難場所	5	緑の多い散歩道	2
避難施設	1	歩道	1
防災活動拠点	1	歩道橋	1
防災施設	1	自転車専用レーン	1
		信号機	1
		橋のガードレール	1
		葬儀場	4
		葬祭場・セレモニーホール	2
		相談所・窓口	4
		銭湯	3
		霊園	2
		JRA	1
		外国人と交流が出来る施設	1
		公共施設	1
		公共施設内食堂	1
		国際交流センター	1
		転職支援センター	1
		防犯防災センター	1
		防犯センター	1
		車椅子で入れるトイレ	1
		エスカレーター	1
		工場団地	1
		趣味を生かせる施設	1
		浄水場	1
		排水場	1
		ビジネススクール	1
		孫と遊べる施設	1
		倫理会館	1

(34) 区政に望むもの(自由意見)

「区民と区政」が3割弱でトップ



区政全般について自由意見を聞いたところ、回答率は37.8% (1,574人中595人)、件数では822件となっている。

内容は次ページの個別広聴分類一覧表の項目ごとに分類している。

区政に望むもので、「区民と区政」が最も多く2割台半ばを超え、次いで「福祉」と「都市環境」が1割台半ば、「生活環境」が1割強となっている。(図34)

調查票

問1 【江戸川区の将来像について】

江戸川区では、区民の皆さんが生きがいを持って安心して生活ができるまちを目指し、様々な施策を推進しています。あなたは、江戸川区が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 文化・スポーツに気軽に親しめるまち
- 2 親水公園や水辺に多くの自然を残す、憩いと潤いのあるまち
- 3 隣近所との交流が盛んな、親しみのあるまち
- 4 高齢者が暮しやすい、福祉の進んだまち
- 5 子育て施策の進んだ、子どもの育てやすいまち
- 6 青少年が健やかに育つ、教育が充実したまち
- 7 全ての世代の人が学習できる機会と場の充実したまち
- 8 ボランティア・地域活動などの活発なまち
- 9 外国人の人たちと気軽に交流ができるまち
- 10 リサイクル事業などが進む、環境に優しいまち
- 11 工場や商店など産業が盛んな、活気のあるまち
- 12 伝統工芸や名所・旧跡などが残る歴史のあるまち
- 13 金魚の養殖や小松菜の栽培など、伝統産業が盛んなまち
- 14 道路・鉄道など、都市基盤が整備されたまち
- 15 様々な情報が手に入る、情報化の進んだまち
- 16 安心して暮せる、治安の良いまち
- 17 地震・災害に強い、安全なまち
- 18 その他()
- 19 わからない

問2 【永住意向について】

あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

- 1 住み続けたい
- 2 できれば住み続けたい
- 3 できれば移転したい
- 4 移転するつもり
- 5 わからない

問3 【生活環境について】

あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように思いますか。それぞれの項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。

	1 良い	2 まあ良い	3 普通	4 あまり良くない	5 良くない
(1) 買物の便	1	2	3	4	5
(2) 交通の便	1	2	3	4	5
(3) 街路樹など周辺の緑	1	2	3	4	5
(4) 公園・子どもの遊び場	1	2	3	4	5
(5) 病院・医療機関	1	2	3	4	5
(6) 空気のよごれ	1	2	3	4	5
(7) 騒音や振動	1	2	3	4	5
(8) 防犯・風紀	1	2	3	4	5
(9) 交通の安全性	1	2	3	4	5
(10) 火災や災害時の安全性	1	2	3	4	5
(11) 自宅の風通し・日当たり	1	2	3	4	5
(12) 近所づきあい	1	2	3	4	5
(13) 全体の暮らしやすさ	1	2	3	4	5

問4 【子育てについて】

江戸川区では、子育て支援を積極的に推進しています。あなたは、安心して子育てを行なうためには、区は特にどのようなことを推進する必要があると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 公園など、子どもにとって魅力ある遊び場の確保
- 2 安心して子育てのできる住宅づくりへの取り組み
- 3 子育てに悩む親への相談業務の充実
- 4 保健所・医療機関などについての情報の充実
- 5 保育園・保育ママなど、未就学児童に対する保育サービスの充実
- 6 児童館・学童クラブなど、学童への保育サービスの充実
- 7 子育てサークルなど、自主グループの育成
- 8 男性の育児参加への啓発活動の促進
- 9 乳幼児医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援
- 10 その他()
- 11 わからない

問12 【ボランティアセンターについて】

江戸川区は、今年4月ボランティアセンターを設立しました。ボランティアをしている人、始めようとする人に参加しやすい環境を整えるために、あなたはボランティアセンターが特にどのような事を推進すれば良いと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 交流の拠点となる施設や設備の充実
- 2 ボランティア活動についての情報提供
- 3 ボランティア活動についての相談・仲介・紹介業務
- 4 ボランティア活動についての啓発
- 5 きっかけづくりのための入門講座など、講習会等の開催
- 6 ボランティア活動への経済的支援
- 7 その他()
- 8 わからない

問13 【男女平等について】

男女共同参画社会基本法（女性と男性がともに参画し、喜びも責任も分かち合える社会の実現を目指す法律）などが施行されました。あなたの身近なところで、次の7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの分野ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。

	1 女性が優遇されている	2 どちらかと言えば女性が優遇されている	3 平等	4 どちらかと言えば男性が優遇されている	5 男性が優遇されている
(1) 家庭生活では	1	2	3	4	5
(2) 職場では	1	2	3	4	5
(3) 学校教育の場では	1	2	3	4	5
(4) 政治の場では	1	2	3	4	5
(5) 法律や制度の上では	1	2	3	4	5
(6) 社会通念・慣習・しきたりでは	1	2	3	4	5
(7) 社会全体では	1	2	3	4	5

問14 【女性センターについて】

江戸川区では、家庭内の問題や職場での悩みの解決、自分らしい生き方などについて、各種相談や啓発活動を行う、男性も女性も利用できる女性センターを開設しています。あなたは女性センターが特にどのようなことを推進すればよいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 悩み事を持つ人への相談業務の充実
- 2 仲間づくりを支援する交流の場の提供
- 3 女性の問題・女性の自立などについての講座・講演会の開催
- 4 男女平等社会・女性の問題についての啓発活動の充実
- 5 女性センターを気軽に利用できるようにする、積極的な広報活動
- 6 男女平等社会・女性の問題についての情報提供
- 7 男女平等社会・女性の問題についての社会活動を行なう個人・団体への支援
- 8 その他()
- 9 わからない

問15 【人にやさしいまちづくりについて】

江戸川区は、道路の段差を解消したり公共の建物にスロープを付けるなど、歩きやすい道路・使いやすい施設の整備を積極的に進めています。次の4つの施設について、どの程度整備されていると感じますか。それぞれの施設ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。

	1 (とても利用しやすい)	2 (利用しやすい)	3 普通	4 い あまり整備されていない	5 (とても利用しにくい)
(1) 区民館・コミュニティ会館などの区民施設	1	2	3	4	5
(2) 近くの幹線道路・道路・歩道	1	2	3	4	5
(3) 最寄りの鉄道の駅	1	2	3	4	5
(4) 最寄りのバスターミナル・バス停留所	1	2	3	4	5

問16 あなたが歩行者の立場で考えた場合、公共の建物や道路などをどのように整備すれば、より歩きやすくなったり、利用しやすくなると思いますか。それぞれ、2つまで選んでください。

- (1) 公共の建物
- 1 通路の小さな段差などを解消する
 - 2 階段に手すりをつける
 - 3 階段にスロープをつける
 - 4 エレベーター・エスカレーターをつける
 - 5 通路に、物などを置かない
 - 6 施設内に案内板を設置する
 - 7 施設内に休憩場所を作る
 - 8 その他()
 - 9 わからない

- (2) 道路・歩道
- 1 小さな段差や急な勾配(こうばい)を解消する
 - 2 道路に案内標識を整備する
 - 3 まちの中に、ベンチや休憩場所を作る
 - 4 道路に、商品・看板などを置かない
 - 5 放置自転車・違法駐車を防止する
 - 6 滑りやすい舗装を改善する
 - 7 その他()
 - 8 わからない

問17 【緑について】

私たちの日常生活には、緑による潤いのある環境が大切です。あなたが、身近に感じる緑とはどのようなものですか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 公園や児童遊園などの緑
- 2 学校や公共施設などの緑
- 3 マンションなど民間建物周辺の緑
- 4 地域のシンボルとなるような大きな樹木の緑
- 5 生垣やベランダなどの住宅の緑
- 6 親水公園や親水緑道、河川敷など水辺と一体となった緑
- 7 街路樹や緑道など道路に沿った緑
- 8 寺や神社などのまとまった緑(樹林)
- 9 その他()
- 10 わからない

問18 【環境整備について】

江戸川区は潤いのあるまちを目指し、地域が一体となった快適な環境づくりに努めています。そのために、あなたが参加してみたいことがありましたら、次の中から2つまで選んでください。

- 1 街や公園などの設計プランづくり
- 2 公園の草花や果樹、街路樹など地域の緑の育成活動
- 3 近所の公園や道路(街路樹)の清掃や除草などの美化活動
- 4 公園や歩道の花壇の管理
- 5 自然観察会やグリーンアドベンチャーなどの環境学習活動
- 6 公園や街路樹のパトロール
- 7 昆虫や野鳥・植物など、野生生物の保護活動
- 8 公園などで、子どもなどの利用者への指導
- 9 その他()
- 10 わからない

問19 【ごみ収集への考えについて】

今年4月から、ごみの収集など清掃事業が東京都から江戸川区に移管されました。そこで、ごみの収集に関して、現在、あなたが不便や不都合を感じたり、改善してほしいと思っていることを、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 早朝に収集してほしい
- 2 夜間に収集してほしい
- 3 日曜等休日にも収集してほしい
- 4 きまった時間に収集してほしい
- 5 集積場所を増やしてほしい
- 6 特に不便や不都合はない
- 7 その他()

問20 【ごみの処理状況について】

家庭から出るごみを、あなたはどのように処理していますか。日頃あなたが行っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 全てごみとして出している
- 2 資源として再利用できるものは分別して出している (問20-1へ)
- 3 生ごみ処理機・堆肥化容器を使用している
- 4 その他()

(問20で、「2」と答えた方に)

問20-1 出しているのはどこですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 区の資源回収に出している
- 2 集団回収(町会・子供会・PTAなどの団体回収・廃品回収)に出している
- 3 スーパー・商店などの店頭回収に出している
- 4 フリーマーケット・バザーなどに出している
- 5 その他()

問21 【ごみ量の変化について】

あなたが、最近、特に増えたと思うごみは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- 1 ペットボトル
- 2 トレイ
- 3 雑誌・チラシ・ダンボール等の紙類
- 4 牛乳等の紙パック
- 5 包装紙・紙箱などの紙類
- 6 生ごみ
- 7 その他()
- 8 変わりはない
- 9 わからない

問 2 2 【分別への協力について】

資源として再利用できるものを分別する場合、あなたはどの程度まで協力できますか。あなたが協力できるとする方法を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 10種類程度の分別〔古紙（新聞・雑誌・ダンボール）、無色びん・茶色びん・その他のびん、アルミ缶・スチール缶、ペットボトル、トレイ（包装容器）など〕
- 2 5種類程度の分別〔古紙、びん、缶、ペットボトル、トレイなど〕
- 3 3種類程度の分別〔古紙、びん、缶〕
- 4 分別に協力できない
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問 2 3 【集積所の状況について】

あなたのお宅が普段利用している集積所の状況はどうか。

- 1 いつもきれいで清潔に保たれている
- 2 ごみが散乱している場合が多い （問 2 3 - 1 へ）
- 3 わからない

（問 2 3 で、「2」と答えた方に）

問 2 3 - 1 散乱しているのは、どうしてだと思いますか。

- 1 カラスなどの小動物が原因
- 2 ごみ出しのルールが守られていない
- 3 通行人などによるポイ捨て
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

問 2 4 【区で取り組むべきリサイクル品目について】

あなたは、区がより積極的にリサイクルに取り組んだほうが良いと思う品目は何か。次の中からいくつか選んでください。

- 1 トレイ
- 2 生ごみ（台所の残飯など）
- 3 古着や布類
- 4 電池
- 5 牛乳パック（紙パック）
- 6 紙パック以外の紙製容器・包装（菓子箱、ヨーグルトのカップなど）
- 7 ペットボトル
- 8 ペットボトル以外のプラスチック容器・包装（カップ麺のカップ、マヨネーズチューブなど）
- 9 家具や電器製品（粗大ごみ）
- 10 廃油（天ぷら油など）
- 11 その他（ ）
- 12 わからない

問25 【商店街の利用について】

お宅の近くの商店街(スーパー・コンビニ・大型店を除く)での、あなたの利用状況はどの程度ですか。

- 1 ほとんどの買い物は商店街を利用している
- 2 時々買い物に商店街を利用している
- 3 あまり買い物に商店街を利用しない
- 4 商店街では買物をしない

問26 【商店街への期待について】

あなたが近くの商店街のお店に期待していることを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 充実した品ぞろえ
- 2 新商品や流行商品の品ぞろえ
- 3 商品の鮮度や管理の徹底
- 4 良い品を安く提供する
- 5 親切で信頼できる店員の対応
- 6 売出しやスタンプなどの各種サービスの充実
- 7 商品知識を生かした情報提供やアフターサービスなどのきめ細かな対応
- 8 チラシやインターネットを使った特売品の情報提供
- 9 宅配サービスの実施
- 10 営業時間の延長
- 11 その他()
- 12 わからない

問27 【理想とする商店街について】

あなたが理想とする商店街はどのようなものですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 大型店を中心とした商店街
- 2 生鮮品、日用品がすべてそろった商店街
- 3 頻りにイベントがあるにぎやかで活気のある商店街
- 4 町並が整備されたきれいな商店街
- 5 区外からも人が集まる商店街
- 6 おしゃれで高級なイメージの商店街
- 7 段差を無くしたり、歩きやすく整備された商店街
- 8 その他()
- 9 わからない

問28 【商店街のサービス制度の利用について】

あなたは、商店街のポイントカードや江戸川区内共通商品券を利用したことがありますか。

- 1 利用したことがある
- 2 利用したことがない

問29【インターネットの利用について】

現在、パソコンなどを使って家庭や職場から様々な情報を見ることができたり、情報のやりとりができるインターネットが急速に普及しています。あなたは普段インターネットを利用（ホームページの閲覧、電子メールの送受信、電子商取引など）していますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | | |
|---|--------------------------|-----|----|
| 1 | 自宅と学校・職場の双方で利用している | 問29 | 1へ |
| 2 | 自宅だけで利用している | 問29 | 1へ |
| 3 | 学校・職場で利用している | 問29 | 1へ |
| 4 | 利用したことはないが、今後利用したいと思っている | | |
| 5 | 利用したこともないし、今後利用したいとも思わない | | |
| 6 | その他() | | |

(問29で、「1・2・3」と答えた方に)

問29-1 あなたは普段インターネットをどのように利用されていますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | | |
|---|----------------------|--|--|
| 1 | 電子メールによる情報連絡 | | |
| 2 | インターネットを通じての情報収集 | | |
| 3 | インターネットを通じての物品の購入・販売 | | |
| 4 | ホームページを開設しての情報発信 | | |
| 5 | その他() | | |

問30【区のホームページについて】

今年4月から江戸川区の公式ホームページが開設されました。このことをご存知でしたか。また、実際にご覧になったことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | |
|---|----------------|--------|
| 1 | ホームページを見たことがある | 問30-1へ |
| 2 | 開設されたことは知っている | |
| 3 | 開設されたことを知らなかった | |

(問30で、「1」と答えた方に)

問30-1 区のホームページで、どのようなことを充実してほしいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | | | |
|----|---------------------------|--|---|
| 1 | 区が行なっている施策や事業の紹介 | | |
| 2 | 区がこれから始めようとする計画の内容の紹介 | | |
| 3 | 地域の話や行事の紹介 | | |
| 4 | 区の概要や歴史の紹介 | | |
| 5 | 区内の公共施設の案内や紹介 | | |
| 6 | 診療所・病院の案内や紹介 | | |
| 7 | 防災についての情報 | | |
| 8 | 調査・統計資料の情報 | | |
| 9 | 区議会についての情報 | | |
| 10 | 提案などが書き込める意見欄(区長への手紙)の充実 | | |
| 11 | 利用者が意見や情報の交換ができる交流コーナーの充実 | | |
| 12 | 他の公共団体などのホームページとのリンクの充実 | | |
| 13 | その他(具体的に内容を書いてください) | |) |

問3 1 【インターネットを利用した行政サービスについて】

インターネットを利用した行政サービスについてお尋ねします。特に実現を望むものを、次の中から2つまで選んでください。

- 1 スポーツ施設や集会室など区の施設の利用についての照会や申込み
- 2 住民票などの証明書類の申請手続き
- 3 各種手当の申請や届出などの手続き
- 4 図書館の資料の検索、貸出しの予約
- 5 行政の様々な情報の検索、入手
- 6 その他()
- 7 わからない

問3 2 【推進してほしい施策】

江戸川区は、今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。あなたが力を入れてほしいと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1 保健・健康づくり
- 2 子育て対策
- 3 高齢者対策
- 4 心身障害者対策
- 5 都市再開発事業
- 6 交通網の整備
- 7 道路の整備
- 8 防災対策
- 9 清掃事業
- 10 リサイクル事業
- 11 環境保全・公害対策
- 12 住宅対策
- 13 青少年健全育成対策
- 14 男女平等などの対策
- 15 景気・物価対策
- 16 中小企業振興対策
- 17 学校教育の充実
- 18 生涯学習事業
- 19 文化・芸術振興事業
- 20 スポーツ振興事業
- 21 友好都市・国際交流事業
- 22 その他()
- 23 わからない

問33 【施設への要望】

あなたは、今後、区内にどのような施設を充実すれば良いと思いますか。ご自由に3つまでご記入ください。

() () ()

問34 【自由意見】

現在、あなたが区政に対して望むことがありましたら、ご自由にお書きください。

問35 ここで、あなた自身のことについておたずねします。

(1) あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

(2) あなたの年齢は

- 1 18歳～29歳 2 30歳～39歳 3 40歳～49歳
4 50歳～59歳 5 60歳以上

(3) あなたは江戸川区に何年位住んでいますか。

- 1 1年未満 2 1年～ 5年 3 6年～10年
4 11年～20年 5 21年～30年 6 31年以上

(4) 同居者に次の方がいらっしゃいますか。

- 1 小学校入学前の乳幼児 2 小・中学生 3 60歳以上の方

どうもありがとうございました。

(地区名)

平成 12 年 12 月発行

第 24 回江戸川区民世論調査

編集・発行 / 江戸川区区政情報室
東京都江戸川区中央 1 丁目 4 番 1 号
電話 03 (3652) 1151 内線 2135

集計・分析 / 株式会社 サーベイリサーチセンター
東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
電話 03 (3802) 6724